滿洲日報 夕刊 九月二十八日

對日直接交渉を避け猛烈な排日繼續

外國の力に賴るを遂に斷念

南京政府の方針決定

【南京特電廿七日發】國際聯盟が滿洲事件から手を引き兩國の直接解決に委ねた結果、國民政府の第一段の作戰は完全に失敗に歸して了ひ悲觀狼狽の極に達した國民政府では日曜にも拘らず早朝から蔣介石氏以下最高幹部緊急秘密協議を開き第二段の對策決定のため硏究討議する處あつた、協議するに右會議においては

一、**國際聯盟各國及びアメリカの力に賴る事は不可能と斷念し、今後は宣傳によつてそれ等各國の輿論を動かす**消極的方策に力を注ぐべし

二、ロシアは未だ明瞭な態度を示してゐないから此際**全力を擧げてロシア引込みに努力**すべし

三、**日本と直接交渉は飽くまで回避の方針を執り**現狀を出來得るだけ續ける事により徐ろに日本內部の財政的政治的破綻を待ち濟南事件同樣最後の勝利を期すべし

四、全國の**排日運動を一層猛烈ならしめ經濟的に日本が屈服せざるを得ざらしむべし**

等を骨子とする新對策の決定を見た由である、即ち飽くまで日本との直接交渉を避けんとする覺悟らしい

張學良氏近く南京へ

日本との直接交渉を避く

【上海廿七日發】確報によれば張學良氏は滿洲事件善後處置に關する蔣介石氏の支持を受けるため近く北平發南京に向ふことに決定したが、張學良氏のこの行動は日本との直接交渉に應ずることなく廣東側との妥協成立を待つて擧國一致行動せよとの中央の命令によるものであるといはれてゐる

日本軍侵入せば武力で對抗せよ

蔣氏全國各軍に命令

【上海二十八日發】支那紙の報道によれば南京政府は二十七日を以て蔣介石氏の名を以て全國軍隊警備司令に對し

日本軍支那領土內に入らば武力を以つて對抗すべし退嬰萎縮の行動をなす者は嚴罰に處す

と命令した支那紙はなほ政府のこの行動は國論が對日開戰を要求して止まぬからその準備のためであると附記してゐる

上海學生が討日從軍電請

【上海特電二十八日發】上海各學校軍事教練官二十二名は昨日抗日救國會議を開き學生軍事訓練委員會の組織決定中央に對し日本討伐の軍に從ひたいと電請した、之に參加する學生は二十三校約八千名である

日本討伐計畫建議

上海抗日救國會

【上海二十八日發】上海抗日救國會は昨日政府に對し左の建議電報を發した

一、日本を敵とする外交方針を決定し日本を討伐する計畫を樹て各國に通商上の便利を與へ日本封鎖孤立策を講ずる事

二、徵兵制度を實行する外永久的義勇隊を組織して武裝せしむ

三、奉天當局責任者を嚴罰に處し即時出兵し日本軍に對抗し被占領地を恢復する事を張學良に嚴命すべし

奉天地方維持委員會委員 (向つて右から)金梁、袁金鎧、張成箴、丁鑑修四氏=十七日、山口特派員撮影

東北政權の移動に日本は不干渉

外務當局の善後方針

【東京特電廿八日發】外務當局は二十八日滿洲事變善後處置に關し左の如く言明した

滿洲事變の解決に關しては聯盟並びに如何なる國家の容喙をも認めない、蓋し帝國政府は事件の解決に萬全を期しつゝある事は夙に聲明せる處であり、その目的とするところは**滿洲における居留民の生命財産の安全並びに特殊權益擁護の外他意なく**且つこの事は列國間に充分理解せられてゐる事を固く信ずるからだ、從つて最近傳へられる**滿洲における政權移動に關しても之が圓滿且合法的に行はれ**且つ新政權がわが特殊權益確保に必要なる一切の義務保障並びに責任を繼承するにおいては帝國政府は既定方針たる**內政不干渉方針に基き絕對に干渉しない、**この點に關しては出先官憲に對しても新勢力から如何なる申出あるも積極的にも消極的にも援助を與へるが如き行動は絕對に排するやう嚴訓を發してある

學生に毆打され王外交部長危篤

蔣氏邸に逃げ込む

【上海特電二十八日發】國際聯盟が滿洲事件に對して支那に不利益な行動を執るに至つたのは王正廷氏の責任なりと數百名の學生は今朝市內で示威運動を行つたが午前十時學生團は外交部に雪崩込み王氏の部屋に押入り棍棒其他で王氏を毆り瀕死の重傷を負はせた王氏は自動車で裏門より逃出し病院行をやめて蔣介石氏の邸宅に逃げ込んだが生命危篤【寫眞は王正廷氏】

對日宣戰布告絕食請願團

【上海特電二十八日發】當地一般市民は只對日宣戰布告の請願に夢中になつてゐるが、楊杰、賊某の二職人は昨日絕食請願團なるものを組織し政府に對日宣戰布告の請願を爲すとゝもに政府がその決心をするまでは幾日でも絕食して待たうといふので目下同志募集中である

日貨は發見次第燒棄又は公用に

反日會の新辦法決定

【南京特電二十八日發】首都反日會は日貨檢査辦法を決定し下關外二ケ所に日貨保管所を設け各商店の日貨を全部保管する事とし又下關、浦口、水西門、日貨檢査所を設け日貨・發見次第燒棄又は公用に當て檢査員に不正行爲ある時は銃殺する

抗日會代表請願報告內容

【上海特電二十八日發】上海各會抗日聯合會の代表は昨夜南京より歸り報告演說會を催し

一、日本軍が之以上侵入する時は直ちに占領地區を奪回する

二、王正廷襲戒については外交の失敗に限り政府は責任を負ふ

三、學良に出兵せしめ被占領地帶奪回については既に電命した

四、全國學生には萬一の場合には銃を支給す

五、國辱條約は決して締結せぬとの五項目に對する蔣介石氏の回答

拓務省のみ廢止

愈よけふの閣議にて決定

【東京二十八日發至急報】本日の閣議において拓務省のみ廢止するに決定し、三省廢合問題もこれで一先づ解決した

新設主管官廳の機構を重要視す

十河滿鐵理事語る

七相會議經過

國際法、國際協定を遵守紛争の解決を期す

米の覺書に對するわが回答

敗走兵に投降の勸告ビラを撒布

わが飛行機連日活躍

聯盟理事會を非難攻擊

上海の支那紙

軍令部長總長協議

我公文書開封を白々しくも否認

回訓次第正式に抗議

【南京廿八日發】支那側が我領館宛公文書を無法にも開封して閱讀した事に關する我國の抗議に對する我抗議に對し責任者たる南京警備司令部は二十七日午後時上村領事宛非公式書面を以て全く「斯る事實なし」と否認して來つたが我々には確乎たる證據あり今後國民政府宛に訓令到着次第正式抗議を提出する筈

內相拓務のみ廢止進言

慰問の滿鐵代表

海外發展上誠に遺憾

村井商議會頭談

東亞の謎 (十)

國枝史郎 作
伊藤順三 插畫

機智の女 (一)

香港の排日益々惡化 暴虐の限を盡す
英官憲の警戒も全く効なく 在留邦人死に直面

【香港二十七日發】支那人の反日暴動はその後益々深刻化する一方で晝夜を分たず邦人商店を片端から荒し廻り通行人を襲撃する等狂暴の限りを盡しイギリス官憲の必死的警戒も軍隊の出動も全然効なく果ては門扉を押し破り屋内に侵入して家具商品を破壊掠奪し事務員に危害を加へる等の事件續々と報ぜられるので昨夜日本小學校に避難した八百名以外の在留邦人も今朝來續々小學校に避難しつゝあり午後四時迄の避難者總數九百を超え狹い校舎に充滿せるため發病者を出し然も留守宅は暴徒の蹂躙に任せてゐる狀態なのでイギリス當局に陳情し邦人街のみの警備として今夕六時から三十名の兵を配置する事となつた、食糧寢具等不足のためこの狀態が永く續けば由々敷き大事に至るものと見られ在留民間にはイギリス官憲の無能に對する非難の聲が高まつてゐる

免れぬ被害の續出

【香港廿七日發】八十萬の支那人に包まれて生命財産の危機に瀕しつゝある在留邦人千五百名の内八百名は目下日本小學校内に避難してゐるが、郊外に住んでゐた山下順次郎の一家六名は昨夜暴民のため虐殺された、その他傷殺された者重傷を負ふた者などある見込みであるが邦人間の連絡遮斷されてゐるため詳細不明である、日本人の各商店は殆ど全部破壊或は掠奪の厄に遭ひ警官側にも負傷者續出し事態いよく重大となつた、今後も如何に嚴戒するも被害の續出は免れぬ狀勢にある

犧牲者既に廿七名

【東京特電二十八日發】香港の形勢惡化し日本人に對する暴行は遂に二十七名の犧牲者を出すに至つたので外務省は吉田總領事代理に訓電香港政廳に嚴重取締方を重ねて要請せしめた

無殘!子供までを嬲り殺しする
山下一家の遭難詳報

【香港特電二十七日發】二十六日夜九龍飛行場附近に住む山下一家の慘殺事件を探査するに八時頃一家皆殺しと豫告して來つて間もなく凡そ一千名の暴民が手に手に竹槍、斧、棍棒等を提げ大擧同家に押掛け山下夫妻は四人の子供と老母を庇ひ雄々しくも血みどろとなつて抗爭し續けてゐたが、衆寡敵せず遂に蜂の巣の如く突刺され慘死し二人の子供は老母及び日本人の子守娘とともに見るも無慘な嬲り殺しとなつた、同家に居合せた池田行田の兩名は急を警察に報ずるため負傷しつゝ屋根傳ひに逃走した一方幸ひに屋外に難を免れた二人の子供の中長男は目下病院内に瀕死の狀態である

崙山丸に避難中
大汽への情報

香港在留邦人の安否に關して二十七日午後八時大連汽船本社に達せる電報によれば香港在留支那人の邦人襲撃は益々惡化、軍隊あるも遂ひに暴動猛烈化し各所に邦人の襲撃されるもの續發、大連汽船社宅も暴民に襲はれる形勢にあり邦人は續々碇泊中の大連汽船崙山丸に避難しつゝあり、目下碇泊中の山東丸、崙山丸の收容可能なりや否や不明である

行方不明の佐藤忠氏は慘殺された事判明
一間堡驛で下車長春に向ふ途中 滿鐵最初の犧牲者

滿鐵哈爾濱事務所技術員佐藤忠氏は所用兼ね旅出迎へのため十九日朝第三列車に乘りハルビンを出發したるに消息不明となりその安否を憂慮されてゐたが、滿鐵にては、ルビン、長春兩方面から極力捜查の結果果然、寬城子事變の際暴虐なる支那兵のため慘殺されたことが判明した、詳細なる報告は未だ本社に到着してゐないが佐藤氏は本月十一日附營業課混保事務所檢查人より哈爾濱事務所轉勤を命ぜられ十七日赴任し折返し所用を兼て家族引纒めのため十九日朝ハルビンを出發したが恰も長春事變に遭遇し寬城子混亂のため寬城子より一つ手前の一間堡驛にて下車し徒歩長春に向はんとする際支那兵の毒手に斃れた者で今次の事變における滿鐵最初の犧牲者である尚滿鐵長春驛事務員に同姓同名の佐藤忠氏があるが長春驛の佐藤氏は無事である【寫眞は佐藤忠氏と夫人】

死體を捜查中

滿鐵社員佐藤忠氏の行方不明に對しては滿鐵も初め東支鐵道でも極力調査しつゝ捜查中であるが寬城子驛を去る一間堡に於て佐藤氏の乘つてゐた列車が停車した際折柄逃げ込んだ寬城子の敗殘兵が車中にあつた佐藤氏を列車より引ずり降ろし慘殺のうへ附近高粱畑の小川の中に投げ込んだものと見られ長春滿鐵關係者ではこゝに大體の意見の一致を見、この方針の下に死體の捜査をなすこととなつた【長春電話】

諦めきれぬ留守宅のなげき
暗然と語る佐藤夫人

桃源臺一右に傳家庄街道に入つた右側一軒建の瀟洒な洋館平家建が佐藤氏の留守宅である、急を聞いて馳せつけた見舞客の下駄靴で一杯になつた玄關を訪れると友人達は交々語る

廿五日朝ハルビンから避難して來た人の話で始めて佐藤君が十九日の第三列車に乘つたことが解り俄かに大騷ぎとなつたのです、そして廿七日の夜鐵道部にたゞ「慘殺された事實が判明した」といふ電報が入つただけで果して慘殺死體が發見されたものか遺留品が發見されたのか全然判明しないのです、兎に角佐藤君が乘つた列車には他に日本人が三四人乘つてゐたさうでその人達も皆可なりの迫害を受けたさうですから或は十間堡で引きづり降されたのぢやないかと今も皆と話をしてゐるところです、剛直な煙草を喫まぬ眞面目な男でしたが惜しいことをしました、家族は奥さんと二人きりで子供さんはなく今は弟さんが一緒に家にゐられます

と流石に一同暗然として眼を曇らせた、夫婦の居間と思はれる部屋で眼を赤くした婦人の見舞客たちに慰められてゐるながよ(二五)夫人は顔色を蒼白にして語る

今になつて考へますと變なことがありました、度々出張する夫ですが今度に限つて家を出てから用事もないのに三度も引返して來て何か忘れ物があるやうだなどと言つてゐました、然し夫が行方不明になつたことを知つた前の晩に夫の夢を見ましたが別に惡い夢ではありませんでしたし未だに私は死んだとは信じられません

なほ夫妻は共に大分縣の生れ、大正九年に結婚し十年七月渡滿直に滿鐵に入社したものである

眞面目で淡白な人
混保係で語る

佐藤忠氏が轉勤前勤務してゐた埠頭構内の鐵道部營業課混保係を訪へば早川主任は驚いて語る

廿四日晩ハルビンから引揚げて來た人の話で始めて佐藤君が十九日朝三列車でハルビンから大連へ引返したことが分り御存じのやうにあの列車は寬城子驛手前の一間堡で支那兵に抑へられたといふので佐藤君の安否を一同氣遣つてゐたのでした、殺されましたか氣の毒でした佐藤君は八年前に埠頭に來て實に仕事に眞面目な淡白な性格の人でしたが、在職中大豆の買入れにかゝる大豆水分定量器の考案に熱中してその研究が八分通り完成したところをハルビン運輸係に轉勤になつたので本人は殘念がつてゐましたが十七日に大連を出發ハルビンで居所も落ちついたので家族を連れに歸る途中十九日朝この不慮の災難に遭つたので氣の毒ですれ、奥さんは今市内長春臺に居ますが夫婦中子供はありません

佐藤氏の略歴

悲業の死を遂げた佐藤氏は本年四十三歳大分縣宇佐郡高並村の人で同縣立農業學校卒業後佐世保海兵團に入營累進して一等兵曹となり勳七等を賜り除隊後大正十年滿鐵に入社し多年埠頭混保事務所に勤務し本月十一日哈爾濱事務所運輸課に轉任したものである

中の山東丸、崙山丸の收容可能なりや否や不明である

引揚げの途中保護を求む
新邱の邦人二十三名

新邱より新民屯に引揚の途中消息を絶つてその安否氣遣はれてゐた邦人二十三名は二十八日早朝引揚の途中からわが新民領事分館に途中の保護を依頼して來たのでわが當局では支那側と交渉した結果日本兵十七名、支那兵四十名を急派することゝなり右日支兵は二十八日午前中に新民屯を出發した

漢口租界の襲撃を計畫
暴露し共産黨員逮捕 我陸戰隊で非常警戒

【漢口二十七日發】支那町新生路一帶における數千の水害罹災民は共産黨の煽動により日本租界を襲撃せんとしてゐたが、武漢警備司令部はこれを未然に探知し昨夜未明大活躍をなし共産黨員及び煽動を計畫せる不逞の徒數百數十名を逮捕しつゝあり、武漢三鎭は二十六日午後五時より特別戒嚴令がかれ日本租界は陸戰隊により非常警戒されてゐる

長春を慰問して
更らに副總裁吉林へ

江口滿鐵副總裁は二十七日午後十時四十五分着臨時輕油動車で伍堂理事、八木書役を帶同長春着、直にヤマトホテルに入り二十八日午前九時ホテルを出發地方事務所三階の臨時第二師團司令部、第三旅團司令部、第四聯隊、第二十九聯隊長春守備隊、野砲第二聯隊、領事館、滿鐵醫院内の臨時衞戍病院等を歴訪の上、軍の勞苦に對し慰問の挨拶をなしそれぞれ慰問品を贈る處があつた、更に副總裁一行は長春發午前十時の臨時列車で吉林へ向つたが、驛頭には太田運輸課長、白井長春鐵道事務所長、臨時時局事務所長春主任遠藤參事その他滿鐵十數名の見送りがあつた、なほ副總裁一行には案内役として中川吉長代表が同車吉林に向つたが、副總裁は只一人麥藁帽子に夏服の白いチヨツキといふ姿で「偉い寒いノウ」と冒頭して語る

一昨日大連を發つて全線に亘る軍の慰問をやつて來た、今日吉林を慰問して夕方までに長春に歸り二十九日朝七時發で公主嶺に行く豫定である、寒いには寒いが夏服を着て戰に立つてゐる軍のことを思ふと何とも言へぬ、併しきのこと贅澤なこと言へぬ、麥藁帽子だけはたしかに僕一人だから何處かで安いものがあつたら買ひ度いと思つてゐる

傍から伍堂理事が「南里君君の中折と換へてやつたらどうだ」と話を入れる、記者も「これでよかつたら結構ですが」多忙な慰問使副總裁は軍の迅速なる活動に感激しながら十時長春を離れて吉林に向つた、勿論吉林駐剳の兵に對する慰問品も載せて【長春電話】

母國訪問遊說の青聯代表者出發
けふ盛んな見送裡に

母國における國論統一のため第二回母國訪問遊說の途に上る滿洲青年聯盟代表者十五名一行は二十八日午前十時出帆のばいかる丸で華々しく出發したが、埠頭には竹中滿鐵理事、永井市助役等ほか官民名士見送り聯盟員等日の丸の小旗をふりかざしつゝ一行の壯途を祝し鼓舞激勵した、今回の代表派遣の費用を補助し一行の團長格たる井藤榮氏は昂然と語る

今回の日支衝突は日露戰爭以上の重大事です、日露の戰は單に兩國の衝突でありましたが、今回は滿洲に利害を有するあらゆる列國が監視してゐるのですから我等は餘程の覺悟を以て起たなければなりません、今起たずんば何時まで經つても滿蒙の諸懸案は解決することなく中には滿蒙問題に我が國が讓歩して南支の反日を緩和したら良いと云ふ大阪邊りの實業家もありますがそれは皮相の見です、今回も我が機先を制したから良かつたので是等の理由を實情に徹して各地に遊說又中央要路にも進言するつもりです

なほ一行十五名の氏名左の如し

▲中央班 岡田猛馬、井藤榮、大沼幹三郎、景山盛之助▲九州班 中尾優、太田勝三郎▲中國四國班 關和重、柳原増雄、安藤武▲關西班 紀井一、富田開助、西川高嶺▲東北班 小川増雄、美坂操三、奥村莊五郎【寫眞は埠頭の盛んな見送】

レールを外づして計畫的に列車を襲撃
饒陽事件詳報

饒陽河附近における馬賊團の北寧線第一〇六列車襲撃事件は支那軍隊山海關方面に移動のため新民、山海關間一帶に僅少の鐵道守備隊を殘すのみなるに乘じてなせる敗殘兵の計畫的襲擊なりしこと判明せるが、その後の詳報によれば最初該列車が廿六日午後二時ごろ饒陽河驛家窩堡驛間進行中機關手揚某が前方高粱畑内に多數の馬賊潜伏し銃口を揃へて列車の近づくを待ちうけてゐるを見てフールスピードで突走せんと馬力をかけたところ、これに先だち馬賊團のため取外してあつたレール五本がため機關車とこれにつゞく客車は勿論最後の郵便車は一等車と激突して脫線せるもので死者二十名、負傷者八十名(山海關方面に收容されたものを通算すれば)を出するの慘事を惹したのであつた、急報により我軍では裝甲車にて一個小隊を現場に急行せしめ又北寧鐵道局は打虎山驛から急援車を出せるも時既に遲く馬賊團は掠奪、殺戮をほしいまゝにし客全部の所持品は勿論郵便車内の金品を掠奪逃走後であつた、被害個所は皂山屯急修理により今朝より開通するに至つた【奉天電話】

市政公所の管理希望
領事團に反響

北寧鐵道の慘事は各國領事團並に支那側各團體をして交通の安全保障に關し大に覺醒せしむる所ありたゞに北寧線(皂山屯、山海關間)のみならず打通、瀋海の二線も奉天市政公所において監督管理せんことを求むる聲が昂まりつゝある【奉天電話】

時局緊急大會を開き輿論を喚起
大連在郷軍人聯合分會が あす協和會館にて

大連在郷軍人聯合分會では今回の時局に鑑みこゝに國論を喚起し此の日支衝突事件發生の眞相を會員に發表し時局好轉に支障なからしめざる爲めにと二十九日午後七時から滿鐵協和會館に於て左記順序により時局緊急大會を開催する事にした

一、開會の辭二、國歌合唱三、大正三年在郷軍人に賜りたる勅語四、會長の訓示朗讀五、演說▲時局軍人の言論に就て脇屋次郎▲日支事件發端の眞相岩井少將▲今回の事件に對する所感高柳中將六、決議七、會歌合唱八、大元帥陛下萬歲九、閉會

兵站支部設置

關東軍では二十六日から關東倉庫内に大連兵站支部を設置し輸兵中尉河本辰猪氏を支部長に任じ大連通行の軍人軍屬の宿營給養ならびに停車場司令部業務の一部を實施した

立川翁歸國

在滿十八年の[illegible]立川雲平氏は二十八日出帆のかゝる丸で内地へ引揚げたが大連方面に顏がひろいだけ名士見送りも多かつた、船中に訪へば一時神戸におちつきますが結局淡路へ歸つて老後を送るつもりです、皆さんによろしく

パ、ハ兩氏の出發準備成る

【立川二十八日發】太平洋横斷飛行準備中のパングボーン、ハーンドン兩氏は補助タンクの据え附け終り二十七日試驗飛行を行つた結果好成績を收めたので二十八日は休養し二十九日早朝六時頃淋代へ機體の空輸を行ふ豫定である

矢野恒太氏あす來連
座談會と講演

我生命保險界の元老、財界の一論客として有名な東京の第一生命保險相互會社々長矢野恒太氏は當地における社員總代會出席のため二十九日入港豫定のはるびん丸にて來連、直に忠靈塔、大連神社等參拜の後滿洲館における滿鐵の招宴に臨み午後二時より本社主催の座談會に列席、夜は滿鐵その他に對する返禮の招宴を開き翌三十日は午前中大連商工會議所樓上において社員總代會を開催、午後は滿鐵主催で講演會を開き「財界の前途」と題して講演する豫定であると

北西の風晴一時曇 廿九日 天氣豫報 測候所

各地温度

	廿八日午前十一時	廿七日最高
大連	一四・八	二四・五
旅順	一五・一	二四・八
營口	一四・八	二五・〇
奉天	一二・五	二三・四
長春	九・一	二三・四

滿潮(午前十一時三十五分 午後十一時五十五分)
干潮(午前五時三十分 午後五時三十五分)

けふの小洋相場(正午) 金百圓は二三六圓〇五錢

暗流阿修羅館 (199)

生田蝶介 作　挿畫 藤井耕達

田沼問答(三)

新左衛門は、まだ靜かに茶をのんでゐた。

二人が入つて來るのを知ると、

「この香は丸八の香でござるか」

と、きいた。

「いかにも、丸八の香でござる」

と、奉行は坐るついて、

「お心當りでござらう」

と云つた。

「と、云はれると」

「いや、この香は上樣をお苦め申した香でござる」

「……」

「その焚き殘りを手に入れて、焚いて居りますが、どういふものかわれわれには一向に害をしませぬ。これには何か込み入つた儀がある容子。これは、こゝだけの話でござるが、新左衛門殿は、あの老中田沼父子をどうごらんになつてゐます」

「さあ」

「いや、お疑ひなさるのも無理ではない、奉行も田沼の息がかゝつてゐる、老中の掌の中で踊つて居りまする。と、世間では思つて居りませう。が、大老に出入りをなさる貴方にはもう何もかもよくお解りになつてゐる筈、お心置なく御腹中をお聞かせ下さるまいか、またこれなる由比は、私の無二の腹臣同樣に思つていたゞきたい」

「私は何も知りません、大奥に行きはしますが、田沼父子とは殆ご顔を合せる機はありません、それに、どうやら田沼殿は私を餘程毛嫌ひしておいでのやうだし……」

「さうでせう、絶えず一橋の側につききりでおいでゆえ、何かと云はれはしないかと氣が氣ではないのでせう」

「しかし、上樣も老人の話をするのを嫌つておいでのやうです」

「それから、貴方のおいでの時はきつと意信が詰めて居りませう、意信はそのために莫大な金子を貰つてゐるのです」

「それでは、田沼方の、私への目附ですな」

「一一こともきゝもらさず、その夜のうちに、みな田沼の耳にとゞいてしまふのです」

「驚きましたな」

「韋大盡と云つて葭原では大名を凌ぐほどの豪遊ぶりも、みな、田沼といふ背景があるからのことです」

「なる程、昨夜葭原で、その話をきゝました、どうしてその樣なことが出來るかと、きゝながら思つたことでした」

「それはさうと、昨夜は、いづれの樓にお登りでした」

新左衛門、すぐには返辭をしなかつた。そして、茶を一ぷくのんだ。

そして、

「いえ、つまらない樓で」

「何家でござつた」

「あまり小さい樓で、おはづかしいのです」

「でも……」

と云つて、奉行、

「これは、あまり執拗すぎました」

ついつい、もの好きが出まして、とんだ御無禮をしました、どうも……」

「いやいや、私が云ひしぶつたのがいけなかつたのです。伏見町の……」

「伏見町といふと、小見世ばかりの街、はありませんか」

「小見世といふのでせう、大籬にはどのやうな手順をとつて行つてよいのやら、皆目わかりませんので、一人ものゝ氣がるさ、一通り見物のつもりでふらふらと歩きました。歩いてゐるうちにつかまつたのが伏見町の伊左見屋。ついそのまゝ登つてしまひました」

「さう云つたら一こと云つていたゞければ昨夜なら御一緒に案内出來ましたものを殘念でした、惜いことをしました」

「いや、田舍者はこれでいゝのです。なまなかの大見世に行つて、恥づかしい思ひをするよりも、ずつと氣樂です」

耕達畫

キネマと演藝

東活でも事變映畫 奉天城一番乘

滿洲事變に對して素早い映畫界では逸早くこの日支交戰を映畫化すべく日活、新興キネマ等でも着々準備中であるが、東活では北大營占領の殊勳者谷川軍曹を主材とした「奉天城一番乘」を既に撮影中で監督は新進氣鋭の大江秀夫、主演は新入社の快漢東郷久義であるなほ撮影所總務若木剛二が、元陸海軍支那通譯官として幾多の支那問題に關係した經驗があるので特に本映畫の撮影指揮をとして活躍してゐる

日活は「出兵」

また日活では熊谷久虎監督が島津元佐久間妙子南部章三橫山運平主演で出兵を早くも完成した

今夜滿日講堂で燕林觀戰講談會 本社收入は全部義捐

五代目桃川燕林師の奉天における觀戰講談は非常な興味を以て待たれてゐたが、いよく廿八日午後七時より本社講堂において義捐講談會を開催する、燕林は人情物を最も得意としてゐるが、實見談も亦得意とするところで高松宮殿下御搭乘の練習艦八雲乘組みの榮に浴した際の實見談「遠航物語」等は既に各地に於て講演をなし定評あるところのもので、今回の觀戰談も非常な感激と亢奮とを聽衆に與へることは豫想するに難くないなほ會費は五十錢で本社收入は出動軍隊軍屬への慰問袋に寄贈する

秋大祭奉納能

來る十月一日正午から大連神社境內能舞臺にて秋季祭典奉納能を白井靖敏社中で催すが番組は左の如くである

▲能「夜討曾我」鬼岡本弘子、圓三田照子、三田茂子、寺田悅子、古屋岡本和子、御所下瀨智惠子、寺田妙子、二葉輝子、板橋菜好、菅原蒼枝、菅原金藏
▲仕舞「三輪」吉田潔子「櫻川」土田惠美子「笠之段」鈴鹿初江、堀內滿子、白井光子、菅原金藏
▲能「羽衣」岡本和子、石山泰子、寺田妙子、岡本弘子、白井靖敏
▲仕舞「淸經」菅原蒼「烏追船」神田勝子「龍太鼓」津島縫子
▲能「女郎花」吉田潔子、白井靖敏、渡邊延男、小原恒雄、白井光子、小原孝子、菅原金藏

噂話

マキノを退社後貫演隊を組織し常盤座にも來演する筈だつた猛優東郷久義は突然東活に入社し▲滿洲に來た代に早速谷川軍曹に扮して奉天城一番乘をやる▲大日活 發聲映畫興行はモウシヨン發聲の高點がシムプレックス用でなかつた爲めにいろく不便な點があり▲百パーセントの效果をあげるために目下シムプレツクス用の部分品を注目中で來月十日頃には到着の筈で▲シムプレ

∞野に叫ぶもの∞

好評を博した前篇「青春篇」に續く後篇「爭鬪篇」は前篇同樣島津保次郎監督、高田稔、鈴木傳明、及川道子、澤蘭子共演で、前篇の華やかな學窓物語りと異り、勞働者と資本主との爭鬪を描いてゐる。二十八日より「かごや大納言」とともに寶館にて上映【寫眞は高田稔と鈴木傳明】

本社特選 新棋戰(七五)

香落 四段 △坂口 允彥
二段 ▲毛利 勝喜

【圖は前號指了迄の局面】
▲毛利氏 持駒 桂
△坂口氏 持駒 角香歩

▲二二銀 △八八角
▲八九飛成 △七八金
▲三三銀 △七九金
▲九八龍 △九九香
▲八八龍 △同 金
▲七五歩 △一五歩

【土居八段講評】△坂口君が八八角と打つて攻防に備へ敵飛車を捕へて自營の危險を拂つたのは非常に巧者な指し方である。

【萩原六段解說】坂口氏の八八角は二枚角の威力を以て敵の二二銀を狙ふ先手で、含みのある手段である。毛利氏三三銀は、七八飛と敵金を取つても二二角成と指されては不利であるから三三銀と上つたのである。坂口氏の一五歩は持飛車の活用を圖る意味、即ち下手同歩では一二歩、同香、一一飛と打つてよいのである。その時下手二二玉では三三角成、同玉二一飛成となつて上手有利である

（明治四十五年八月二十一日第三種郵便物認可）

滿洲日報

發行人　松本豐三
編輯人　橋本嘉代藏
印刷人　山下庄太郎
大連市東公園町卅一番地　發行所　株式會社滿洲日報社
定價　一ヶ月　金一圓二十錢　郵稅　金十五錢　一部　賣價　金五錢
廣告料　普通一行　金一圓三十錢　特別一行　金一圓六十錢　場所指定　二割以上加算

遼寧省の支那側有志　國民政府と絶縁
蔣介石氏に宣言文を送附

奉天省城の支那側有志は遼寧紳民時局解決方策討論會を開催討議、結果左の如く宣言文を蔣介石氏に送り國民政府と絶縁を宣言した

本會は中華民國の武力政府を否認し馬賊類似の行爲を恣にして國利民福を顧みざる軍閥の支配を受けず、茲に國民政府と絶縁することを宣言す

なほ同會は青天白日旗を廢して新たに國旗を制定する計畫をも有してゐる【奉天電話】

吉林省獨立を　熙參謀長が宣言す
自ら長官として臨み　首腦者を任命

吉林にある熙參謀長は二十八日吉林省を獨立行政區域とすると各方面に宣言してセンセイションを捲き起した即ち熙參謀長は自ら長官として行政權を握ることゝなつた、宣言と共に省政府委員及主なる縣知事の任命それぐ\発表した【長春電話】

四省民衆を基礎に　獨自の新政權樹立
地方維持委員會中心に　根本方針決定

今回の滿洲事變は東北四省の民衆に取つては禍ならずして張作霖、學良二代に亘る張家の壓制から解放された結果となり心ある支那人はこの際多年の張家の專制政治に代るべき新政權の樹立を希望する機運が漸次濃厚となりつゝあるが、そのうち東北の元老袁金鎧氏等によつて組織された地方維持委員會を中心とする支那側有力者間は過般來數次に亘り會合協議を行ひたる結果略東北四省民衆を基礎とする獨自の新政權を樹立する根本方針を決定したがその趣旨は次の如きものである

一、新政權の本體は東北三千萬民衆の總意に合する人物を以て組織し且つ適合する政體たるべきこと

二、右人物及び政體は民衆の公選したる委員制たるべきこと

三、地域は東北四省とし中央政府とは分離せしむべきこと

而してアメリカの聯邦制に倣ひ各省の機會均等の理想鄕を建設する目的であると【奉天電話】

野砲聯隊の閲兵式

（上）二十七日午前十時長春臨時競馬場における海城野砲第二聯隊の閲兵式（河野聯隊長の閲兵）と（下）閲兵式

聯盟事務局員派遣を　斷然拒絶する
外相芳澤大使に訓電

【東京特電廿八日發】聯盟理事會は二十五日の會合で滿洲事變に對し共同調査員を現地に派遣せんとする提議を撤回するに決したが、理事會は之に代る提案として極めて小規模のものとし事務局員一名をオブザーバーとして派遣せんとする議が起つてゐるに對し芳澤大使より之が訓令を求め來つたがわが政府は

一、オブザーバー派遣は共同調査委員派遣の提議と同樣聯盟が日本政府に對する信頼の缺如を表白するものである

一、斯るオブザーバーを派遣して調査の完了する迄事態を未解決の儘に置くは解決を遷延するのみであつて日支兩國のために利益でない

以上の理由の下に斷じてこれが提議を容認せざるに決し二十八日外相より芳澤大使に訓電を發した

きのふ北平で　救國市民大會

【北平二十八日發】救國市民大會は本日午前大和殿廣場で擧行約二十萬の參會者あり近來稀な活氣を呈し滿場一致日支開戰を決議し之

我軍撤兵期は　交渉相手決定の時
首相と今後の方針を協議後　金谷參謀總長語る

【東京特電廿八日發】金谷參謀總長は廿八日午後四時官邸に若槻首相を訪問關東軍の配備行動今後の方針に就き報告諒解を求め午後五時辭去したが金谷參謀總長は語る

滿鐵沿線外の部隊は逐次撤兵しつゝある目下一部が吉林と鄭家屯に派出されてゐるが滿洲の治安が維持されるか又は今回の事件の交渉相手が決定した時撤兵すべきものと觀てよからう

……た張學良氏へ傳達するに決し十一時閉會後日本を罵倒しつゝ市内の示威行列を開始した、日本駐屯軍は萬一に備へ警戒した

海軍演習休止

【鹿兒島二十八日發】目下戰ひ酣に入らんとする秋季海軍小演習は二十七日午後二時三十日まで演習休止の命令が下つた

三相重要協議

【東京廿八日發】若槻首相は廿七日午後九時駒込の私邸に幣原外相、南陸相、杉山次官を招致し今曉二時に及ぶまで重要會見を遂げた右は滿蒙事變並びに列國の今後の動きに關し我國の態度を確立すると共に此際滿蒙諸懸案解決の原則的方針に關し意見交換を行つたものと觀られてゐる

内閣に直屬する　拓務院を新設
十一月一日より實施

【東京二十八日】拓務省廢止により内閣直屬の拓務院を設置する事となるので、これに伴ふ官制改革案は直に樞府の諮詢を經る事となつたが多分十一月一日より實施される筈

けふ閣議で　正式承認

【東京廿八日發】省廢合問題に關し安達内相、井上藏相と午前十時四十分まで協議し拓務省のみを廢止することゝ決定した、而して廿八日の閣議席上ではその形式的承認を求めなかつたがその裁斷を首相に一任してゐるので廿九日正式承認を求むることゝなるであらう

拓務省廢止後　の對策協議

【東京二十八日發】昭和四年設置以來二年四ヶ月を經過せる拓務省は行政整理の犧牲となつたゝめ拓務省三百八十名の職員は仕事も手につかずその始末如何によつては第二の社會問題化する懼れありとて政府の通告を待つて今明日中に會合し對策を講ずる事を申合せた、更に廢止決定の報拓務省に傳へらるゝや拓務省は午後一時より栗安、堀切兩次官、杉浦參與官等參集意見の交換をなした

約五十萬圓節約
各植民地は　大打撃
西山財務部長談

【東京廿八日發】拓務省廢止の結果拓務院が設置される場合は大體内閣拓殖局に準ずるものとして約五、六十萬圓の節約と見らる新拓務院の經費を三十萬圓とし約五十萬圓程度の節約となる、なほ移管諸經費左の如し

一、經常部樺太廳特別會計繰入れ百六十萬二千圓

一、臨時部
（イ）移民收容所費九萬三千圓
（ロ）移植民及び海外拓殖事業保護獎勵費二百四十八萬圓
（ハ）特別會計補助金二千百三十七萬三千圓
朝鮮一千五百四十七萬三千圓、關東廳四百萬圓、樺太廳百六十萬圓、南洋廳三十萬圓

私の苦衷を理解して呉れる事と信ずる

植民地實業家や海外發展主張者は拓務省など大したものでもないと大局論から是非存置を要望するし之に對する反對論もあつたわけでしたが、結局行政整理の犧牲として實行されたのでせうが、何しろ植民地は種々の特殊事情があるのでその利害を代表統裁する主務大臣を持たぬとなれば各植民地とも非常な打撃を蒙ることは明かで、たゞ豫算等についての大藏省に關する問題だけでも却々で、現に本廳の國庫補充金問題でも今回の植民地加俸減額案にしろ拓務省が頑として頑張つてくれたのでよかつたわけですが、大臣がなくなつて總督長官が直接その衝に當ることになれば閣議決定などに際し今までのやうにはゆかぬ又各植民地の連絡統理も同樣ですが、一面近頃のやうに日支問題のやかましい際に折角ある監督官廳を失ふことは非常な損失で僅かな拓務省經費くらゐには代へられぬと思ふが、政府の大方針であれば殘念ながら不自由しても仕方ない

副總裁は　堀切次官
任用の模樣

【東京二十八日發】拓務院總裁總裁は大臣が兼る規定となつてゐるので若槻首相が兼攝すべく副總裁には現拓務次官堀切氏を任用する模樣である、なほ同院の官制はまだ發表されぬが定員は拓務省の三分の一となる

第二課長を訪へば

さうくやりましたね、拓務省は各植民の統制や監督或はその内地との連絡統制の上に立つて帝國の大乘的發展をはかる上に是非必要であるといふので御承知の通り田中内閣の末期に設置されたのでした、その必要なことは今でも勿論であるにも拘はらず政府は僅か卌萬圓の節減をはかる爲に之を廢止するといふのだが僕等には何の事かさつぱり分らぬ今後は内閣の一局として仕事は相當あると思ふが大臣以下政務、參與官は居なくなるし勅任奏任夫々職員の整理も當然行はるゝ筈だが、高等官は兎に角、屬以下の職員をどうするか恐らく現在三百人が半數位に減ずるかと思ふが、他省と違つて新しく官途に入つた者が大部分で經驗は乏しく仲々融通も困難だらう實際三百人のうち恩給年限に達してゐる者はたつた三人ですからね、どうも財政が面白くないからとて國家の是非必要な機關を廢止し剩へこの際多數の失業者まで出すのはどんなものですかね全く不愉快です

他の行財政整理で　藏相、原案承認を求む
豫算編成上責任が持てぬと

【東京二十八日發】三省の廢合は井上藏相が最後迄奮闘したに拘らず反對閣僚の强硬なる異論のため遂に拓務省廢止のみに止むる事に決したが、井上藏相は明年度豫算編成の第一の打開策として立案せる行政整理案が斯くの如く讓歩の餘地あるものと一般に解されては到底豫算編成上責任を持つ能はずとなし若槻首相に對して省廢合は已むを得ず讓歩するも交換條件としてこれ以外の行政整理案はこれ以上妥協の餘地なし財政整理案も是非原案全部を承認されれば豫算編成は不可能であり藏相として責任が持てないからその點を了承され度いと一本釘を打ち首相もこれを承認した模樣である、よつて藏相は豫算編成期切迫せる關係上最近の閣議に行財政整理案を提出して直に各省との交渉を開始し原案通り纏め上げる方針である

不愉快だ　棟居課長談

拓務省廢止の報をもたらして目下恰も關東廳で開會されてゐる稅制調査委員會に出席中の棟居殖産局

注目さる　鐵相の態度

【東京廿八日發】若槻首相は原鐵相が拓務廢止に極力反對し來つたため又廢止が正式に決定した際原鐵相の政治的責任問題が起つて來る譯で之が處置に關して若槻首相も苦心してゐるが、原鐵相も内閣を瓦解して迄主張を固執すまいから原鐵相の態度は注視さる

原鐵相語る

【東京廿八日發】私としては拓務省廢止反對説はまげないが政黨内閣の一員として處置を總理に一任した以上假へ如何なる裁斷を下されやうと之に服さない譯には行かぬ私の立場は非常に苦いが世人は

地盤喪失を懸念して　學良氏直接交渉決意
南京政府は極力之を阻止

【南京二十七日發】張學良氏はこの儘時局が荏苒推移する時は東北の地盤を根本的に喪失する事となるので背に腹は替へられず遂に我を折つて北平の我當局に對し直接交渉の意思を漏らした模樣である張學良氏は中央が到底日本に對し抗し得ずとの見極めをつけ面目を捨てて自己の地盤を保たんとするものである、斯くては南京政府の面目は丸潰れとなるので中央は躍起となつて直接交渉を阻止すべく張學良氏を牽制し激勵してゐる

第二の反抗（44）
三宅やす子　阿部金剛畫

戀ごゝろ（一〇）

快活だつた佐枝子が、此頃急に憂鬱に、外出もあまりしないで、家で讀書などして居るのを、第一に母が不審にしだした。

「どうかしたの。此頃、あんまり遊びにもゆかなくなつたねえ」

「何も面白いことがないんですもの」

「さうかねえ。母さんみたいに、うちでラヂオばかり聽いてるものには、わからないけれど——お友達も誘ひにいらつしやらないやうだね」

みんな斷つちまつたわ、と云ふはうとして、佐枝子は、それも面倒くさくなつて、默つてゐた。

「父樣は、佐枝がおとなしくなつて悦んでらつしやるんだよ」

「へエ、ぢや丁度いゝわ」

「イヽエ」

母は首を振つて

「さうぢやない。あたしは、何かあんたに心配事でもありやしないかと、それが氣になるよ」

「……氣になんかしなくていゝわよ」

「ぢや、やつぱり何か心配があるのかい？」

「そんなこと、私に訊かなくたつていゝわ」

佐枝子は、うるささうに、突つ放した物の言ひ方だ。

母は全く別の意味に解釋したらしく、

「あゝ、さう、やつぱりね」

「それや、父樣みたいに、一圖に仰しやつたつて無理だよ。それ何でもかでも御自分の思ひ通りになさらうつてんだから——父樣のあの御氣性には、あたしも永年苦しめられ。あたしも、いろいろ考へて見たけれど、鯨備さんが大變熱心らしいから、このお話は、さう心配したものぢやないと思ふよ。きつと佐枝さんの仕合せになりさうな氣がする」

母さんまで、さうして、私を無理やりにすゝめやうとなさるの？と佐枝子は、うらめしい、腹立たしい氣持で

「あたしの氣持なら、もうに、父樣に申上げたい筈よ。今更、考へ直すことなんかないことよ。父樣、どうかしてらつしやるのね」

冷やかに云ひ切るのを、母は氣づかはしさうに

「何でも察一さんが、しきりに父樣に云つてらしたさうだね。それについて一寸あたしは訊きたいと思つてたんだが」

母は何事か云ひ出しさうな氣配をみせた。

勞たしましたよ。でもまあ、そこはお互に我慢をして」

何がお互の我慢だらう、と佐枝子は口惜しくなつてくる。

「實は昨夜も、あちらから手紙が來てね。まだこれは、あんたには云はないことに、父樣とはそう云つてあるんだけれど——近いうちにあなたを連れて一度來てくれつて父樣宛に云つて來たんだよ」

「………？」

「橋本のおぢいさんも、だんだん年で、せつかちになつて來たんだね。まあ早いこと、そんなものだよ。結納でも交したいつもりらしい。父樣は云つてらしたよ。だから、あなたもね、はつきり氣持をきめておいて貰はないと——」

「………」

「母さんがあとで又、大目玉を頂

社說

滿洲良民の願望
盜權閥の絕滅　王道自治施行

遼寧省官民代表の組織せる遼寧各方面團體聯合會は、二十五日附で本庄軍司令官に對し、極めて注意す可き嘆願書を出して居る。二十七日の本紙に載せてある通り、其大意は張學良一門は良民の膏血を搾取する大盜である。再び滿洲に其の權力を揮はせない樣に賴むといふのである。之れは滿洲の良民の僞らざる內心の告白である。從來之れを云ひたくつても云ふ事が出來なかつたのである。此心持は決して滿洲民の懷く所ばかりではない。支那全部の良民の心持である。

◇

元來、支那人（漢人）の政治理想は王道にある。歷代の皇帝は名を王道に藉つて帝位を僭稱したものに外ならぬ。易姓的革命が行はれるのは、前姓の王道が行はれなかつたためしがない。實際は王道の問題でなく、權勢の爭奪に過ぎないからである。しかも代つた後の皇帝が決して王道を行つたためしがない。時勢の變により個人威力の幻力が無くなつて、且西洋的政治の影響もあつて、孫逸仙が革命を唱へた時には、革命が個人に降る思想はなくなつた。そこで辛亥革命で共和政が出來たのだが、理想は共和の名によつて、王道政治を行はさするにあつた。此の事は孫逸仙の講演や書いた物を見れば明白な事である。

◇

王道は人民の利益を本位とす（日本皇室の衣食住の御質素は歷代天皇の人民に對する犧牲的御精神を參照）。然るに支那の歷代の皇帝は決して人民の利益を本位としなかつた。なるべく多く之れを搾取して、自家自門自臣の榮華を極め之れによりて、自ら淫樂を恣にし、人民を威壓せんとした。共和革命にても、其、治は決して王道的ではなく、權力者が人民を搾取する事は、清朝時代よりも激しくなつた。彼等は互に權勢を爭ひて戰爭に訴へ人民は益々困つた。そこで孫逸仙は再び國民革命を唱へた。此等の人民を苦しむる所の權勢者を軍閥と稱し、これを打破して王道政治を行はんとするのであつた。

◇

……でも、積する。此れをすべて生產者たる良民階級から搾り上げるのだから、たまつたものでない。良民は心密に支配階級を呪咀して居る。其心持は、上海で蔣介石氏や南京政府の不利な事を書いた小報がよく賣れるとか滿洲でも張學良氏や奉天官憲の不利益な事を書いた新聞が內密に愛讀される事によつて察知し得る。此等の權勢者を新軍閥と稱するのは當然な稱呼である。更に財閥と結合し、三民主義などを振り廻すので、却つて以前の軍閥よりも、良民から見て始末が惡い。

◇

國民黨は、元來軍閥が良民の政治權を橫領して居るのがいけないといふので、それを取り戾す爲に革命を行つたのである。只今訓政期と稱してゐるのは、人民の政權を預かつてゐるので此期間に人民に政治的訓練を施し、然る後に政權を人民に返すのだといふ。併しながら今日の狀態では、格別人民に政治訓練を施こす樣子もなく、專ら權勢者各自が人民膏血の搾取に骨折つて居る。自分が新に橫領者になつて居る形だ。張學良氏の如きが、果して後には人民に政權を返附するといふやうな公明な意圖を懷いて居るや否やは、固より疑問であつて、それは吾々よりも支那の良民達がよく知つて居る。故に彼等の本當の心は似而非なる王道である所の國民政府の政治、殊に滿洲に於て蔣介石氏の傀儡たる張學良氏の桎梏を脫して、眞正な王道政治を仰ぎたいといふのにある。良民本位の自治政治を建設したいといふのは、卽ち此意思を發表したものである。

永遠の平和のため諸懸案解決を建議
商議聯合大會で決議

第十四回滿洲商議聯合大會は二十八日午前九時より奉天取引所信託會社會議室において開催、出席者は村井大連商議會頭をはじめ沿線各會議所代表十名、番外委員八名有志委員十九名その他來賓として奉天總領事、滿鐵奉天事務所岡田地方課長、關東廳山中屬、岐部奉天郵便局長、高橋奉天取引所長野口奉天居留民會長、上田奉天商議副會頭（藤田會頭は上京中）議長席につき野添奉天書記長より大會の議事につきて報告があり、次いで長春彼末氏より前聯合大會事務につき報告あり、議長指名により新に會計委員として大連、安東、長春の三代表をあげ議事に移り各地提案の討議に入るに先立ち大連、奉天兩商議提案の緊急動議により

一、時局に對する建議の件

を議題とし先議に入り議長指名により營口、長春、奉天、安東、大連の五代表を委員に選び直ちに協議の結果奉天案を基礎としてこれに修正を加へ左の如き建議案を決定

時局建議案

支那官憲が隣邦保全の誼を忘れて排日、排貨に沒頭し國際信義に悖り條約を無視し帝國の特種權益を蹂躙して顧みざるの暴擧は多年本聯合會の屢次當路に號訴せしところなり、今回の事變たる素より暴戾なる支那官兵の滿鐵線破壞に起因せる國家自衞權の發動にして蓋し已むを得ざるに出づ、今や局面は進展して全南滿洲に擴大し事態頗る重大となり、これが終局の如何は帝國々運消長の岐るゝところにして到底姑息なる彌縫的外交々涉を以てしては絕對に收拾の途なき狀勢となれり、政府は詳かにこの現狀を直視し事變終了後當然起り來るべき彼我國交上の影響を愼重熟慮せられ、この際よろしく從來堆積せる一切の懸案を根本的に解決すると共に兩國永遠の和平親善を圖るためこの際徹底的法策を講ぜられんことを望む

更に右電請の主旨を徹底せしめんがため上京委員として議長指名の下に大連、奉天、長春、安東四商議の代表者を決定、各要路者に直接懇訴せしむることになり、尙在滿軍隊慰問に關しては奉天の各部……

如何なる犧牲を拂ふも根本的解決を期す
日本商工會議所聲明書

【東京廿八日發】日本商工會議所は二十八日午後二時支那問題常設委員會を開き全國各都市及び奉天商工會議所代表出席左の聲明書を決定した

近時支那官民は事毎にわが正當なる權益を無視し國際平和の根本義に反する排日、排貨を遂行しわが國に挑戰的行動を採り不遜なる態度を以て臨みつゝあり最近滿洲に於ける支那官兵の暴擧は我が軍をして敢然正當防衞の應急手段を講ずるの已むなきに至らしめたが、支那政府はその責任を省みず內外に虛僞の宣傳をなし國內に於て暴力排日貨を激成し在留民に……これ吾人の決して容認し……處にして我が國民は擧國……何なる犧牲を拂ふも將來……を除き東洋平和のため……的解決を期すべきもの……

治安維持と現地保護を電請

第十四回全滿商議聯合會は治安維持並に現地保護に關する政府要路に對する電請文左の如し

事變發生以來皇軍並びに警務當局において十分考慮せらるゝことゝ信じ居るも現にハルビンの如きは日々幾多の事變發生し邦人婦女子の引揚げすら見つ……

萬寶山事件の責任者轉任
支那側の暗闘表面化から　熙參謀長が人事異動

今回の日支正面衝突の一原因として支那側は萬寶山問題も數へてゐるが、その責任者たる周長春市政……

事變の諸材料は多く集める
長春にて　大久保子爵語る

奉天市政公所に五十萬元を交附
關東軍が經費として

朝鮮軍は現狀で奉天附近を守備
京城で兒玉參謀長談

排日を嚴禁
將來の保障要求
大阪對支經濟聯盟決議

【大阪特電二十七日發】……

鄭州領事館宛の書留郵便物押收

感激の斷片
戰線から歸りて　五百旗頭佐一

兵營、武器は最新式　社會的施設は頗る貧弱
吉林で丸腰の巡警が記者に敬禮

個人所得稅新設に決定
課稅率實施期は未定
第二日の稅制調査委員會

戰跡を視察

貴院議員團

中國、交通の兩行開店
頗る閑散

日本文の不穩ビラ
奉天各所に

東北各方面要人行方

長春城內憲兵分遣所充實

瀋海鐵道の運轉開始
本日から

連絡貨物取扱開始さる

軍部から謝電

江口副總裁歸長

瑞典も金本位停止

府縣議戰結果

長春も開店

市況（廿八日）

株式

特產

大豆低落

市場電報

奧地市況

商品

綿糸堅調

麻袋見送り

錢鈔

常市强保合

人事

家庭

熱誠溢れた兒童の可愛い手紙や守札

寄贈された現金を以てきのふは慰問袋三百四十餘を

滿日婦人團慰問袋募集に當り慰問品代として寄贈された現金總額は二十七日までに百七十四圓に達しましたのでこれ等篤志家の意に副ふべく金額に相當する煙草、塵紙便箋、封筒、タオル、チユーインガム、キヤラメル、ハンカチ等を購入し二十八日午前九時から滿日婦人團員約三十名の手によつて右の品を詰め合せ一袋五十錢當りとして慰問袋三百四十八個を作製しました尚八幡町遍照院の龍華婦人會から守袋三百個、山縣通サ、シヤンからマツチ三百五十個の寄贈があり、朝日小學校生徒有志から三百四十八通の熱誠のあふれた可愛い手紙を寄せられましたのでこれ等も一個づゝ封入しました（寫眞はその日の作業振り）

慰問袋受付數

二十六日　▲一個宛西村あさ子、森永榮、小平榮、沖田金三郎、麻生利三、川畑、小松光子、山田米吉、富田靜枝、富田新吉、富田信一、迫田モト、内田吉堯、池田正明、八千久席、高橋勇、前野その、平野タカ、岩倉洋行、相澤弘、出尾、神島、二宮、一宮、山本、尾崎きぬ子、竹本春枝、榎本蘭清、鮎川せき、岩井詠子、岡田昤子、永吉萬右衛門、矢野太三郎、松本圓藏、大波多タル、加藤實子、伊佐龍武榮、秋吉昇、松原キク、北里トキ、林讓、無名氏、田中、野崎松男、武内ツネ、桑原清次、原幸雄、白石タカ、高瀬、須藤、東瀬戸、稻葉、本山初枝、後藤淺太郎、小林庄五郎、元木ハマ子、京僧二郎、無名氏、吉野洋服店、村瀬妙子、加藤みよ子、吉川ふよ、内藤モト、仲尾次サカエ、渡邊タマ、高橋サツエ、手塚ツネ、中川英子、神春子、無名氏、内藤、北川、スター商會、柏村、凪子、村上正義、平山不二男、藤平芳利、金永云、吳坂德、者鳳甲、楠本正吾、金興昌、奥野精三、來城了介、下田マサ子、花田正親、甲斐ふさ、上田美智子、月野スエ、森沖、白山、無名氏、淵江喜久雄、田崎照子、佐藤セイ子、伊藤芝直、村上胡平、池邊清、石橋德次、松本まさを、町田みれ子、堀部あや子、三浦滿子、後藤石子、林田ふみ子、松尾、福地、百東、長廣、林田學、坂東、直塚、藤井俊吉、中村岩造、川山千代子、倉坂光彦、池田靜夫、加藤利彌、有門富子、山田ハマ子、前田きよ、松澤みつを、瀧原キク子、田中春子、白石いさ、德田多喜、厚木美代子、泉俊子、廿上祥平、松本桂子、小卷昇、三宅久夫、青木高一、堤貞、無名氏、福山、佐々木モミ、長坂一枝、古森玲子、渡邊、大谷ユキ子、無名氏、小山オク、森松枝、今村悦子、大村美壽子、田島もと子、小形政美、矢吹かよ子、角田、能善美典、柴田時計店、大田敏子、吉田安太郎、宇治原榮子、木村なつの、石井松之助、山本爲市、三輪秀太郎、小柴靜江、鹽見ツネ、小島、合田、原シヅ子、江見澤、無名氏、大橋光子、山岸きみ、黒澤欣子、赤川晋、土方野健之助、須藤久子、尾形喜多、山口菊雄、福田章、木梨哲郎、今子、寺尾道子、飯盛かづ子、田川上義雄、行武淑子、志津間靜、中國益高、橋良三、山田ハツミ、稻賀襄、北川欽次郎、北松八重、土井ふみ子、豐島タカ子、太田君子、古澤富美子、石渡ハル子、小西ハル子、井上勇、井上有子、早川清吉、福島格、望月康子、福田かほり、無名氏、渡邊ミサ子、山中好枝、五島すみ子、牧千鶴子、鍋島みどり、花澤初枝、拜村幾代、中村勇吉、増田松代、瀬川きぬ子、中谷ハツ子、▲二ケ宛津島博太、小松春子、武藤、篠原いさ、栗原、岡、小澤、結城あつ、藤森千春、吾妻力松、森田富子、瀬崎要人、中根三吉、村上壹邦、宮下實、本郷、永井喜太郎、廣々實、小畑一家、島田喜太郎、三木ユキ、明池ハヤノ、萬羽せい子、渡邊久子、武江子、大山ふじ江、井關節子、大野くま子、清水璋、柴田花子、島崎春子、松澤榮、嘉納合名會社、三村、山内、關根十オ、吉田きみ子、濱本すみ子、八卷以榮、中村ゑい、貞永但子、松浦、津久井ネ子、高橋いく子、大崎合靖枝、勝田奈良江、本間澄子、茂樹、松尾永松雄、吉岡ひさ子、松原政美、中川ふみ子、渡邊のぶ、坂田一家、馬野悦子、勝城來吉、林まさ子、▲三個宛篠原ぬい、矢野ケイ子、相馬一家、伊藤ヨシ子、中村英吉商店、加藤、岩村トヨ子、椎野、岩岡、新庄敬一、構溝一家、吉崎和男、森キミ、牟田、大槻たつ子、中川商會、佐藤千代子、鈴木政男、内田滿直、▲四個宛高橋辯護士、吉野房江、林田扱、北條幸江、松家清、▲五個宛西島貞子、無名氏、柄澤ヤチ、關根みどり、安武誠子、堀諫、吉富金一、川上千春、本多保江、山崎實子、無名氏、黒川、福田濱子、長濱秀子、池田醫院、木船せつ、南里あい子▲六個宛德山氏、無名氏、山本昌子、横山靜▲七個宛徳田德次郎、森本君江、渡邊文子▲十個宛福本順三郎、大島サワ子、長谷川順子、仙波豐子▲十三個小野扱▲十五個宛岡榮新聞店扱、須田しづ子、▲十八個滿銀扱、▲十九個森本扱▲三十個戸泉セーニヤ扱▲三十三個岡榮新聞店扱、▲三十五個旅順支社扱、▲四十個湖月、野口兩人扱▲六十個大連美容美髪業組合▲二百二十七個小崗子料理店組合▲五百四十八個彌生高女生一同

計千六百七十三個

慰問品の取扱所

沙河口　岡榮新聞店
伊勢町　熊井洋行
浪速町　宮崎時計店
連鎖街　備後商會

慰問品募集

一、種類　タオル、ハンカチ、石鹼、便箋、鉛筆、切手、はがき、軍手、靴下、煙草、キヤラメル、繪葉書、ちり紙其他腐敗せず歡ばれるもの
一、金額　最低二十錢見當の品物
一、期日　第一回締切九月末日限
一、取扱箇所　大連は滿日社内滿日婦人團本部▲旅順は旅順滿日支社▲金州は滿日金州支局▲普蘭店は滿日普蘭店支局▲貔子窩は滿日貔子窩支局▲周水子は滿日周水子販賣店▲城子疃は滿日城子疃販賣店

附記…慰問袋は前記取扱箇所にありますから御受取り下さい

主催　滿日婦人團
後援　滿洲日報社

寄附金

二十五日　▲金二圓也南司郎▲一圓宛森トシ子、中川義臣、今井行平、水田磯次郎、青島生、▲金九十九錢村松▲金七十錢木村正記▲六十錢小野▲金五十錢宛楠本義夫、岡田君太郎、宮崎正夫、田中、土井源一、北中松夫、壺田儀平、笠井常雄、佐野、矢後重信、山崎勝治、湯山房藏、中島荒登、田中富太郎、伊正清、山口杉山、東城一、沓掛チカエ、小松▲金四十錢宛溝部久子、稻垣▲金三十錢宛ばいかる丸船員、赤村靖一、松井千惠子、藤永▲金二十五錢岡嘉吉▲金二十錢宛井川ヨシ、銀座トンボ、今井勝太郎、山崎チエ子、川野卓二、西村長四郎、由井、松重、伊藤芳郎、麻生彌嘉久、堀金新之助、▲金十錢宛銀座カヅ子、マス子、照子、草江、月江、秀子、登江、音羽、八千代、美江子、一代、柿井義夫、安井、河野すみ▲十圓二十錢篤志家三十二名

計金三十四圓八十四錢
累計金百六十四圓四十四錢

二十六日　▲金五圓也八幡　多田あや子▲金二圓五十錢也滿鐵管理課小代俊明、▲一圓宛但馬町橘たま子、楓町三宅久夫令夫人▲金五十錢也畠町新井ちゑ子

計金十圓也
累計金百七十四圓四十四錢也

童話　鐵砲（四）

政本いさむ

ポルトガル人はその頃航海術が進歩してゐたので世界到る所に船を乗出して盛に貿易をしてゐました。印度、シヤム、南洋と渡つて來るうちに、是非日本といふ國に行きたいと考へてゐました。ポルトガル人は、東洋の東のはてに日本といふ國があつて、金銀などの寶物が國のうちに滿ち／＼てゐるといふ事をかれ／＼聞かされてゐたからです。

日本へ／＼と目ざしてゐるうちにはからずも着いたのが、この種が島でありました。

島は緑に彩られてゐて、海岸には白い砂濱がつゞいてゐました。

何といふいゝ景色だらうとボンヤリ見とれる程でありました。

家の造り方が南洋の家によく似てゐて、みんな藁葺の小さなのばかりでした。殊に珍しかつたことは、そこにゐる男がみんな頭の上で變な恰好に髪を結んで居ることです。そして誰も／＼風呂敷のやうなものを着て、之れを腰の眞ん中でしばつてゐました。

面白い所だと思ひました。

女は艶々した漆のやうな長い髪を垂れてゐました。みんなすきとほるやうな桃色の頬に、くり／＼した丸い黒玉の眼を持つてゐました。

「何といふ可愛い女達だらう」と思ひました。

島の人も珍しさうに船のあたりへ集まつて來ました。そして一番驚いたのがあの鐵砲でありました。

「一つ驚かしてやらう」と思つて、チエモトといふ男が一人で、丘の上へ登つて行つて島主たちの前で打つてみたのでありました。島の人は喜んでこの珍しい異人さんをいろ／＼もてなしました。異人さんも珍しさうに島主のうちや金兵衛さん（清定）のうちへ時々遊びに來たりしました。

金兵衛さんには若狹といふ今年十七になる娘がありました。金兵衛さん夫婦にとつて、たつた一人きりの娘でありました。

小さい時から至つて怜悧な生れつきでしたから、夫婦の者は何萬の財寶にも代へ難い寶のやうに可愛がつて育てゝ來ました。

大きくなるにつれて顔かたちの美しい事といつたら、天女がつひ間違つて天降つて來たのではないかと思はれる程で、こんな邊鄙な島なんかに置くのは惜いものだと、誰も／＼思つてゐました。

「早くいゝ婿を貰つてやり度い」と夫婦の者は樂しみにして居りました。

チエモト達が遊びに來てゐるうちに、ちらと若狹の姿に眼をとめたのであります。なんといふ綺麗な娘だらうと思ひました。が、チエモト達には其後何度となく遊びに來て見ても、その影さへも見せませんでした。

もう一度見たいものだとチエモトは思ひました。

船に歸つてゐても若狹の姿が眼の前に浮んで來るやうになりました。何とかしてあんな娘を國に連れて歸りたいものだ。と毎日々々考へてみましたが、人種の違つた吾々にどうしてくれやうか。それに金兵衛さんにとつては、たつた一人きりの娘さんだ。

或日チエモトは金兵衛さんのうちに行つて

「いゝ娘さんをお持ちでございますれ」

といひました。

「いや、どういたしまして」

金兵衛さん夫婦はにこ／＼してゐました。

あの娘の婿になれるならこの國に留まつてゐてもいゝと思ひました。

でもそれは駄目なことだ。とあきらめました。

チエモトはその日もう何にもいはずに歸つて來ました。

パン唯パンを求め押しかけた人の群
奉天慈善團體の食糧配給所で 愈々配給開始さる

【奉天】奉天城内外治安維持の根本的對策として愈城内外貧民數萬に對し紅卍字會、人類愛善會その他慈善團體等の手によつて食糧品の支給が開始された、配給場所は城内外五ヶ所で一個所二千づゝ一日に一萬人の貧民を救濟することになつてゐる、所は小南門外風雨臺の配給所、午前十時から支給されるといふので

配給 を受けんとする貧民は老若男女を問はず潮の如くなだれ込む、その數一ヶ所だけでも萬餘、以て數へる物凄さ、今や遲しと配給品の到來を待ちわびてゐる是等貧民の群は自動車の到着する毎に先を爭つて集ひ來る愈々紅卍字の旗をつけ食糧品を滿載した一臺のトラックが到着するやオノレ逃がさじ是非パンをといつた調子でトラックに着くまで追ひかけ詰めかけ女子供は今にも押つぶされるやうである……パン、パン彼等が時局で餓に求めるものはたゞこれだけである、圍ひの中に一團を閉ぢ込め

門口 より一々糧秣廠の乾麵麭の配給が始まる、一時に門口に向つて押かける堅固な土塀は今にもブッ壞れそう、巡警が整理するすごい怒號もきかばこそ、今となつては命よりも食物が尊い生命を增しても求めんとするものはパンのみ……といつた有樣で文字通りの命がけである、一個のパンを投ずれば我先に之を得んとする實に蹴球戰よりも物凄い、餓えた狼以上である、かくして一ヶ所で二千の配給が終るそして彼等はその得たパンを喜んで

食物 とする十分な救濟は出來ないが漸次徹底して來る、かうして彼等の腦裏に刻みこまれたものは何か到る處でたゞ日本人、日本人と口癖のやうに唱へ遐へてゐる處は子供よりもいぢらしい處がある

に電請することになり直に主務省參謀本部、關東廳にあて打電した又末光、入江、遠山、西尾、手塚の諸氏 憲兵隊、警察署、市政公所等を訪ひその勞を犒ふと共に一層嚴重なる警備を要望する處あつた

江口副總裁

【奉天】江口滿鐵副總裁は軍隊慰問の爲廿七日朝來奉瀋陽館に本庄軍司令官を訪問し時局に對する深甚なる敬意を表し守備隊を訪問後衛戍病院に傷病兵を見舞ひ引續き軍司令部總領事館を訪問し同日十五時半發急行にて長春に向つた

市民臨時維持會 奉天で組織請願
市民の福利を圖る爲

【奉天】今回、時局の影響を受けて各商店とも休業同樣な狀態、あり今後寒氣の加はると共に貯蓄のないものは全く哀れの極に達するであらうといふのでこの際是等の人々を速かに救濟するため市民臨時維持會を組織し短期間の内に日支雙方の市民福利を圖り各地とも秩序維持に努力したい……との意味の請願書を認め民衆團體中華商務會、掩埋聯合會、紅十字會、紅卍字會、遂寧會、聖道理善研究總會、遂寧會、貧民婦孺救濟會、道德研究會、佛學會、音會、孔教會、農務會、瀋陽道院、紳士、遂寧佛教會、熱河四民兼察會、哲里木盟黑龍江四民會、吉林四民會、達爾罕族會、醫學研究會の各代表職名して廿六日市政公所に申請して出たこれがため同所では奇特な行爲として之に一部依賴することになつたが具體的方法決定の上實施する筈である

撫順北方山間の敗殘兵掃蕩
守備隊の積極的計畫

【撫順】撫順北方山間各地に蟠據し全く匪賊化せる支那敗殘兵徹底的掃蕩計畫——既報二十六日撫順守備隊の出動に依り滿鐵線に沿ふ渾河南岸敗兵は大略掃つたが撫順城北方高地たる「玉兵屯」「横道河子」乃至同所を貫く鐵嶺街道「馬牛莊子」「下哈達」等の撫順城下には既に大部隊なきも數百乃至數十の敗兵今尚あり日鮮農民を虐げつゝあるので交際せ居住民保護策の見地からも撫順近郊へこそこそと出て來て何をやり出すやら判らない擾れるに鑑み撫順守備隊はこゝ兩日中主力部隊を出動せしめこれが大掃除をする事になつた、右に就き川上守備隊長は二十七日赴奉大隊長と協議を遂ぐる處あつた、因に前記各地の敗兵分布狀態は數多偵察の結果判明した處に依ると次の四種類に分け得る、即ち第一は數百若しくは數十名一部隊を組織しある部落を占領鮮支農民を問はず公々然掠奪行爲をなすもの、第二は十數人の強盜團を組織し晝は隱れ夜間あばれるもの、第三は只部落民の家にフンゾリ返り何を持つて來いかにを持つて來いと大威張りをして座食せる者、第四は鮮農のみを掠奪する團體等々分れてゐるとある消息通は語つてゐた

保安隊を設置

【奉天】城内における治安維持會では保安隊設置を決定し隊員募集中の處今回六百名の應募者があつたので廿七日夜から各自に銃一挺を貸與し賊徒の横行に備へしめた

警備充實要請

【奉天】奉天商議々員會は廿六日午後開かれ聯合會提出議案の審議をなすと共に近頃支那敗殘兵、匪賊の横行盛となつたので我が警備力を一層充實されんことを各要路

敗兵から逃れた哀れな鮮農たち
一年間の收穫を放棄して 續々撫順へ逃れ込む

【撫順】廿四日朝來大小幾部隊の支那敗殘兵の放火掠奪の暴行の魔手から睨まれ撫順へ避難して來た鮮農は二十五日より二十六日までのみで既に百五十二名に達してゐる、これ等鮮農等は營々辛苦の結晶たる一年間の收穫物を放棄するのやむなきに至つたがその面積水田畑等百七十二天地、豫想收穫高千五百十石の多きに達してゐる、是は前二日間單に撫順市街へのみ避難して來た者の被害でありその他各地へ避難せるものを合すると驚くべき數に上る如くである、因に同日まで撫順へ避難し敗兵の暴虐に泣く者の内譯次の如し(戸主名下家族數)

▲鐵嶺縣馬坊滿△閔龍俊三名△韓漢哲二名△李元汝七名△李贊吉五名▲孤家子(奉撫線孤家子とは異なる)及び連刀灣△李應鎭三名△擊道行二名△朴弼五名△玉處三六名△金孝默七名△金得福六名△金洪善五名△金淳七名△李雲鳳七名△崔學雲十一名△鄭元浩六名△金泰興四名△林永紀九名△金官國六名△金子道十四名△金奉紀八名▲石碑山△朱明鎭七名△金永達三名

時局を繞るナンセンス

【撫順】時局ナンセンスの一齣——撫順東鄕山附近は何か事變ある際は各部落警笛を鳴らすことになつてゐたところが二十六日晩一人の醉つぱらひが醉つたまぎれにその警笛を鳴らした同部落民スハッと許り盲滅法に發砲この銃聲をきゝつけた西鄕山の部落民それ匪賊來襲と東鄕山方向目がけて發砲何の事はない兄弟部落の内輪戰翌日それが判つてナーンの事だと雙方目をパチクリく

大東溝の邦人引揚

【安東】鴨綠江下流の大東溝地方の邦人は事件以來不安に包まれて

警官家族引揚

【安東】流言蜚語盛なるため大東溝我警官派出所員の家族引揚げさす要あり以て二十七日朝此れが迎へに安東警察署より警官派遣の筈

鳳凰城襲擊の準備

【鳳凰城】當地東北方四里大堡附近に公安隊約二百名と大刀會約四百名とが合し、鳳凰城を襲擊の目的で目下戰鬪準備を整へつゝありとの情報ありわが守備隊では嚴重警戒中である

馬賊憤慨の卷
入市を拒まれ大暴れに暴る

【鐵嶺】二十三日八面城商務會及市内有力商店東興義、義和順、巨源茂等に對し馬賊頭目紅樂、榮三點、平推等三名連署を以て書面を寄せたるが其文面には 我々馬賊團を市内に入れ商務會に於て食料を給與するなれば日本軍襲來するともこれを擊退すべし速かに入市せしめよとありこれに對し商務會では既に日本軍隊と諒解成立し絶對戰鬪なきにつき入市は絶對許さずと手酷しく跳つけたる爲め賊團側は激怒したるらしく同夜四名の賊潜入して人質一名を拉去翌二十四日午前七時頃聯合馬賊二百餘名一團となつて押寄せ一時公安隊警庭まで突入し來るが官民協力善戰し各砲臺より砲擊し辛うじて郊外に擊退したるが何分警備力薄く積極的追擊不可能の爲め小川一つ隔てゝ今尚對峙中であると

總て淋しい旅順
例年なら賑ふチヌ釣りも 時局の爲め陸釣を見る位

【旅順】旅順の仲秋節は日支事變の影響にか國旗を揭揚するもの平素の半數にて流石遠慮の氣分が漲り祝宴も又至つて内密に行はれたので屋外に響くドラや太鼓の音も例年の如く賑やかでなかつた、また例年ならチヌ釣で大賑はひの旅順も時局の爲め至つて閑散二十七日の日曜の如きも僅に陸釣が日本橋附近に散見する位であつた、然し舟釣は十七八隻も出たがいづれも不漁でとても例年の比でない、野球も遠慮秋の運動會催し物も悉く中止それに手薄の警備關で平常以上の緊張振りでコソ泥一件なく車馬事故一つない平穩、然しいづれもは支那の動きに絶えざる注意を拂つてゐるので却つて時局に關係ある方面の者は平常以上の心勞を覺えてゐる

誠心籠る慰問袋
麗しい姐さん達の慰問

【金州】金州に於ける慰問袋の應募者は其の後續々と申込殺到し支局に於ては轉手古舞を演じてゐるが二十五日は内外綿の四十五袋を切掛に種馬所、郵便局、農事試驗場、金福鐵道、各學校職員、金州醫院等々各獨立官衙會社の職員、それに個人申込を加へて三百袋を越え、支局では袋追加送附引つ切なしに本社に電話を掛けると云ふ始末である、殊に文廼家の姐さん達の如きは血の出る樣な思ひで貯めた貯金を引出して迄、これもお國のためと誠心籠めて入念に中味も吟味すると言つた心根だ、此の麗しい心持は確に涙より外に何物もない、斯くて廿五日夕刻迄に申込は三百五十を突破した、既に袋に圓々と詰め込んだものも多數支局に屆けられ、二十七日には愈々第一回の本社輸送を行ふことなつた因に其の後の應募者は左の通りである

四五内外綿一同、三一種馬所員、二〇金州郵便局員、一二金州小學校職員、四四農事試驗場員、二〇金福鐵道員、二三公學堂南金書院職員、一〇金州醫院、一五民政署電氣係員、五金州保線區員、二阿部坂幸子、二金州驛大津、三濱田タツヨ、一山口ミノ、三三浦健造、三平井齊三、八文廼家一同、一土屋卯太郎、一外村政吉、三堀内正重、一市村外吉、三田中しな

軍用電話切斷

【鳳凰城】二十六日午前十時半頃城内の吾守備隊本部と鳳凰城驛との直通軍用電話鳳凰橋附近の箇所を切斷せるものあり、犯人嚴探中

出奉者を制限

【大石橋】今般奉天警察署長より大石橋警務署代警務署長に宛て同地方昨今相當混雜し居る模樣で旅館等の狀況よりせば沿線各地より來奉する邦人常時の約倍數以上となり然も支那人の避難出入者と相錯綜するの狀況につき城内及衝突事件現場或は軍隊の城内駐屯の模樣等獵奇的見物者は此の際中止する樣勸論方を申越した

特殊婦女步合制度改正請願
關東廳で却下

【奉天】全滿料理店聯合會では特殊婦女の現行步合制度改正の件につき豫て關東廳に認可方請願中であつたが今回詮議の限りにあらずとして何れも却下となつた

刈萱龍口へ

【旅順】青島碇泊中の第十六驅逐隊「刈萱」は二十七日龍口へ移動した

鮮農、地主仲直り
朝鮮軍に備へた槍を中心に 支那地主の態度變る

【撫順】朝鮮軍來襲に備へた數百の槍支那敗兵の脚をえぐる——既報流言蜚語のため支那街乃至支那各部で急造した槍は(金鱗の槍)その全部を集めると夥だしき數に上るが右は朝鮮軍の來襲の流言を眞に受けそれに備へたものであつたが日と共にその眞相が判明するに及びグット奥地は敗兵以外支那地主住民等にも今尚鮮農壓迫の氣配は確にあるが撫順近郊各部落支那地主の如きは鮮人に對し豹變頗る安協的親善振りを見せてゐる、支那地主等曰く

吾々支人は地主であり君達鮮農は吾等が小作だ、元來地主と小作人は車の兩輪の如きもの密接な利害關係があり相反目する事はお互の不利である敗兵にその耕れる農耕地を荒される事はお互の生活を脅威する今回の日支事實は吾々仲間に直接關係はないじやないかそれに最近は支那敗兵が匪賊に早變りしてゐるがこれ等匪賊に對してこそお互に警戒しようそして鮮人襲擊の謠言の眞最中作つた槍で彼等敗兵の掠奪に備へようじやないかと鮮支住民自體は最近頗る仲よくなつた

新義州で執務

【安東】安東出動中の新義州第二守備隊に對し朝鮮軍司令部より安東市街平穩と認めたる場合は幹部のみ新義州に歸還し事務を處理すべき旨の通牒に接したるやにて三輪守備隊長は目下考慮中

電線切斷犯人

【安東】廿四日夜半安東中學校寄宿舍前において我守備隊の專用線を切斷せるものありて警備團は極力探査に努めてゐるが廿五日夜も該附近に擧動不審の支那人五名がうろつき居るを發見し側に近付かんとするや曲者は一散に守備隊裏山方面に逃走したが在鄕軍人分會は佐藤中尉以下六名現地に赴き極力犯人の搜査につとめてゐる

官金を横領し鹽務局員逃亡

【奉天】今回の事件の混雜に乘じ遼寧鹽務局秘書劉學記(三一)は鹽の輸入を口實として御用商人から一萬五千圓より二千五百圓を詐取し事件當夜省會計より二千五百圓を竊取し大連西檢晩翠軒の抱妓奴々子事須山菊子(二一)と落籍し行方を晦ましたので目下大搜査中である

貴院議員一行

【奉天】廿七日午後七時から在奉各有力者はヤマトホテルに滯在中の貴族院議員一行と會見し時局突發前後における滿洲の狀態につき種々意見を交換する處あつた

田北高級參謀

【安東】第十九師團高級參謀田北步兵中佐は管内視察の序に安東守備司令部に來訪、三輪司令官の案内にて安東支那街の警備並に實業銀行等を視察の上、安東縣政府を訪問せり

守備隊を犒ふ

【鳳凰城】當地中國人は一般に吾軍隊に對し好感を持つて居るやうであるが、商務會及各團體代表者その他主だちたる者數氏は、二十五日吾守備隊を訪問感謝の辭を述べ勞を犒つた

安東高女生徒鄕軍の手傳

【安東】安東高等女學校戸塚校長は今回の事變に對し出動各部隊を慰問歷訪したが更に二十六日鄕軍に對し上級生徒をして鄕軍の炊出に手傳はして貰ひ度き旨申出たので鄕軍本部では二十六日夕より女生徒をして炊事に手傳はしめる事となつた

負傷兵の見舞

【奉天】奉天々理教婦人會では廿七日卅名の會員が木綿紋附で衛戍病院に負傷兵を訪ひ入院負傷兵卅名に見舞品を贈つた又赤十字社篤志看護婦人會奉天分會でも慰問品三千個を軍司令部に四千二百個を警察署に贈つた

戰死者追悼會

【旅順】旅順淨土宗明照寺では二十八日午後七時から中村大尉、井杉曹長並に日支事變戰死者英靈追悼法要を營み總本山京都智恩院特派布教師增谷氏生師の來旅を卜し講演を行つた尚又信徒一同からは慰問袋を出動部隊へ送つた

小學生の奉仕

【大石橋】大石橋小學校に於ては谷口學校長率先して日曜を全校職員と四年生以上の生徒が今回新設せらる、飛行場の地ならしに手に手に鋤鍬持つて勇ましく出掛けた因に飛行場は昔に名高き娘々廟を安置せる迷鎭山の麓營口線より見える平地である

商議聯合會
提出の議案

【奉天】廿八日午前九時から奉天取引所信託會社樓上會議室において開催された全滿商議聯合會に大連及び奉天より提出する議案は左の如し

一、時局に關する建議
一、拓務省存置方請願の件
一、滿洲に會議所令發布方請願の件(以上大連)
一、治安維持と現地保護につき電請の件
一、時局に關する建議(以上奉天)

尚當日出席者は
△大連村井會頭△營口副會頭△安東荒川會頭△鐵嶺紀藤會頭△長春彼末副會頭△鞍山加藤會長△撫順田中會長△開原川島會頭△四平街添田會長△奉天石田武亥氏△來賓として關東廳より山中局長、滿鐵より大森地方部長、武部次長△議長は藤田會頭上京中のため入江副會頭が議長席に着く筈

遼陽部隊慰問

【遼陽】遼陽時局委員會が中心となり市民一同は駐劄第二師團、步兵第十五旅團、第十六聯隊長に左の感謝電を廿六日發送した

神速なる貴軍の御行動により滿蒙禍根の殲滅せられんとする事に感激し閣下以下各將士御一同の御勞苦に對し深甚なる謝意を表すると共に茲に御慰問申上ぐ尚當地は警備團を組織し目下至極平穩無事なり御安神御奮闘あらん事を祈る

軍司令官へ謝電

【遼陽】遼陽在住民は廿六日本庄關東軍司令官に左記の電報を寄せ感謝の意を表した

神速なる貴軍の御行動に依り滿蒙禍根の殲滅せられんとする事を感激し閣下以下各將士御一同の御苦勞に對し深甚なる謝意を表すると共に茲に御慰問申上ぐ

母國兒童作品展

【旅順】旅順初等教育會主催母國兒童作品展覽會は既報の如く廿七日より第一小學校講堂に於て開催せるが主として大阪櫻宮小學校、京都春日小學校、神戸小學校、名古屋小學校兒童作品にて小學兒童とは思はれぬ書畫多數が陳列されてゐた

沿線往來

▲森守備隊司令官 二十六日來奉
▲佐藤滿鐵理事 同上
▲石光中將 二十七日來奉
▲小倉大連農事事務 廿七日赴任
▲大橋芳造氏(新任開原地方事務所社會主事) 二十六日着任
▲于沖漢氏 赴奉中のところ二十六日夜遼陽に歸る

美味滿點 滋養滿點

皆様おなじみの「どりこの」は家庭飲料として、彌〻好評を戴いて居ります。品のよい香り……ゆたかな味……卓越した滋養價は……愛飲家の皆様が、口を揃へて御賞讃下さいます。

人間活動力の源泉となる……葡萄糖と果糖
消化の神様と云はれる……アミノ酸

この三つを主成分とし、他に數種の貴重な強壯劑を含んだ「どりこの」は又と得難い滋養料で、高橋博士の苦心に成つたもので正に奇蹟的の新發明とも云ふべく、飲料界に大革命を起しました。

まだお飲みにならぬ方は

百聞一飲に如かず

どうぞ一度御試飲下さい

六七倍の水に薄めてお上りになると、言ひ樣のない美味と無限の滋養は、キツト皆様の御滿足が得られるものと確信いたします。

一瓶定價 一圓二十錢 送料二十四錢

發賣元―東京本郷 振替東京六六六二九
大日本雄辯會講談社代理部

ロ―95

高速度滋養料

どりこの

專賣特許 醫學博士 高橋孝太郎先生新發明

全國の藥店百貨店食料品店にあり

登錄商標 專賣特許

610 HAP

六一〇ハップに付謹告

本邦唯一の專賣特許品にして而かも六一〇ハップ（浴精）の登錄商標を以て堂々全國的に有力なる販賣機關を網羅し斷然壓倒的勢力を以て賣行增大の盛況にある事實は品質卓越し效果の顯著なる事を最も雄辯に物語り居るものに外ならず候然るに近時本品の盛運を嫉視し專賣特許權無きは勿論高貴藥の配劑なき無登錄品が却て兎角の惡宣傳を試み其聲譽を傷つけんとする者あるも賢明なる各位は日本政府が保證せる唯一の專賣特許品なる事及六一〇ハップの登錄商標に疑問の餘地なき事を確認せられ御誤解無き樣願上候、にせ物がにせ物扱する惡世相に鑑み一言御愛用者並に御販賣者各位に謹告仕候追て各高貴の御方々には本品の效果卓越なる事を認められ常に御愛用を蒙り居候

昭和六年九月

製造元 名古屋市 東洋ケミカルインダストリー商會
發賣元 名古屋市 武藤鉦合名會社藥品部
滿洲總代理店 大連市聖德街三丁目 上野藥局 電話九六四六番・振替口座大連四八〇五番
大特約店 奉天市琴平町 久野博章商店
各特約店

本品は家庭温泉藥として又內服、浴用、塗布、濕布、含嗽、洗滌等に適用し特に婦人病、皮膚病、動脈硬化、痔疾に特効あり
登錄商標六一〇ハップに御留意の上食料品店、藥店、購買組合等にて御求め乞ふ

定價 六圓 三圓半 二圓三十錢 一圓 三十五錢

消化劑 口香料

仁丹

ストップ！

仁丹を持たないやうな人は困つちやいかんぞ！
！と、まアこう云つたものさ
あんた方の体が大切ぢやからの

藥效、藥味等お好みに任せて小粒、銀粒、大粒の三種あり

最良の母乳代用品 理想の離乳期榮養

ラクトーゲンが母乳代用として著しく他の乳製品に優れて居る事は實際使つて見た經驗者の何れもが立證する所であります
秋が近づいて離乳の最好季節に入ると重湯と混合せるラクトーゲンが此の期の榮養として申分のないものである事は各大家の御研究によつて明かになつて參りました、御使用によつて理想の發育を得ます樣おすゝめ致します

世界第一 完全粉乳

ラクトーゲン

販賣店、藥店食料品店
離乳期冊子申込次第進呈

乾卯商店大連支店
大連市山縣通六七

6―9―B

一般藥品 卸賣も致します 小賣も致します

㊎ナニワ藥局

大連市浪速町三丁目
電話七二六六番

一匙 今日の疲勞を忘れて明日の健闘に備へる

急速強壯劑

ラボカ

お布團用

ふくふく綿

イワキ印
西川ふとん店
電長三七六〇番

東洋第一

花王石鹸（カオーセッケン）

當然の當然

東洋に冠たる大石鹸工場の良心的大量生産に依つて正價づけられた花王の一個十錢は常用石鹸の正しい標準價格であります

花王と御指名下さい

日常の御用品をあれこれとお迷ひになるとは御損です石鹸は「花王」と御定め下されば安心してお使ひになれます

純粹度九九・四%

東京 花王石鹸株式會社長瀬商會 大阪

馬賊に襲はれたが無事新民屯着
トラックに彈痕を殘す新邱の避難者

新邱炭礦の邦人二十三名（男子九名、婦人六名、子供六名、警官二名）は二十六日トラックで同地を出發したが、途中新民屯を距る四十支里の地點に於て馬賊の襲撃を受けたが、幸ひにしてその手より逃れ二十八日午後三時新民屯に無事到着した、トラックには彈痕をとゞめてゐる程であつたが、一行は到着後公安局等へ謝禮廻り若し午後五時三十分發列車があればそれによつて奉天に向ふが、馬賊の襲撃により列車が不定期であるため一行の新民屯出發は確定して居ない、なほ現在新民屯の在留邦人は約八十名であるが、一時避難をなして居た領事館分館より二十六日頃から自宅に歸りつゝある【奉天電話】

吉林軍の砲彈中にダムダム彈を發見

我が軍部では吉林軍より沒收せる武器、砲彈の點檢中、國際的に使用を禁止されてゐる多數のダムダム彈を發見したが右は吉林軍が使用せんとしたもので口徑一センチ一ミリのものもあり、假へ秩序なき支那兵とは云へ、國際的信義を蔑しろにして、使用禁止彈を使用しつゝあつたのは面白くないと軍部では憤慨してゐる【長春電話】

商家警備に商團體を組織す
奉天城内外を九區に別けて一商家から壯丁一名

奉天市政公署では奉天省城内外商民の開店を慫慂しつゝあるが今なほ主なる商店就中食糧雜貨店は門扉を閉ざしてゐるが右は事變後連日連夜に亘る土匪並に暴民の掠奪に恐怖を感するためであるため土肥原市長は自警團六百名に二十七日夜より銃の携帶を許したがそれでもなほ省城外までは手が廻り兼ね城外が安全にならなければ城内商人は安んじて門を開かぬので總商會では先の商團體を組織し各商家の警備に當るべきにつき城外の警備を一層充實され度き旨日本日本庄軍司令官に申出でた、右商團は奉天省城内外を九區に別け、一商家から一名宛の壯丁を出し一區三百名として夜警に當るもので既に大小東南の兩關、工業區、北市場の六區は成立し殘餘の三區も目下組織を急ぎつゝあり事務所は總商會内に置き團長は商務會員王桐縣、副團長に薛子遷兩氏が就任した【奉天電話】

奉天の滿洲商議聯合大會

南嶺兵營を敗兵襲ふ
二度とも撃退

南嶺兵營には今尚敵兵が殘したる被服食糧の類が山積されてゐるが一時敗退した支那兵は衣食の道に窮すると共に頻りに南嶺兵營を襲はんとしてその都度我が監視兵に撃退されてゐるが二十七日午後十時二十八日午前〻時二回に亘り約三十餘名から成る敗兵の襲撃があつたが、何れも我が監視兵の手で撃退された【長春電話】

敗殘兵と我軍交戰
吉林の北方で

二十八日午前四時吉林にある歩兵第十六聯隊の一中隊が自衛上近傍を搜索中、吉林の北方八キロの地點大屯に於て殘兵約五百名と衝突、數時間に亘り苦戰の揚句敵を撃退し　が我が軍は兵卒一名足部に重傷を受けた、なほ支那側は負傷者十數名あつた【長春電話】

敗兵匪賊横行

四洮線方面は我軍の進出と共に、同方面で暴威を振つてゐた張海鵬の軍は洮線より遠く離れた地點まで逃げてゐたが我が軍の附屬地引揚げと共に最近又復洮線に現れ附近住民を苦めてゐるまた洮索線一帶は、匪賊の横行甚だしく、最近では敗退した萬福麟と張海鵬の軍との間に勢力爭ひ起り各地で小競合がありあさましい同士打ちをやつてゐる【長春電話】

反日空氣なほ濃厚
哈市情勢

【ハルビン廿八日發】支那側の反日空氣濃厚となり邦人に對し家屋受渡を要求する支那人家主増加の徴あり、なほ財政的に困窮せる邦人は約三百名ある

時局安定まで兒童出張教授

【ハルビン十八日發】時局安定迄はわが小學校教職員は安全な個所に兒童を集め出張教授をする事となつた

滿洲事變の戰死者大追悼會
一日芝増上寺で執行

【東京特電廿八日發】今回の滿洲事變の爲め戰死した將卒二百餘名の大追悼會　來る十月一日午後二時から芝増上寺で執行されるが朝野　有志を始め部下新聞通信社も參會する事となり當日は陸海軍人を始め倉富議長一木　相各大臣も列席する豫定だが遺族並にその關係者は勿論一般國民も參加する筈

大利丸の傭船契約解除さる

滿洲事變で血迷ふた支那側はわが國的隣人愛の現はれである長江水害同情會の慰問繊維込みの見舞品の受取を拒絶したが滿鐵が國民政府の希望に依り四ヶ月間一切の經費を負擔して國民政府水災救濟委員會衞生隊本部船として提供することになつた大利丸の引取りも遂に拒絶するに至つたので滿鐵上海事務所では大利丸の傭船契約を解除せる旨二十八日午前滿鐵本社に入報があつた

馬賊抵抗してわが兵負傷
床下に隱れ發砲する

二十八日午前六時奉天瀋陽驛南工業區の支那娼妓家松泉洞に三名の馬賊侵入、拳銃を突きつけ家人を脅迫　金品を強奪の上同家の看板女銀花（三）を人質として拉致せんとした、急報により同區支那自警團同家に至りこれも逮捕するに至らず更に日本軍に通知し來つたので我兵出動せるところ、彼等賊は同區十九經路雜貨商堂集祥方に潜伏せるを突きとめ同十時これを包圍し一名を逮捕せるが一名は床下に隱れ盛んに鐵砲抵抗せるを射殺し他の一名は行方不明となつた、この騷ぎに我兵一名は肩に一名は腹部に銃創を負ひ直に衞戍病院に收容手當中である【奉天電話】

艦載飛行機愈よ絶望
種子ヶ島附近で

【鹿兒島二十八日發】去る二十五日鹿兒島縣志布志にて折柄の烈風を冒して種子島方面に出動し行方不明となりたる軍艦羽黒の艦載機はその後連日連夜の搜査も効なく本日に至るも依然行方不明なることより最早絶望と見做されその筋から家族に通知したが、搭乘者は二等航空兵曹大原武吾、一等航空兵石田勲の二名である

理事者の腹案を一蹴し市議お手盛り旅行
人選で紛糾を生じた市の慰問使

今回の滿洲事變に際し滿蒙に於けるわが既得權益を擁護し併せて在滿同胞の生命財産保護のため派遣され日夜活　してゐる帝國軍隊ならびに警察官の勞苦を犒ふため大連市より衷心謝の意を表すべく慰問金贈呈および慰問使派遣の大連市理事者、市會議員の協議會は二十八日午後二時から市役所議員控室に於て開かれた、協議の結果慰問金は市豫備費の中より陸軍へ五千圓、警察官へ一千圓、計六千圓を支出して贈呈するに決したが慰問使派遣には旅費五百圓を支辨し當初市理事者の考へでは市長代理市會議長に二、三の議員を加へる程度の豫定であつたが、市會議員の希望者意外に多く中には戰跡視察を目的とする遊山氣分も手傳つて十七名に達し　が人選に一紛糾を起した、處が滿鐵と交渉の結果無賃　車券の支給は出來ぬと斷られたので尻込みする議員も出て結局左記十一名の議員が派遣される事に決定したが、市理事者の腹案は一蹴され而も市役所を代表する者は一名も加へられず議員御手盛りの慰問使となりそれに慰問使派遣と　つて派遣される事になつた　派の意見　の如くでありそれに慰問使派遣となつて中には委員の者も參加して派遣される事になつたので當分委員會開會は見合せさなつた

なほ一行は二十九日午後九時三十分大連驛發北行する事になつた、因に一行は第三班に分れ左記箇所に下車慰問の使命を果す筈である

▲第一班　奉天へ（大内、石本若月）▲第二班　旅順、瓦房店營口、遼陽の奉天以南および本溪湖、連山關、鳳凰城、安東の安奉沿線（今村、仙波、高塚、笠原）▲第三班　昌圖、四平街鄭家屯、洮南の四洮沿線および公主嶺、長春、吉林、敦化の滿鐵沿線並に吉敦線（品田、野本熊谷、芦刈）

依然纏らぬ市長詮衡
第四回委員會

第四回市長詮衡委員會は二十八日午後五時三十分から市役所市長應接間に於て開かれた、從來話に上つてゐた人々に就て各派の意見を持ち寄り詮衡に取りかゝつたが革新倶樂部で推薦する適任者は中正倶樂部で反對し中正倶樂部で推薦する候補者は新倶樂部、滿鐵派が賛成しないと云ふ工合で論議又しても議論分れとなり同六時散會したが新人を拉し來らざる以上從來の顏觸れでは全會一致の推薦は頗る困難となつたなほ各

家僕の奮闘で即死を免る
王正廷氏の遭難模樣

【上海廿八日發】　王正廷氏は今朝南京の自邸に於て學生暴徒に襲はれ重傷を負はされた後家僕數名に支へられ漸く自動車で避難した、目撃者は語る

勇敢な家僕が身を挺して奮闘しなかつたら王氏は恐らく現場で即死したであらう

れたが平然として余は職務のために斃れるを恐れずと机に向つて執務してゐた所學生に襲はれたものである、王氏の自動車が外交部裏門から出たので學生がなほ之に追掛けて來たので途中から病院行きを避けて將介石邸に入つたものである

執務中に襲はる
注意され乍ら

【東京特電二十八日發】王正廷氏は學生の暴行により抑々の電報であるが、これより先き王正廷氏は學生が外交部を襲ふからと注意され御發京都に向はせられた

暹羅兩陛下鵜飼を御覽

【岐阜二十八日發】暹羅皇帝陛下御一行は二十七日午後五時半當地御到着六時四十分長良川の鵜飼を御覽の後九時五十分岐阜驛御發京都に向はせられた

南支各方面の狀勢
わが領事館の襲撃を圖る
南京の暴行學生團

【南京特電廿八日發】今朝外交部を襲つた學生五百名は同所から日本領事館襲撃の氣勢を示したので衞戍司令部は百二十名の武裝巡警を派し領事館を警戒した學生隊はこのため途中から進路を變じ國民政府に押掛け領事館は事なきを得た

【上海特電二十八日發】南支各方面の狀勢は左の如くである

重慶　反日會は日貨輸入に九月中一割十月十日まで二割それ以後は沒收を決議したが市中は割合平穩である

漢口　人心漸く惡化し共產黨の日本租界襲撃計畫暴露し多數警備司令部に檢擧された警備司令部は日本租界襲撃に軍警を派して警戒中だが當局の方針通り民衆運動彈壓は困難と觀らる我當局も軍艦平戸を溯江せしめ警戒中

鄭州　二十五日に排日全市民大會舉行されたので當局は五十名の武裝兵で領事館を警戒し無事に終つた

蕪湖　二十五日御眞影を軍艦宇治に移し婦女子は日清ハルクに避難準備成る

九江　二十五日御眞影を軍艦鳥羽に移し婦女子は上海に引揚げの豫定南昌其他の在住者へも避難方勸告した、日本人小學校は減水の爲め二十八日開校の筈の處登校の途中危險を慮り當分閉鎖する

杭州　旅館組合は日本人の拒絶を決議した省政府より上海市政府へ日本人の杭州旅行は危險に附見合せられたいと通知して來た

蘇州　二十五日市民大會を開き參會者四千名で示威運動はなかつたが日本人に對する敵愾心漸次濃厚となりつゝあり

鎭江　二十六、七兩日反日大會あれど直接行動に出る者なく公安局の取締り比較的行渡り男子は依然警戒中婦女子は二十四日來日清ハルクに避難數十名の海軍警戒隊に保護されてゐる

陸海軍出動香港政廳の取締

【東京特電二十八日發】吉田香港總領事代理より外務省への報告によれば香港政廳は反日的空氣惡化に鑑み二十七日會議を開き館務隊海軍に出動を命じ警察と協力し取締りを嚴にし萬一の際は發砲差支へなしと命令した、よつて暴動は數日中に鎭壓されるであらう

現金寄贈を受ける
市の慰問法

大連市役所では今回の滿洲事變に派遣された帝國軍　ならびに警察官の勞苦に市民として感謝の意を表すべくこれが慰問の方法に就き二十八日午前十一時より大連婦人會、關東婦人會、滿　婦人會、組合教會婦人會、滿日婦人會、日宗婦人會、白百合會、女子佛教婦人會、その他各婦人會代表の參集を求め協議したがその結果主催は市役所とする事、慰問袋は各種婦人團體に於て既に活動を開始し募集してゐるので主として現金の寄贈とする事、これが處理に就いては主催者に於て軍部および警務局と打ち合せ有意義に使法を講ずる事を申合せ正午散會したがなほ慰問袋の寄贈に就いても便宜取扱ふと

文化理髪の魁

慰問袋受付け

滿日婦人團本部では毎日續々と運ばれる慰問袋の荷造りに大多忙を極めてゐるが、二十八日の受付數は午後四時まで一、八一二袋にして在滿軍人大連第四分會第二班と逢坂町組合よりの八一一個は本日の大口受付數にして班長長戸茂氏外班員三名の手に依つて本社に運搬された

六大學リーグ
五A對三立教勝つ
對法政一回戰

【東京二十八日發】法立野球第一回戰は二十八日午後零時二分より法政の先攻にて開始五A對三で立教先づ勝ち一時卅五分閉戰

バッテリー（法政）若林、倉（立教）辻、百瀬

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
法政	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
立教	1	0	1	0	2	0	0	1	A	5A

六對二で早大雪辱
對帝大二回戰

【東京二十八日發】早帝第二回戰は午後二時三十分より早大先攻にて開始六對二で早大雪辱す、閉戰四時二十七分スコアーは左の如し

バッテリー（早大）伊達、宮脇（帝大）木越、廣岡

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
帝大	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
早大	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6

旅行團の來滿宣傳
時局一段落で

今回の事件發生と共に内地方面の各滿蒙旅行團體より團體申込の取消しをなすものが非常に多く、殊に女子關係のものは全部旅行中止を申送つて來たが、滿鐵々道部宣傳係にては、事變も既に落付き滿鐵の運轉狀況は全然平常と變りないことを内地各申込團體に報告すると共に更により積極的に宣傳につとめることゝなつた

大檢藝妓の出入禁止
快樂の舞踊場

市内逢坂町遊廓の快樂が時代のトップを切つてダンスホール設置して以來素晴らしく氣に投じ毎夜深更に至るまで踊り狂つてゐるが最近大連檢番の藝妓で客に伴はれたり單獨で出掛けるもの多數あり、殆どダンスホール化さんとする傾向があるので大連署では檢番藝妓の出入を禁止することゝなり廿八日附　中副組合長に其旨を通知した

即ち快樂のホール許可登錄客と抱藝妓とが顧

安樂椅子

ところが翌日の夕方、この衞兵達は丸腰のまゝ拔け出して行方不明になり、更にその翌日、ヒヨツコリと四名ばかりが板野憲兵分隊長の許へやつて來た、板野大尉が「不埒な奴だ」ッと怒鳴りつけると、四人は哀願するく

日本のために働きたいと拋りこまれた兵舍でヂッと我慢してゐましたが、腹が減つたので、警戒の兵士にその旨を訴へたところ、日本軍は命懸けで治安の維持に任じてゐるのだ、腹が減るなンて贅澤云ふなといふので、ピンタを喰はされた、こいつは堪らぬと逃げ出したが、サテ餅は餠屋で衞兵で喰つてゐた俺達は忽ち喰へなくなつた、どんな辛い仕事でもするからピンタを張らぬやうにして使つて戴きたい

……◇……

板野分隊長、ピンタが支那兵を遁らしたかと苦笑したが、充分戒告して使つてやることにしたところ、志願者殺到して大繁盛板野分隊長これには困つて「これはチト多過ぎる、誰がピンタのうまい奴はゐないか」

長春憲兵分隊ではわが軍の寬城子占領と同時に衞　全部を武裝解除して一旦丸腰のまゝ兵舍の一室へ拋り込んで置いたが、別に抵抗もせず命だけ助けて呉れの哀願から日本軍のために犬馬の勞を執りませうとまで柔順になつたので、それでは兩三日中に武器も與へ、不逞團に備へるために憲兵隊の指揮に從つて働けと言渡した。

……◇……

はるびん丸

二十九日午前九時港外着の豫定（昨夕刊三十日入港とあるは二十九日の誤りにつき訂正）

木村氏が離滿挨拶

滿鐵前殖産部次長木村逈氏は家族を引纏めて一日出帆のはるびん丸にて上京、東京府荏原郡碑衾町字衾二三〇六番地に新居を定むることになり二十九日市内各方面を訪問それ〴〵離滿の挨拶をなした

滿洲事變快擧錄

滿洲日支衝突事變を詳述せる「滿洲事變皇軍快擧錄」を森田富義、山口可明兩氏共編にて刊行する由希望者は大連市伊勢町一〇七番滿洲事變實錄刊行會宛に申込むべく前金不要配本後定價一圓、但し速刻申込みには一割引、十部以上一割五分引三十部以上二割引

沙河口神社秋大祭

沙河口神社の秋季大祭は九月三十日午後七時卅分より宵祭を十月一日午前九時より本祭を執行する筈である

獨大使日本へ

去る二十六　滿通丸にて天津より來連した駐日大使フォレッチユは夫人令息同伴二十八日出帆のばいかる丸にて歸京した

工業博物館

滿洲技術協會附屬工業博物館は來る十月一日が開館五周年記念日に當るので當日各關係者　招待披露することゝなつたが十月三日土曜日午後一時より四時まで四日午前九時より午後四時までを博物館特別デーとし兩日の參觀者には陳列品につき特別說明をなす筈

それが漸次營業化するためダンスのみを目的とする大檢藝妓から先づ制限が加へられたものである

曙の鐘 (63)

倉田潮

河野想多畫

格闘 (三)

あけみはたえ子が逃げ出したと聞いた時、總ての事が破めつして了つたと思つた。しかし、彼女は凄艶に笑つたばかりで、少しも周章てはしなかつた。

たえ子に對して加へた今迄の處置はこれを司直に訴へられれば、あけみも壯三も嚴罰を受けずにはすまない法律上の罪である。あけみはそんなことは覺悟の前でやつたのだつた。萬一自分や兄が罪に問はれて縲絏をうけ、天下に恥をさらす場合があるにしても、あけみはたえ子を兄に押しつけて、春木を自分のものにすることに全努力を傾けないではゐられなかつたのだつた。しかし、志はつひに破れた。破滅の時が來たのだ。その破めつの場合にとるべき處置をも、あけみは前からきめておいたのだつた。で、彼女は少しも狼狽へず目前の危急を冷やかに見て嘲笑つた。

しかし家數の中は間もなく騒しい騒ぎになつて來た。壯三が狂つたやうに家ぢうを走り廻つて、かんきんした女が逃げたとも云ひかねるので「たえ子が惡いことをして逃げたから捉まへろ」と叫び廻つたからだつた。女中も仲居も用心棒まで皆庭に出て騒ぎ廻つてゐる。あけみは冷然とそれをシリ目にかけて、誰も人のゐない洋館と日本館との堺のかや垣の處を落ちついて歩いてゐた。

間もなくたえ子は完全にこの家數から逃れ去るだらう——とあけみは思つた。計畫的に逃走をはかつてゐたらしいから、眞逆逃げ遲れて捕へられるやうなことはないだらう。そして、その結果自分を見た罪に呼ぶものが間もなくやつて來るに相違ない。その時——あけみは胸に手を入れて、下着の襟にしつかりとぬいつけておいた小さい毒藥の瓶をさはつて見た。今も堅くせんがして、封蠟もそのままになつてゐた。

あけみは大きく一人うなづいて再び凄艶な笑ひを漏らした。

ふと其の時塀の外で聞き覺えのある聲が聞えた。先程からそのあたりでしきりに人の聲がしてゐたのだが、その總ての聲があけみの心には何の反響をも呼び起さなかつたのだつたが、今度の聲は……

「春木さんではないか」

さう思ふと彼女は洋館に近するかや垣の端の道を通つて、洋館の門から表に出て見ようとした。洋館はまだ深い眠りの中にあつた。ただ炊事番の女中だけは起きてゐると見えて、玄關の鐵の扉は開いてゐた。

あけみは靜かに洋館の門を出たと、その時二人の女が慌ただしく彼女の前を通りすぎ、門内に這入つて行くのが見えた。

その二人の女がたえ子とお冬であることに、あけみは咄嗟に氣がついてゐた。あけみは我しらずハッとして暫くそこに立ち止まつたまゝ動かなかつた。

しかし、あけみが門外に出た瞬間に、おそらくお冬のしかし仕業であらう。門が内側から烈しい響きを立てゝ閉じられた。續いて門にかける音も聞えて來た。

「ふーん」

とあけみはそれを見ると初めて安心したやうに冷笑を浮べた。彼女にはその瞬間、たえ子を逃がしたものがお冬であり、お冬が如何なる考へからたえ子をつれ出して此の洋館につれ込んだか、その意圖がはつきりと解つたのだつた。

あけみはたえ子が剛太郎の洋館に這入つて行くのを見て、自分が救はれたのを知つた。同時にたえ子が兄のものにならないで、父のものになつたとて同じことだと思つてニヤニヤ笑ひ出した。いや、兄のものになるより、この洋館に這入つて行くことはたえ子に對して一層惡い運命を持ち來すに相違なかつた。

「あの、狒々のやうな父が何うしてたえ子をこの洋館から滿足に外に出すものか」

さう呟いてあけみはまた氣味惡い笑ひをもらした。

けふの放送

東京 JOAK

九月二十九日午後六時卅分

▲講演「故田中義一男の三回忌に際して」勝田主計 ▲運動競技六大學拳闘聯盟主催「拳闘試合狀況」(日比谷公會堂より) ▲管絃樂「夢の如き人生」アイレンベルグ作「森のさゝやき」チブルカ作「極樂鳥」クリング作「ハンガリー舞曲」ハッセルマン作 東京ラヂオオーケストラ 指揮瀨戸口藤吉 ▲天氣豫報 ▲臨時ニュース ▲中國劇「打棍出箱」連東俱樂部員

大連 JQAK

九月廿九日午後六時五十分

▲ニュース ▲華語講座「テキスト第六十八課」滿鐵學務課 秩父固太郎 ▲管絃樂「凱旋行進曲、歌劇アイダより」ベルデイー作「伊太利民謠集」ランゲー作「日本組曲」山田耕作編 ヤマトホテル管絃樂團 ▲連續講談「愛國心手入針終席」白藤六郎 ▲ラヂオ體操 ▲職業紹介事項

對日直接交渉を避け 猛烈な排日繼續
外國の力に賴るを遂に斷念
南京政府の方針決定

【南京特電廿七日發】國際聯盟が滿洲事件から手を引き兩國の直接解決に委ねた結果、國民政府の第一段の作戰は完全に失敗に歸して了ひ悲觀狼狽の極に達した國民政府では日曜にも拘らず早朝から蔣介石氏以下最高幹部緊急秘密協議を開き第二段の對策決定のため研究討議する處あつた、聞するに右會議においては

一、國際聯盟各國及びアメリカの力に賴る事は不可能と斷念し、今後は宣傳によつてそれ等各國の輿論を動かす消極的方策に力を注ぐべし

二、ロシアは未だ明瞭な態度を示してゐないから此際全力を擧げてロシア引込みに努力すべし

三、日本と直接交渉は飽くまで回避の方針を執り現狀を出來得るだけ續ける事により徐ろに日本内部の財政的政治的破綻を待ち濟南事件同樣最後の勝利を期すべし

四、全國の排日運動を一層猛烈ならしめ經濟的に日本が屈服せざるを得ざらしむべし

等を骨子とする新對策の決定を見た由である、卽ち飽くまで日本との直接交渉を避けんとする覺悟らしい

張學良氏近く南京へ
日本との直接交渉を避く

【上海廿七日發】確報によれば張學良氏は滿洲事件善後處置に關する蔣介石氏の支持を受けるため近く北平發南京に向ふことに決定したが、張學良氏のこの行動は日本との直接交渉に應ずることなく廣東側との妥協成立を待つて擧國一致行動せよとの中央の命令によるものであるといはれてゐる

日本軍侵入せば 武力で對抗せよ
蔣氏全國各軍に命令

【上海二十八日發】支那紙の報道一によれば南京政府は二十七日を以て蔣介石氏の名を以て全國軍隊警備司令に對し

日本軍支那領土内に入らば武力を以つて對抗すべし退嬰萎縮の行動をなす者は嚴罰に處す

と命令した支那紙はなほ政府のこの行動は國論の對日開戰を要求して止まぬからその準備のためであると附言してゐる

上海學生が 討日從軍電請

【上海特電二十八日發】上海各學校軍事教練官二十二名は昨日抗日救國會議を開き學生軍事訓練委員會の組織決定中央に對し日本討伐の軍に從ひたいと電請した、之に參加する學生は二十三校約八千名である

日本討伐 計畫建議
上海抗日救國會

【上海二十八日發】上海抗日救國會は昨日政府に對し左の建議電報を發した

一、日本を敵とする外交方針を決定し日本を討伐する計畫を樹て

二、我主權を妨害せざる範圍内にて各國に通商上の便利を與へ日本封鎖孤立策を講ずる事

二、徴兵制度を實行する外永久的義勇隊を組織して武裝せしむ

二、奉天當局責任者を嚴罰に處し即時出兵し日本軍に對抗し被占領地を恢復する事を張學良に嚴命すべし

奉天地方維持委員會委員

(向つて右から)金梁、袁金鎧、張成箕、丁鑑修四氏＝廿七日、山口特派員撮影

東北政權の移動に 日本は不干渉
外務當局の善後方針

【東京特電廿八日發】外務當局は二十八日滿洲事變善後處置に關し左の如く言明した

滿洲事變の解決に關しては聯盟並びに如何なる國家の容喙をも認めない、蓋し帝國政府は事件の解決に萬全を期しつゝある事は夙に聲明せる處であり、その目的とするところは滿洲における居留民の生命財産の安全並びに特殊權益擁護の外他意なく且つこの事は列國間に充分理解せられてゐる事を固く信ずるからだ、從つて最近傳へられる滿洲における政權移動に關しても之が圓滿且合法的に行はれ且つ新政權がわが特殊權益確保に必要なる一切の義務保障並びに責任を繼承するにおいては帝國政府は既定方針たる內政不干渉方針に基き絶對に干渉しない、この點に關しては出先官憲に對しても新勢力から如何なる申出あるも積極的にも消極的にも援助を與へるが如き行動は絶對に排するやう嚴訓を發してある

學生に毆打され 王外交部長危篤
蔣氏邸に逃げ込む

【上海特電二十八日發】國際聯盟が滿洲事件に對して支那に不利益な行動を執るに至つたのは王正廷氏の責任なりとし數百名の學生は今朝市内で示威運動を行つたが午前十時學生團は外交部に雪崩込み王氏の部屋に押入棍棒其他で王氏を毆り瀕死の重傷を負はせた王氏は自動車で裏門より逃出し病院行をやめて蔣介石氏の邸宅に逃げ込んだが生命危篤【寫眞は王正廷氏】

日貨は發見次第 燒棄又は公用に
反日會の新辦法決定

【南京特電二十八日發】首都反日會は日貨檢査辦法を決定し下關外二ケ所に日貨保管所を設け各商店の日貨を全部保管する事とし又下關、浦口、水西門に日貨檢査所を設け日貨は發見次第燒棄又は公用に當て檢査員に不正行爲ありたる時は銃殺する

對日宣戰布告 絶食請願團

【上海特電二十八日發】當地一般市民は只對日宣戰布告の請願に夢中になつてゐるが、楊未、馮某の二職人は昨日絶食請願團なるものを組織し政府に對日宣戰布告の請願を爲すとゝもに政府がその決心をするまでは幾日でも絶食して待たうといふので目下同志募集中である

抗日會代表 請願報告內容

【上海特電二十八日發】上海各會抗日聯合會の代表は昨夜南京より歸り報告演說會を催し

一、日本軍が之以上侵入する時は直ちに占領地區を奪回する

二、王正廷懲戒については外交失敗に限り政府は責任を負ふ

三、學良に出兵せしめ被占領地帶奪回については既に電命した

四、全國學生には萬一の場合には銃を支給す

五、國辱條約は決して締結せぬ

と五項目に對する蔣介石氏の回答を報告した、出席の各代表は右回答を不滿とし更に第二次請願委員を廿八日夜南京に送り、又廣東へも代表五名を派遣合作を請願するに決した、なほ當地の中等學校以上の學生は全部本日から罷休を決行した

拓務省のみ廢止
愈よけふの閣議にて決定

【東京二十八日發至急報】本日の閣議において拓務省のみ廢止するに決定し、三省廢合問題もこれで一先づ解決した

新設主管官廳の 機構を重要視す
十河滿鐵理事語る

拓務省廢止決定の報に接して滿鐵十河理事を訪へば左の如く語る

植民地關係の所謂拓務行政を專ら中央において統べるところの拓務省のやうな役所が內閣にあつて植民地における各種の事業や行政を支持援助してくれることは極めて必要なことである、從つて拓務省が廢止されてもこれに代る拓務行政主管の官廳が新設されるであらうが、この新設の役所が從來の拓務省に比して如何なる點において變つてゐるかは植民地關係から相當注目すべきものがある、滿鐵等からみても監督官廳として拓務省が設けられて以來各種の手續上の繁雜さが加はつて、例へば會社の職制改正や傍系會社關係の小さな事務上のことまで一々拓務省にお伺ひしてゐたのであるが今後右のやうな點が何ういふ風に改正されるかゞ問題であると思ふ

七相會議經過

【東京廿八日發】廿六日の五相會議において物別れとなつた省廢合に關する與黨出身閣僚會議は廿七日午後八時五十分內相官邸に開催、安達、井上、町田、田中、櫻內、小泉、原の七相參集、安達內相より二十六日の五相會議の經過報告があつて協議に入つたが町田、原、櫻內三相は前回同樣強硬反對意見を述べて讓らず井上藏相の主張を支持し　者は小泉遞相のみで何等纏まらぬので田中文相より白紙の儘若槻首相の裁斷に一任しては如何と提案せるに原鐵相は白紙で一任する事は出來ぬとアッサリ一蹴した、斯くて會議の空氣險惡化したので安達內相より

これ以上論議するも物別れとなる外なく事態を紛糾するのみであるから首相に一任しては如何

と提議しこれに對し井上藏相は來年度豫算編成の見通しがつくならば敢て原案を固執するものではない

とやゝ讓歩的態度に出で他の閣僚は

我等としては白紙の儘若槻首相に一任するのではなく反對論を十分斟酌して貰ふ事を條件とする

旨を述べ結局一同異議なく安達內相の意見を容れ若槻首相に一任と

國際法、國際協定を遵守 紛爭の解決を期す
米の覺書に對するわが回答

【東京廿八日發】滿洲事變に關する九月廿五日附米の覺書に對する日本政府の回答は二十七日午後九時若槻首相、南陸相の承認を得十時外務省より出淵大使に向け發送された、右回答の全文は左の如し

日本政府は米政府が友好的關心公平なる態度を以て最近滿洲における事件の推移を觀察せられたることを深謝す日本政府は米政府の希望と等しく既に在滿日本軍に對し軍自身滿鐵及附屬地における日本臣民の生命財產安全にして支那軍隊若しくは武裝兵匪の攻擊により危殆に瀕せざる限り現在以上敵對行爲に出づることなきやう措置を講じてゐる、日本軍隊は國際法及國際協定を遵守し且つ日支間紛爭の圓滿解決に障害となる行爲をなさゞるやう注意す、日本政府は當事國の紳士且つ永久利益に照し兩者の率直冷靜なる討議により滿洲における現在の緊張せる狀態を平靜に歸せしむべき公正の途の發見さるべきことを信ず

我公文書開封を 白々しくも否認
回訓次第正式に抗議

【南京廿八日發】支那側が我領事館宛公文書を無法にも開封して閱讀した事に關する我國の抗議に對する南京警備司令谷正倫は二十七日午後五時上村領事宛非公式書面を以て白々しく「斯る事實なし」と否認して來つたが我々には確乎たる證據あり今後國民政府宛に訓令到着次第正式抗議を提出する筈

聯盟理事會を 非難攻擊
上海の支那紙

【上海二十六日發】國際聯盟理事會において敗れたる支那側は極度に失望し理事會に非難攻擊の聲を放つてゐる、一部新聞は此上は武力解決あるのみだと煽動的論說を揭げてゐる、時報の如きは強國の機關たる聯盟は日本に附和して正義なきを暴露した、中國人は自ら救ふにあらざれば某國の奴隷とならるのみと揭げてゐる

軍令部長總長協議

【東京廿八日發】谷口軍令部長は二十八日午前十時半金谷參謀總長を訪ひ滿洲事變以來支那各方面の排日暴動の情報を交換し陸海軍の警備方法につき打合せた

敗走兵に投降の 勸告ビラを撒布
わが飛行機連日活躍

各地に四散した支那敗殘兵は寒さに餓えのため今後如何なる行動を採るかはわが軍部方面でも頗る憂慮してゐるところであるがこれ等奧地に逃げ込んだ敗兵に對し新たに投降を促す勸告を爲すことになつた、卽ち軍部では飛行隊と聯絡して連日機上より投降を勸告する傳單を撒布し一時も早く武裝解除の上降伏せんことを勸めるもので武裝を解除して投降した者には相當の保護を加へることゝし二十八日より實行に移つた【奉天電】

慰問の滿鐵代表

わが出動部隊慰問のため赴奉せる滿鐵鐵道部長村上理事は二十八日朝歸連したなほ江口副總裁は二十九日晚歸連の筈

內相拓務のみ 廢止進言

【東京二十八日發】三省廢合問題は首相一任に決したるにつき安達井上兩相は二十八日午前閣議開會前、若槻首相と會見し昨夜黨出身閣僚協議會における閣僚の意見を報告し、上その裁斷を首相に一任することゝ進言し安達內相としては閣內を動搖せしめることなく農林、商工兩省の併合を中止し拓務省のみを廢止したい意向を述べた

海外發展上 誠に遺憾
村井商議會頭談

會議所としてはさきに拓務省廢止說に對し反對決議をなし之が存續方につき要路に要請してゐたのであるがこれが容れられず廢止決定をみるのは甚だ遺憾である、我國の發展は一に繫りて外地の開發拓殖に在ることは申すまでもないことであるが、就中滿蒙は今日正に多事多難益々拓務行政改善充實の必要を痛感するの秋に方り拓務省を廢止して僅々數十萬圓を節約せんとするは甚だけち臭い話である、これでは行財政整理の主旨に副はないばかりでなく、責任ある大臣が常に閣議に列し拓務上重要なる主張を貫徹し、時務を統制する機會を失はしめ、國勢を逆轉せしむるもので洵に憂慮に堪へない次第である

はるびん丸

三十日午前九時大連港外着の豫定

人事

▲加藤陳氏(南滿工專教授)二十八日出帆のばいかる丸にて內地へ引揚

▲原正年氏(南滿洲ドック會社常務)二十八日午前十時出帆のばいかる丸にて離連

▲森脇留吉氏(關東廳阿片救療所々長)同上

▲フォレッチュ氏(駐日獨大使)夫人令息同伴同上

▲立川雲平氏(辯護士)シズヤ夫人同伴同上

▲千秋寬(前國際事務)同上

▲尾道商業學校鮮滿旅行團一行四十六名　脇田教諭に引率され同上

▲直海善三氏(國民新聞政治部長)二十八日出帆のばいかる丸にて離連

蛇角

今までは前座、これからが眞打ち、舞臺は滿洲から世界へと擴がる、今までは小手先、これからは腹藝。

◇

こうなるまでに議論の硬軟はある、こうなつてからは強いも、弱いもない、擧國一致進めつゝく

◇

閣議で無暗と強がつた陸相は、今度は室を出でゝ世界大空の下で強がる秋が來た。

◇

上海の排日學生が東京占領を目ざし、絶食對日宣戰が行はれ、南京政府も漸く、米國よりも、國際聯盟よりも、賴るべきは自國民なるを覺つた。

◇

南京政府は排日といふ彈丸で滿洲から日本軍を追つ拂ふ氣だ、排日を追つ拂ふのは誰れだ。

◇

三人の失業大臣をさう〳〵一人で喰ひ止めた、それが政黨政治なんです。

◇

秋は占領された奉天學良邸の麻雀テーブルから。

東亞の謎 (14)

國枝史郎 作 / 挿畫 伊藤順三

犧牲の女(一)

「何んですつて、何うともしないんですつて」

「さうです、私は何もしませんでした。あんまり綺麗で無邪氣だつたので」

「こいつは驚いた、折角の獲物を」

「それだのに何んです、あんなことをして」

「呆れましたねえ、ひどい潔癖だ」

「あれはあんまり慘酷です、貴郎ははづかしくありませんか」

「……………」

やけに神聖がる蒙古人だな！武村はさう思つて變な氣がした

「慘酷だの何んだのと云つてゐては、私達の商賣は出來ませんや」

「さういふ商賣は止めた方がいゝです」

「……………」

こいつ、とんでもない野蠻人だ！文明人のやうな口を利くぜ！武村は可成りバツが惡くなつた

「まあ〳〵過ぎ去つたことでさあもうこの話は止めませう」

「止めた方がいゝです、止めませう」

それつきりダットは默つて了つた。

自動車は共同租界へ這入つた。深夜だつたので町は寂しく、人通りなどは殆どなかつた。

國際娼であつた。夜目にも美しい若い女が、辻に人待ち顔に立つてゐたりした。佛蘭西女、露西亞女、支那のムスメなどもゐるのであつた。

自動車は幾臺か驟つてゐた。ジャズの音が聞えて來たりした。徹夜して踊るダンス・ホールがあつて、そこから聞えて來るらしかつた。

二人を乘せた自動車は、吳淞路の方へ走つた驟つた。

さうして間もなく武村の家――日華洋子と招牌を上げた、その門口までやつて來た。

「私の店です、さあ下りませう」

かう云つて武村が下りた後からダットも下りて後につゞいた。

店には吉五郎と卯平とが、寢もしないで待してゐた。

「お歸りなさい」

「お客樣ですか」

「あゝ」と武村は鳴で頷き「どうだ、二人に變はつたことはないか」

「へい、別に變つたことも」

「いや一つ變つたことがある」皮肉の卯平が笑ひ乍ら云つた「マダムが鼻唄をうたひ出しましたつけ」

「ナニ、マダム、誰のことだ」

「へい、充子姐さんのことで」

「ふゝん、ごいつのマダムなんだい」

「さうですねえ、誰のマダムだらう。……旦那のマダムで無いつてことだけは、誰だつて證明するだらうよ」

「あたりめえだ、あんなすべた」

「あんなすべたが歸つて來てから旦那が元氣になつたから可笑しい」

「元氣になつたからひつ叩いたのよ」

「さう〳〵マダムの右の頰つぺたが、昨日あたりまで膨れてゐたつけ。それもさ迷もい壁で」

「今日はスベ〳〵してゐたぜ」

「さうして鼻唄をうたつてゐたつけ。それも迷もい壁で」

「獨言云はずと寢たり醒たり……ダットさん、お上がり下さい」

土間に立つてゐるダットへ云つた。

香港の排日益々惡化 暴虐の限を盡す
英官憲の警戒も全く効なく 在留邦人死に直面

【香港二十七日發】支那人の反日暴動はその後益々深刻化する一方で晝夜を分たず邦人商店を片端から荒し廻り通行人を襲撃する等狂暴の限りを盡しイギリス官憲の必死的警戒も軍隊の出動も全然効なく果ては門扉を押し破り屋内に侵入して家具商品を破壊掠奪し事務員に危害を加へる等の事件續々と報ぜられるので昨夜日本小學校に避難した八百名以外の在留邦人も今朝來續々小學校に警官護衛の下に避難しつゝあり午後四時迄の避難者總數九百名を超え狹い校舎に充滿せるため發病者を出し然も留守宅は暴徒の蹂躙に任せてゐる状態なのでイギリス當局に陳情し邦人街のみの警備として今夕六時から三十名の兵を配置する事となつた、食糧寢具等不足のためこの状態が永く續けば由々敷き大事に至るものと見られ在留民間にはイギリス官憲の無能に對する非難の聲が高まつてゐる

免れぬ被害の續出

【香港廿七日發】八十萬の支那人に包まれて生命財産の危機に瀕しつゝある在留邦人千五百名の内八百名は目下日本小學校内に避難してゐるが、郊外に住んでゐた山下順次郎の一家六名は昨夜暴民のために虐殺された、その他慘殺された者重傷を負ふた者などある見込みであるが邦人間の連絡遮斷されてゐるため詳細不明である、日本人の各商店は殆ど全部破壊或は掠奪の厄に遭ひ警官側にも負傷者續出し事態いよ／＼重大となつた、今後も如何に嚴戒するも被害の續出は免れぬ狀勢にある

犧牲者既に廿七名

【東京特電二十八日發】香港の形勢惡化し日本人に對する暴行は遂に二十七名の犧牲者を出すに至つたので外務省は吉田總領事代理に訓電し香港政廳に嚴重取締方を重ねて要請せしめた

無殘！子供までを嬲り殺しする
山下一家の遭難詳報

【香港特電二十七日發】二十六日夜九龍飛行場附近に住む山下一家虐殺事件を探査するに八時頃一家皆殺しと豫告して來つて間もなく凡そ一千名の暴民が手に手に竹槍、斧、棍棒等を提げ大擧同家に押掛け山下夫妻は四人の子供と老母を庇ひ雄々しくも血みどろとなつて抗爭し續けてゐたが、衆寡敵せず遂に蜂の巣の如く突刺され慘死し二人の子供は老母及び日本人の子守娘とともに見るも無慘な嬲り殺しとなつた、同家に居合せた池田行田の兩名は急を警察に報ずるため負傷しつゝ屋根傳ひに逃走した一方幸ひに屋外に難を免れた二人の子供の中長男は目下病院内に瀕死の狀態である

嵩山丸に避難中
大汽への情報

香港在留邦人の安否に關して二十七日午後八時大連汽船本社に達せる電報によれば香港在留邦人の形勢は益々惡化、軍隊あるもつひに暴動猛烈化し各所に邦人の襲撃されるもの頻發、大連汽船社宅も暴民に襲はれる形勢にありて在留邦人は續々碇泊中の大連汽船嵩山丸に避難しつゝあり、目下碇泊中の山東丸、嵩山丸の[illegible]なーものや否や不明である

行方不明の佐藤忠氏は慘殺された事判明
一間堡驛で下車長春に向ふ途中 滿鐵最初の犧牲者

滿鐵哈爾濱事務所技術員佐藤忠氏は所用兼れ家族出迎への爲め十九日朝第三列車に乘りハルビンを出發したるに消息不明となりその安否を憂慮されてゐたが、滿鐵にては、ルビン、長春兩方面から極力捜査の結果果然、寛城子事變の際暴虐なる支那兵のため慘殺されたことが判明した、詳細なる報告は未だ本社へ到着してゐないが佐藤氏は本月十一日附營業課混保事務所檢査人より哈爾濱事務所轉勤を命ぜられ十七日赴任し折返し所用を兼て家族引纏めのため十九日朝ハルビンを出發したが恰も長春事變に遭遇、寛城子混亂のため寛城子より一つ手前の一間堡驛に下車し徒歩長春に向はんとする際支那兵の毒手に罹つた者で今次の事變における滿鐵最初の犧牲者である尚滿鐵長春驛事務員に同姓同名の佐藤忠氏があるが長春驛の佐藤氏は無事である【寫眞は佐藤忠氏と夫人】

死體を捜査中

滿鐵社員佐藤忠氏の行方不明に對しては滿鐵も初め東支鐵道でも極力調査しつゝ捜査中であるが寛城子驛を去る一間堡に於て佐藤氏の乘つてゐた列車が停車した際折柄逃げ込んだ寛城子の敗殘兵が車中にあつた佐藤氏を列車より引ずり降ろし慘殺のうへ附近高粱畑の小川の中に投げ込んだものと見られ長春滿鐵關係者ではこゝに大體の意見の一致を見、この方針の下に死體の捜査をなすこととなつた【長春電話】

諦めきれぬ留守宅のなげき
暗然と語る佐藤夫人

桃源臺の右に傳家庄街道に入つた右側一軒建の瀟洒な洋館平家建が佐藤氏の留守宅である、急を聞いて馳せつけた見舞客の下駄、靴で一杯になつた玄關を訪れると友人達は交々語る

廿五日朝ハルビンから避難して來た人の話で始めて佐藤君が十九日の第三列車に乘つたことが解り俄かに大騒ぎとなつたのです、そして廿七日の夜鐵道部に『慘殺された事實が判明した』といふ電報が入つただけで果して慘殺死體が發見されたものか遺留品が發見されたのか全然判明しないのです、現に角佐藤君が乘つた列車には他に日本人が三四人乘つてゐたさうでその人達も皆可なりの迫害を受けたさうですから或は十間堡から列車がハルビンに引返す前に十間堡で引きづり降されたのぢやないかと今も皆と話をしてゐるところです、剛直な眞面目な男でしたが惜しいことをしました、家族は奥さんと二人きりで子供さんはなく今は弟さんが一緒に家にゐられます

と流石に一同暗然として眼を曇らせた、夫婦の居間と思はれる部屋で眼を赤くした婦人の見舞客たちに慰められてゐるながよ(三五)夫人は顔色を蒼白にして語る

今になつて考へますと變なことがありました、度々出張する夫ですが今度に限つて家を出てから用事もないのに三度も引返して來て何か忘れ物があるやうだなどと言つてゐました、然し夫が行方不明になつたことを知つた前の晩に夫の夢を見ましたが別に惡い夢ではありませんでしたし未だに私は死んだとは信じられません

なほ夫妻は共に大分縣の生れ、大正九年に結婚し十年七月渡滿直に滿鐵に入社したものである

眞面目で淡白な人
混保係で語る

佐藤忠氏が轉勤前勤務してゐた埠頭構内の鐵道部營業課混保係を訪へば早川主任は驚いて語る

廿四日晩ハルビンから引揚げて來た人の話で始めて佐藤君が十九日朝三列車でハルビンから大連へ引返したことが分り御存じのやうにあの列車は寛城子驛手前の一間堡で支那兵に抑へられたといふので佐藤君の安否を一同氣遣つてゐたのでした、殺されましたか氣の毒でしたね、佐藤君は八年前に埠頭に來て實に仕事に眞面目な淡白な性格の人でしたが、在職中大豆の質をはかる大豆水分定量器の考案に熱中してその研究が八分通り完成したところをハルビン運輸係に轉勤になつたので本人は殘念がつてゐましたが十七日に大連を出發ハルビンで居所も落ちついたので家族を連れに歸る途中十九日朝この不慮の災難に遭つたので氣の毒ですね、奥さんは今市内長春臺に居ますが夫婦中子供はありません

佐藤氏の略歴

悲業の死を遂げた佐藤氏は本年四十三歳大分縣宇佐郡高並村の人で同縣立農業學校卒業後佐世保海兵團に入營累進して一等兵曹となり勳七等を賜り除隊後大正十年滿鐵に入社し多年埠頭混保事務所に勤務し本月十一日哈爾濱事務所運輸課に轉任したものである

引揚げの途中保護を求む
新邱の邦人二十三名

新邱より新民屯に引揚の途中消息を絶つてその安否を氣遣はれてゐた邦人二十三名は二十八日早朝引揚の途中からわが新民領事分館に途中の保護を依賴して來たのでわが當局では支那側と交渉した結果日本兵十七名、支那兵四十名を急派することゝなり右日支兵は二十八日午前中に新民屯を出發した

母國訪問遊説の青聯代表者出發
けふ盛んな見送裡に

母國における國論統一のため第二回母國訪問遊説の途に上る滿洲青年聯盟代表者十五名一行は二十八日午前十時出帆のばいかる丸で華々しく出發したが、埠頭には竹中滿鐵理事、永井市助役等ほか官民名士見送り聯盟員等日の丸の小旗をふりかざし一行の壯途を祝し鼓舞激勵した、今回の代表派遣の費用を補し一行の團長格たる井藤榮氏は昂然と語る

今回の日支衝突は日露戰爭以上の重大事です、日露の戰は正に兩國の衝突でありましたが、今回は滿洲に利害を有するあらゆる列國が監視してゐるのですから我等は餘程の覺悟を以て起たなければなりません、今起たねば何時まで經つても滿蒙の諸懸案は解決することなく中には滿蒙問題に我が國が讓歩して南支の反日を緩和したら良いと云ふ大阪邊りの實業家もありますがそれは皮相の見です、今回も我が機先を制したから良かつたので是等の理由を實情に徹して各地に遊説又中央要路にも進言するつもりです

なほ一行十五名の氏名左の如し

▲中央班 岡田猛馬、井藤榮、大沼幹三郎、景山盛之助▲九州班 中尾優、太田勝三郎▲中國四國班 關利重、柳原增雄、安藤武▲關西班 紀井一、富田開助、西川高徳▲東北班 小川增雄、美坂撰三、奥村莊五郎【寫眞は埠頭の盛んな見送】

長春を慰問して
更らに副總裁吉林へ

江口滿鐵副總裁は二十七日午後十時四十五分着臨時輕油動車で伍堂理事、八木書役と帶同長春着、直にヤマトホテルに入り二十八日午前九時ホテルを出發地方事務所、第三師團の臨時第二師團司令部、第三旅團司令部、第四聯隊、第二十九聯隊長春守備隊、野砲第二聯隊、領事館、滿鐵醫院内の臨時衛戍病院等を歴訪の上、軍の勞苦に對しそれ／＼慰問品を贈る處があつた、更に副總裁一行は長春發午前十時の臨時列車で吉林へ向つたが、驛頭には太田運轉課長、白井長春鐵道事務所長、臨時時局事務所長春主任遠藤參事その他滿鐵十數名の見送りがあつた、なほ副總裁一行には案内役として中川吉長代表が同車吉林に向つたが、副總裁は只一人麥藁帽子に夏服の白いチヨツキといふ姿で「偉い寒い」……を入れる、記者も「これでよかつたら結構ですが」多忙な副總裁は軍の迅速なる活動に感激しながら十時長春を離れて吉林に向つた、勿論吉林駐屯の兵に對する慰問品も載せて【長春電話】

漢口租界の襲撃を計畫
暴露し共産黨員逮捕 我陸戰隊で非常警戒

【漢口二十七日發】支那町生馬路一帶における數千の水害避難民は共産黨の煽動により日本租界を襲撃せんとしてゐたが、武漢警備司令部はこれを未然に探知し昨夜未明大活躍をなし共産黨員及煽擾を計畫せる不逞の徒黨百數十名を逮捕しつゝあり、武漢三鎭は二十六日午後五時より特別戒嚴令がかれ日本租界は陸戰隊により非常警戒されてゐる

レールを外づして計畫的に列車を襲撃
饒陽事件詳報

饒陽河附近における馬賊團の北寧線第一〇六列車襲撃事件は支那軍隊が山海關方面に移動のため新民、山海關間一帶に僅少の鐵道守備隊を殘すのみなるに乘じてなせる所業であるが、その後の詳報によれば暴徒は兵の計畫的襲撃なりしこと判明せるが該列車が廿六日午後二時ごろ饒陽河附近高粱畑間進行中機關手操業が前方高粱畑内に多數の馬賊團潜伏し銃口を揃へて列車の近づくをまちうけてゐるを見てフールスピードで疾走せんと馬力をかけたところ、これに先だちレール五本が馬賊團のため取外してあつたため機關車をこれにつゞく客車は勿論最後の郵便車は一等車と激突して脱線せるもので死者二十名、重傷者八十名（山海關方面に收容されたものを通算すれば）を出するの慘事を呈したのであつた、急報により我軍では裝甲車にて一個小隊を現場に急行せしめ又北寧鐵道局は打虎山驛から急援車を出せるも時既に遲く馬賊團は掠奪、殺戮をほしいまゝにし客全部の所持品は勿論郵便車内の金品を掠奪逃走後であつた、破壊個所は皇姑屯保線區より急行の職工八十名の應急修理により今朝より開通するに至つた【奉天電話】

市政公所の管理希望
領事團に反響

北寧線の慘事は各國領事團並に支那側各團體をして交通の安全保障に關し大に警戒せしむる所ありたゞに北寧線（皇姑屯、山海關間）のみならず打通、瀋海の二線も奉天市政公所において監督管理せんことを求むる聲が昂まりつゝある【奉天電話】

時局緊急大會を開き輿論を喚起
大連在郷軍人聯合分會が あす協和會館にて

大連在郷軍人聯合分會では今回の時局に鑑みこゝに國際輿論を喚起し擧國一致以て滿蒙問題の徹底的解決……と日支衝突事件發生の眞相を會員に發表し時局好轉に支障なからしめざる爲めに二十九日午後七時から滿鐵協和會館に於て左記順序により時局緊急大會を開催する事にした

一、開會の辭二、國歌合唱三、大正三年在郷軍人に賜りたる勅語四、會長の訓示朗讀五、演説▲時局軍人の言論に就て脇屋次郎▲日支事件發端の眞相岩井少將▲今回の事件に對する所感高柳中將六、決議七、會歌合唱八、大元帥陛下萬歳九、閉會

矢野恒太氏 あす來連
座談會と講演

我生命保險界の元老、財界の一言居士として有名な東京の第一生命保險相互會社々長矢野恒太氏は當地における社員總代會出席のため二十九日入港豫定のはるびん丸にて來連、直に忠靈塔、大連神社等參拜の後滿洲館における滿鐵の招宴に臨み午後二時より本社主催の同氏を中心とする財界時局座談會に列席、夜は滿鐵その他に對する返禮の意味の招宴を開き翌三十日は午前中大連商議樓上において社員總代會を開催、午後は滿鐵主催で講演會を開き「世界の前途」と題して講演する豫定であると

パ、ハ兩氏の出發準備成る

【淋代二十八日發】太平洋横斷飛行準備中のパングボーン、ハーンドン兩氏は補助タンクの据え附け終り二十七日試驗飛行を行つた結果好成績を收めたので二十八日は休養し二十九日早朝六時頃淋代へ機體の空輸を行ふ豫定である

兵站支部設置

關東軍では二十六日から關東倉庫内に大連兵站支部を設置し砲兵中尉河本辰猪氏を支部長に任じ大連通行の軍人軍屬の宿營給養ならびに停車場司令部業務の一部を實施した

立川翁歸國

在滿十八年の懸案を殘して辯護士立川雲平氏は二十八日出帆のばいかる丸で内地へ引揚げたが大連方面に縁がひろいだけ名士見送りも多かつた、船中に訪へば

一時神戸におちつきますが結局淡路へ歸つて老後を送るつもりです、皆さんによろしく

天氣豫報
北西の風晴 一時曇（廿九日）

各地温度
廿八日午前十一時 / 廿七日最高

	廿八日午前十一時	廿七日最高
大連	一四・八	二四・五
旅順	一五・一	二四・八
營口	一四・八	二五・〇
奉天	一二・五	二三・四
長春	九・一	二二・四

滿潮 午前十一時三十五分 午後十一時五十五分
干潮 午前五時三十分 午後五時三十五分

けふの小洋相場（正午） 金百圓は二三六圓〇五錢

暗流阿修羅館 (199)

生田蝶介 作
挿畫 藤井耕達

田沼問答(三)

新左衞門は、まだ靜かに茶をのんでゐた。

二人が入つて來るのを知ると、きいた。

「この香は丸八の香でござるか」

「いかにも、丸八い香でござる」

と、奉行は坐るついて、

「お心當りでござらう」

と云つた。

「さ、云はれると」

「いや、この香は上樣をお若め申した香でござる」

「……」

「その焚き殘りを手に入れて、焚いて居りますが、どういふものかわれわれには一向に判然としませぬ。これには何か込み入つた儀がある容子。これは、こゝだけの話でござるが、新左衞門殿は、あの老中田沼父子をどうごらんになつてゐます」

「さあ」

「いや、お疑ひなさるのも無理ではない、奉行も田沼の息がかゝつてゐる、老中の掌の中で踊つてゐる。と、さ、世間では思つて居りませう。が、大老に出入りをなさる貴方にはもう何もかもよくお解りになつてゐる筈、お心置なく御腹中をお聞かせ下さるまいか、また、これなる由比は、私の無二の臣と思つていたゞきたい」

「私は何も知りません、大奥に行きはしますが、田沼父子とは殆ど顏を合せる機はありません、それに、どうやら田沼殿は私を餘程毛嫌ひしておいでのやうだし……」

「さうでせう、絶えず樣の側につきつきりでおいでゆえ、何かと云はれはしないかと氣が氣ではないのでせう」

「しかし、上樣も老人の話をするのを嫌つておいでゝいやうです」

「それから、貴方のおいでの時はきつと章信が詰めて居りませう、章信はそのために莫大な金子を貰つてゐるのです」

「それでは、田沼方の、私への目附ですね」

「一こともきゝもらさず、その夜のうちに、みな田沼の耳にとゞいてしまふのです」

「驚きましたな」

「章大釜と云つて葭原では大名を凌ぐほどの豪遊ぶりも、みな、田沼といふ背景があるからのことです」

「なる程、昨夜葭原で、その話をきゝました。どうしてその樣なことが出來るかと、きゝながら思つたことでした」

「それはさうと、昨夜は、いづれの樓にお登りでした」

新左衞門、すぐには返辭をしなかつた。そして、茶を一ぷくのんだ。

そして、

「いえ、つまらない樓で」

「何家でござつた」

「あまり小さい樓で、おはづかしいのです」

「でも……」

と云つて、奉行、

「これは、あまり執拗すぎました、ついつい昔の癖が出まして、とんだ御無禮をしました、どうも……」

「いやいや、私が云ひしぶつたのがいけなかつたのです。伏見町の……」

「伏見町といふと、小見世ばかりの街ではありませんか」

「小見世といふのでせう、大籬にはどのやうな手順をとつて行つてよいのやら、皆目わかりませんので、一人ものゝ氣がるさ、一通り見物のつもりでふらふらと歩きました。歩いてゐるうちにつかまつたのが伏見町の伊左見屋。ついそのまゝ登つてしまひました」

「さう云つたら一こと云つていたゞければ昨夜なら御一緒に案内出來ましたものを、殘念でした、惜しいことをしました」

「いや、田舍者はこれでいゝのです。なまなかの大見世に行つて、恥づかしい思ひをするよりも、ずつと氣樂です」

耕達 畫

キネマと演藝

東活でも事變映畫 奉天城一番乘

滿洲事變に對して……は逸早くこの日支交戰を映畫化すべく日活、新興キネマ等でも着々準備中であるが、東活では北大營占領の殊勳者谷川軍曹を主材とした「奉天城一番乘」を既に撮影中で監督は新進氣鋭の大江秀夫、主演は新入社の快漢東郷久義であるなほ撮影所總務若木剛氏が、元陸軍支部通譯官として幾多の支那問題に關係した經驗があるので特に本映畫の撮影指揮をして活躍してゐる

日活は「出兵」

また日活では熊谷久虎監督が島津元、佐久間妙子、南部章三、横山運平主演で出兵を早くも完成した

今夜滿日講堂で燕林觀戰講談會

本社收入は全部義捐

五代目桃川燕林師の奉天における觀戰講談は非常な興味を以て待たれてゐたが、いよく廿八日午後七時より本社講堂において義捐講談會を開催する、燕林は人情物を最も得意としてゐるが、實見談も亦得意とするところで高松宮殿下御搭乘の練習艦八雲乘組みの榮に浴した際の實見談「遠航物語」等は既に各地に於て講演をなし定評あるところのもので、今回の觀戰談も非常な感激と亢奮とを聽衆に與へることは豫想するに難くないなほ會費は五十錢で本社收入は出動軍隊軍屬への慰問袋に寄贈する

秋大祭奉納能

來る十月一日正午から大連神社境内能舞臺にて秋季祭典奉納能を白井靖敏社中で催すが番組は左の如くである

▲能「夜討曾我」鬼岡本弘子、園三田照子、三田茂子、寺田悦子、古屋岡本和子、御所下瀬智恵子、寺田妙子、二葉獅子、板橋素好、菅原蒼枝、菅原金藏

▲仕舞「三輪」吉田潔子「櫻川」土田慈美子「笠之段」鈴鹿初江

▲能「羽衣」岡本和子、石山泰子、寺田妙子、岡本弘子、白井靖敏、堀内滿子、白井光子、菅原金藏

▲仕舞「清經」菅原蒼「鳥追船」神田靜子「籠太鼓」津島縫子

▲能「女郎花」吉田潔子、白井靖敏、渡邊延男、小原恒雄、白井光子、小原孝子、菅原金藏

新棋戰(下五)

本社特選 香落 四段 △坂口允彦 二段 ▲毛利勝喜

【圖は前號指了迄の局面】

▲毛利氏 持駒 桂

△坂口氏 持駒 角香歩

▲二二銀 △八八角 ▲八九飛成 △七八金 ▲三三銀 △七九金 ▲九八龍 △九九香 ▲八八龍 △同金 ▲七五歩 △一五歩

【土居八段講評】△坂口君が八八角と打つて攻防に備へ敵飛車を捕へて自營の危險を拂つたのは非常に巧者な指し方である。

【萩原六段解説】坂口氏の八八角は二枚角の威力を以て敵の二二銀を窺ふ先手で、含みのある手段である。毛利氏三三銀は、七八飛と敵金を取つても二二角成と指されては不利であるから三三銀と上つたのである。坂口氏の一五歩は持飛車の活用を圖る意味、即ち下手同歩では一二歩、同香、一一飛と打つてよいのである。その時下手二二玉では三三角成、同玉二一飛成となつて上手有利である

噂話

マキノを退社後實演隊を組織し常盤座にも來演する筈だつた猛優東郷久義は突然東活に入社し▲滿洲に來た代りに早速谷川軍曹に扮して奉天城一番乘などやる▲大日活 發聲映畫興行はモウシヨン發聲器がシムプレックス用でなかつた爲めにいろく不便な點があり▲百パーセントの效果をあげるために目下シムプレックス用の部分品を注目中で來月十日頃には到着の筈で▲シムプレ

◇◇野に叫ぶもの◇◇

好評を博した前篇「青春篇」に續く後篇「爭鬪篇」は前篇樣島津保次郎監督、高田稔、鈴木傳明、及川道子、澤蘭子共演で、前篇の華やかな學窓物語りと異り、勞動者と資本主との爭鬪を描いてゐる。二十八日より「かごや大納言」とともに寶館にて上映【寫眞は高田稔と鈴木傳明】

御挨拶

此度御客樣の御勸めに從ひまして帝都日本髪の權威者江土屋師より秘藏の愛弟を招聘し日本髪部を擔任させました故何卒御引立を願上ます度只今は四季を通じ御婚禮に最も好適な氣も爽かな清き秋で御座いますが時局多端の折柄とて質素簡便を旨とし御客樣本位に總て御手輕に御相談申上て居ります。勿論御平常の御髪上げ美容術に致しましても必ず御客樣の御期待に副ふ自信を以て御用命に從ひます故一層の御贔負を願上ます 尚儀式用の小道具類は無料で御貸申ます

美容師養成機關

御婦人が獨立自營を以て雄々しくも職業戰線の前衛に立ち堂々と自己の新生面を拓いて行くに種々の職業が有りますが就中御婦人に最も適した職業の中に近代文化の產物として我婦人美容師が御座います弊院は時代の欲求に應じ數年前より附屬大連美容女學院で美容師を養成して居ましたが今回更に美容研究室を設け美容と髪の學技を短期教授し近く施行さるべき試驗制度に備へ確實なる美容師養成に努めて居ます

(美容一切洋髪 日本髪責任教授)

大連市吉野町六六(三越側近)(電話七五五七番)

東京美容院附屬

大連市吉野町六六番地

大連美容女學院研究室

院主 德永千代子

滿洲日報

地盤喪失を懸念して學良氏直接交渉決意

南京政府は極力之を阻止

【南京二十七日發】張學良氏はこの儘時局が荏苒推移する時は東北の地盤を根本的に喪失する事となるので背に腹は替へられず遂に我を折つて北平の我當局に對し直接交渉の意思を漏らした模様である張學良氏は中央が到底日本に對し抗し得ずとの見極めをつけ面目を捨てて自己の地盤を保たんとするものである、斯くては南京政府の面目は丸潰れとなるので中央は躍起となつて直接交渉を阻止すべく張學良氏を牽制し激勵してゐる

聯盟事務局員派遣を斷然拒絶する

外相芳澤大使に訓電

【東京特電廿八日發】聯盟理事會は二十五日の會合で滿洲事變に對し共同調査員を現地に派遣せんとする提議を撤回するに決したが、理事會は之に代る提案として極めて小規模のものとし事務局員一名をオブザーバーとして派遣せんとする議が起つてゐるに對し芳澤大使より之が訓令を求め來つたがわが政府は

一、オブザーバー派遣は共同調査委員派遣の提議と同樣聯盟が日本政府に對する信頼の缺如を表白するものである

一、斯るオブザーバーを派遣して調査の完了する迄事態を未解決の儘に置くは解決を遷延するのみであつて日支兩國のために利益でない

以上の理由の下に斷じてこれが提議を容認せざるに決し二十八日外相より芳澤大使に訓電を發した

海軍演習休止

【鹿兒島二十八日發】目下鹿兒島灣に入らんとする秋期海軍小演習は二十七日午後二時三十日まで演習休止の命令が下つた

奉天城内のパン配給に押寄せた群衆

―二十七日、山口本社特派員撮影―

陣中見舞の江口滿鐵副總裁

廿七日奉天の關東軍司令部前にて

國際聯盟手を引く

日支兩國の誠意に信頼

三相重要協議

【東京廿八日發】若槻首相は廿七日午後九時駒込の私邸に幣原外相、南陸相、杉山次官を招致し今曉に及ぶまで重要會見を遂げた右は聯盟並びに列國の今後の動静に關し我國の態度を確立すると共に此際滿蒙諸懸案解決の原則的方針に關し意見交換を行つたものと觀られてゐる

【ジュネーヴ二十六日發】滿洲事件に關する聯盟理事會は紛爭解決については日支兩國の誠意に信頼することゝし二十五日を以て散會した、聯盟としては問題から一先づ手を引くことゝなつたが、聯盟關係者は

理事會は日本軍が完全に鐵道附屬地内に撤退したことを見屆けるまでアト一週間會期を延長するであらう

と發表した

事變の善後交渉

今後斯る不祥事再發せぬよう滿蒙諸懸案を總括的に解決す

わが政府肚を固む

【東京廿七日發】今回の滿洲事變は支那兵の滿鐵破壞を近因とするも南京、漢口、滿內各地の事件から最近の萬寶山事件、青島事件、中村大尉事件等侮日的事件の度重なつたことにより隱忍自重せる我國民の積り積つた憤慨が爆發したることにあるは明かで、政府は事變の善後交渉に當つては今後かゝる不祥事件の再發せぬやう滿蒙諸懸案三百餘件の總括的解決をなす意志を固め、外務首腦部も數次首腦部會議を開き準備を進めてゐるが交渉の相手については、支那政府の行政機關に關する事項については中央政府との間に折衝を行ふも滿洲特殊の事項即ち鐵道、鮮人問題等は性質上地方政府を相手とし從來の不徹底な解決を避けて根本的解決を圖らんとしてゐる

外交交渉を焦らず靜觀

軍部側の意見

【東京特電二十七日發】金谷參謀總長は二十七日午前十一時半南陸相を訪問し滿洲事變に關する軍事行動も一段落を告げたので今後の軍部の方策に就き協議したが、今回の事變に關する善後交渉には寛容を得ざるは勿論、今後において誤解を生ずるが如き事は嚴重に戒める事とし外交交渉の如きは焦らず嚴然たる態度を持して成行きを靜觀する事に意見一致をみた

外務首腦部會議

【東京廿七日發】幣原外相は廿七日午前十時登廳、午後二時より外務首腦部會議を會議室に開き、守島亞細亞第一課長より廿六日夜迄の滿洲事件の詳細なる報告を聽取し種々協議するところあつた

日本の誠意アメリカも信頼

【ワシントン二十六日發】ワシントン官邊は聯盟理事會は滿洲事變の解決は日支兩國自身にかゝるものなりとして問題から手を引いた、支那が日本との直接交渉を拒絶して何等の打開策を講ぜられてゐないから問題の解決は相當永引くと憶測してゐる、アメリカでは一般に日本の誠意を信頼し日本は鐵道附屬地以外に兵を駐屯せしめざる[illegible]地の小部隊以外は直に軍隊を附屬地内に撤退するであらうと信じてゐる、なほ國務省では今後の事態に伴ひ何等かの措置を必要とする場合を考慮し關係條約の研究を續けてゐる

三浦長官代理陣中見舞へ

邦人保護を英國側言明

【香港二十七日發】香港における最近の排日暴行事件頻發に鑑み我總領事代理吉田丹一郎氏は香港英國政廳當局に對し秩序維持、邦人の嚴重なる保護の警告的要求を爲した結果、英國民政長官も今後全力を擧げて暴行を取締り在留邦人の保護に任ずべき事を吉田總領事代理に言明し暴行支那人の嚴罰方を發表した

延吉の罐詰兵

兵變の兆

給料不拂に不平滿々

【國島特電廿七日發】延吉鎭守使は時局を恐れて軍隊を罐詰にし其他の騷走をもつて極力鎭撫に努め動搖を防止してゐるが、我軍の吉林占領により仲秋節にも給料の支給がなかつたゝめ謀て給料の不拂に不平滿々たる軍隊は著るしく險惡なる形勢を示し兵變の兆があるので我軍の出動を恐れる軍部當局は極力警戒中である

蒙古獨立運動始まる

急先鋒たる革命軍では協議の結果有力な議員を蒙古に派し運動を開始した、又内蒙古の獨立黨も頓に活氣を呈してゐる【奉天電話】

怪飛行機龍井上空に現はる

【國島特電廿七日發】廿七日午後二時龍井の上空に國籍不明の白色飛行機一臺現はれ同三十分百草溝の南方に機影を沒した、尙最近鮮支國境に飛行機らしいのが屡々出沒して我軍警當局の神經を尖らせてゐる

內閣に直屬する拓務院を新設

十一月一日より實施

僅かな拓務省經費くらゐには代へられぬと思ふが、政府の大方針であれば殘念ながら不自由しても仕方ない

【東京二十八日】拓務省廢止により內閣直屬の拓務院を設置する事となるので、これに伴ふ官制改革案は直に樞府の諮詢を經る事となつたが多分十一月一日より實施される筈

けふ閣議で正式承認

【東京廿八日發】省廢合問題に關し安達內相、井上藏相と午前十時四十分まで協議し拓務省のみを廢止することに決定した、而して廿八日の閣議席上ではその形式的承認を求めなかつたがその裁斷を首相に一任してゐるので廿九日正式承認を求むることゝなるであらう

拓務省廢止後の對策協議

【東京二十八日發】昭和四年設置以來二年四ケ月を經過せる拓務省は行政整理の犧牲となつたゝめ拓務省三百八十名の職員は仕事も手につかずその始末如何によつては由々しき社會問題化する惧れあり よつて政府 通告を待つて今明日中に會合し對策を講ずる事を申合せた、更に廢止決定の報拓務省に傳へらるゝや拓務省は午後一時より業安、堀切兩次官、杉浦參與官等參集意見の交換をなした

各植民地は大打擊

西山財務部長談

植民地實業家や海外發展主張者は拓務省など大したものでもないと大局論から是非存置を要望するし之に對する反對論もあつたわけでしたが、結局行政整理の犧牲として實行されたのでせうが、何しろ植民地は種々の特殊事情があるのでその利害を代表統裁する主務大臣を持たねばなれば各植民地とも非常な打擊を蒙ることは明かで、たゞ豫算等についての大藏省に關する問題だけでも却々で、現に本廳の國庫補充金問題でも今回の植民地加俸減額案にしろ拓務省が頑として頑張つてくれたのでよかつたわけですが、大臣がなくなつて總督長官が直接その衝に當ることになれば閣議決定などに際し今までのやうにはゆかぬ又各植民地の連絡統理も同樣ですが、一面近頃のやうに日支問題のやかましい際に折角ある監督官廳を失ふことは非常な損失で

第二の反抗 (44)

三宅やす子

阿[illegible]金剛畫

戀ごゝろ(一〇)

快活だつた佐枝子が、此頃急に憂鬱に、外出もあまりしないで、家で讀書などして居るのを、第一に母が不審にしだした。

「どうかしたの。此頃、あんまり遊びにもゆかなくなつたねえ」

「何も面白いことがないんですもの」

「さうかねえ。母さんみたいに、うちでラヂオにかり聽いてるものには、わからないけれど――お友達も誘ひにいらつしやらないやうだね」

みんな斷つちまつたわ、と云ふはうとして、佐枝子は、それも面倒くさくなつて、默つてゐた。

「父樣は、佐枝がおとなしくなつたつて悦んでらつしやるんだよ」

「へエ、ぢや丁度いゝわ」

「イ、エ」

母は首を振つて

「さうぢやない。あたしは、何かあんたに心配事でもありやしないかと、それが氣になるよ」

「……氣になんかしなくてい、事よ」

「ぢや、やつぱり何か心配があるのかい?」

「そんなこと、私に訊かなくたつていゝわ」

佐枝子は、うるささうに、突つ放した物の言ひ方だ。

「あゝ、さう、やつぱりね」

母は全く別の意味に解釋したらしく、

「それや、父樣みたいに、一圖に仰しやつたつて無理だよ。ねえ。何でもかでも御自分の思ひ通りになさらうつてんだから――父樣のあの御氣性には、あたしも永年苦

勞をしましたよ。でもまあ、そこはお互に我慢をして」

何がお互の我慢だらう、と佐枝子は口惜しくなつてくる。

「實は昨夜も、あちらから手紙が來てね。まだこれは、あんたには云はないことに、父樣とは云つてあるんだけれど――近いうちにあなたが連れて一度來てくれつて父樣宛に云つて來たんだよ」

「……?」

「橋本のおぢいさんも、だんだん年で、せつかちになつて來たんだね。まあ早いこと、そんなものだよ。結納でも交したいつもりらしい、父樣は云つてらしたよ。だから、あなたもね、はつきり氣持をきめておいて貰はないと――」

「……」

「母さんがあとで又、大目玉を頂くからね。あたしも、いろいろ考へて見たけれど、數衞さんが大變熱心らしいから、このお話は、さう心配したものぢやないと思ふよ。きつと佐枝さんの仕合せになりさうな氣がする」

母さんまで、さうして、私を無理やりにすゝめやうとなさるの? と佐枝子は、うらめしい、腹立たしい氣持で

「あたしの氣持なら、さうに、父樣に申上げといた筈よ。今更、考へ直すことなんかないことよ、父樣、どうかしてらつしやるのね」

冷やかに云ひ切るのを、母は氣づかはしさうに

「何でも、榮一さんが、しきりに父樣に云つてらしたさうだね。それについて、一寸あたしは訊きたいと思つてたんだが」

母は何事か云ひ出しさうな氣配をみせた。

社說

滿洲の特殊性 歐米人に普及せしむ可し

支那、滿洲、日本。此の三者の關係を歐米人がハッキリ理解しない事が東洋の問題を紛糾せしめる場合が多い。元來、支那といふ國は、現代國家學の觀念の上に立つ諸國家とは非常に異なつた國家である。國界が何處にあるか分らず、國法がどれだけ行はれて居るか分らず、政府の力がどこまで及んで居るのか分らない。外國との交際でも今に於てまだ治外法權などを置かねばならぬ國柄である。尙他の方面から見て支那が普通の國家でない證據として國際都市ともいふべき上海や哈爾濱の樣な特殊地域を其領土中に包含する事を擧げ得る。而して更に大きな特殊地域がある。西藏や外蒙古の如きがそれである。此二者は表面上支那の領土とはなつてゐるけれども、實際に於ては全然領土以外と同樣で、特殊地域としての尤なるものである。而して此れ程にハッキリした程度でない特殊地域が右の外に方々に存在する。

◇

內蒙古、新疆、西康省の如きは隨分甚しき特殊地域である。甘肅省、陝西省、四川省に至つては特殊地域たる色彩が漸次に薄らぎつゝも矢張り中央政權の及ばない特殊地域と化しつゝある。政府の威力が及ぶと稱せられる各省の中でも、馬賊土匪の巢窟となつて全然特殊地域たるを失はぬ土地が甚だ多く存在する。然り而して滿洲各省の如きは昔からして實に大きなる特殊地域である。支那本部とは實に餘程かけ離れた存在であるのだ。支那の樣に、斯樣な內容を持つ國家は他に存在しないのであつて、到底[illegible]代國家の槪念中に包含され得可きものではない。隨つて、支那の內政も外交も、普通の歐米式の政治學、國家學及び國際法で律し得可きものではない。若し普通國家の槪念を以て支那の內治外交を論ぜんとすれば、夫れこそ甚しき見當違ひである。

◇

滿洲が昔からの特殊地域であるが故に、曩に露國と特殊な關係を生じたのであるが、日露戰役後に至りては、南滿洲と日本とが特殊の關係を生じた。其後に於ける支那側の動亂と日本の政治的及び經濟的努力によつて日滿關係は年と共に密接な關係を加ふるに至り、今日に至りては日本國家の存在と滿洲とは、遂に切り離す事の出來ない關係になつた。之れが支那から見て滿洲の特殊地域たる所以である。隨つて支那の政府も、滿洲を待つに他の各省の如くには出來ない。張學良氏に特殊の權力を與へ、其黨治にも政治にも特殊の色彩を持たせておく。外交にも特殊の權限を與へてあるのも其故である。之れを日本から見ると特殊權益となるわけであつて或は條約の形になり、又は實際上の問題になつて現はれる。

◇

以上の如く、支那が世界に於ける特殊の國家である事實と、滿洲が支那に於ける特殊地域たる事實と、相須ちて滿洲に關する日支關係が發生する。卽ち滿洲に於ける日支關係は、如斯複雜な事情によりて發生し、斯く複雜なる關係にあるものである。普通國家の槪念しか持たない歐米の人達は容易に之れ呑み込み得ない。支那や滿洲につきて多少の智識を有する人達でも、支那の國家の特殊な事情、滿洲の支那中に於て特殊地域である事、それに關つて生ずる日支關係の如きは、容易に知悉し難い所である。只支那を普通の國家の如く考へ、滿洲を支那の普通の領土の如くに考へ、其上に日支關係を考へて普通の國際法をあてはめやうとする、此の考へから出發して今回の事件を考へられては困る。

◇

元來此事に關する說明的宣傳が、日本側に於て以前から缺けて居る。支那側ではそれがよい事にして、大に日本の不法を宣傳する。彼の巴里會議以來華府會議でも、いつも日本が支那の宣傳の爲に吹きまくられて被告の地位に立ち、不利な審判を受けて居るのは皆此の爲である。後になると支那の宣傳も尻がはげる。支那の內情も追々と分つて來るので、最近になつては餘程日本の對支政策を了解する人達が歐米諸國に多くなつた。殊に大戰後巴里會議や華府會議で支那の大袈裟な宣傳に乘せられて猜疑の眼を以て日本を見た英米人の中でも、實際の支那を深く研究するによりて實情が分つて來た。故に今度の事件に於ても支那側の宣傳あるに拘らず、英米佛等比較的に支那に深い關係があつて支那を特に研究して居る國々の人達からは愼重なる意見が發言されて、一も二もなく支那側の宣傳に乘るといふ事はない。併しながら此等の點に於て認識不足の人達も可なり少しとはしない。此點が歐米人に十分知られて居るや否やは事件の解決に當りて非常に關係する所が多い。我政府は此點に關して尙十分に力を盡して歐米人の理解を深めねばならぬ。

遼寧省の支那側有志 國民政府と絶緣 蔣介石氏に宣言文を送附

奉天省城の支那側有志は遼寧紳民時局解決方策討論會を開催討議の結果左の如く宣言文を蔣介石氏に送り國民政府と絶緣を宣言した

本會は中華民國の武力政府を否認し馬賊類似の行爲を恣にして國利民福を顧みざる軍閥の支配を受けず、玆に國民政府と絶緣することを宣言す

なほ同會は靑天白日旗を廢して新たに國旗を制定する計畫をも有してゐる【奉天電話】

永遠の平和のため 諸懸案解決を建議 商議聯合大會で決議

第十四回滿洲商議聯合大會は二十八日午前九時より奉天取引所信託會社會議室において開催、出席者は村井大連商議會頭をはじめ沿線各會議所代表十名、番外委員八名有志委員十九名その他來賓として奉天藤村[illegible]事、滿鐵奉天[illegible]務所岡田地方課長、關東廳山中廳[illegible]、岐部奉天郵便局長、高橋奉天取引所長、野口奉天居留民會長、上田奉天町內會々長等で先づ入江奉天商議副會頭(藤田會頭は上京中)議長席につき野添奉天書記長より大會の議事につきて報告說明ありたる後入江議長より主催地側としての挨拶あり、次いで長春彼末氏より前聯合大會の事務につき報告あり、議長指名により新に會計委員として大連、安東、長春三代表をあげ議事に移り各地提案の討議に入るに先立ち大連、奉天兩商議提案の緊急動議により

一、時局に對する建議の件

を議題とし審議に入り議長指名により營口、長春、奉天、安東、大連五代表委員に選ばれ直に協議の結果奉天案を基礎としてこれに修正を加へ左の如き建議案を決定直に政府當局をはじめ各方面の要路に對してこれを打電した

時局建議案

支那官憲が隣邦保全の誼を忘れて排日、排貨に沒頭し國際信義に悖り條約を無視し帝國の特種權益を蹂躙して顧みざるの暴擧は多年本聯合會の屢次當路に號訴せしところなり、今回の事變たる素より暴戾なる支那官兵の滿鐵線破壞に起因せる國家自衛權の發動にして蓋し已むを得ざるに出づ、今や局面は進展して全南滿洲に擴大し事態頗る重大となり、これが終局の如何は帝國々運消長の岐るゝところにして到底姑息なる彌縫的外交々涉を以てしては絶對に收拾の途なき狀勢となれり、政府は詳かに此の現狀を直視し事變終了後當然起り來るべき彼我國交上の影響を愼重熟慮せられ、この際よろしく從來堆積せる一切の懸案を根本的に解決すると共に兩國永遠の和平親善を圖るためこの際徹底的法策を講ぜられんことを望む

更に右電請の主旨を徹底せしめんがため上京委員として議長指名の下に大連、奉天、長春、安東四商議の代表者を決定、各要路者に直接歷訪せしむることになり、尙在滿軍隊慰問に關しては奉天の各部隊は聯合會代表者これを訪問し、沿線各地の部隊に關しては當該地の商議若くは實業界代表者が全滿商議聯合會代表として慰問することになつた、斯くて正午一旦休憩午後再開、議長より各地提出案につき書記長會議における決定までの經過報告あり、審議に移つた【奉天電話】

香港で邦人一家慘殺さる 支那暴徒に襲はれて

【香港二十七日發】九龍[illegible]行場附近に住む庭師長崎縣人山下順次郞(三二)妻、老母、子供二名子守一名の六名は昨夜支那人暴徒の襲擊を受け慘殺され長男のみは瀕死の重傷を負ふた、この他邦人の重傷者あるも連絡困難のため詳細不明

七百名の邦人收容 日本小學校に

【香港廿七日發】支那人の反日暴行の擴張せる當地においては今日までのところ邦人の比較的安全地帶は市の中央の一部分と山腹にある諸會社、銀行の住宅地やその他灣仔九龍等で總て在[illegible]邦人は一歩も外出出來ない有樣である、而して警察保護のもとに昨夕より今日正午まで山腹の日本小學校に收容された邦人は總てゞ七百名にのぼり內負傷者十八名、病人十名あり混雜を極めてゐる

南京の不安 益々つのる

【南京二十七日發】排日運動は益々猛烈で昨夕の街頭演說では香港の同志は死を以て敵に當り日人を鏖殺せんとして居るに首都の南京では徒らに口先で愛國を叫ぶに過ぎぬ香港の同志に對し面目がない、同志大決心を以て奮起せよ殺せ殺せ日本人と煽動するものあり何時不祥事件も起るやも知れず憂慮されてゐる

廣東反日游行

【廣東二十六日發】仲秋節を利用し廣東學生約五千名は反日遊行を行つたが市內平穩である

南支警備協議 谷口軍令部長等

【東京二十七日發】谷口軍令部長は二十六日夜歸京、二十七日は日曜にもかゝはらず登廳、永野次長小林次官等と長江及南支方面今後の警備方針を打合せ午後三時退廳した

豪雨と戰ふ 長春のわが貔貅 勇敢な行動に對し 支那人驚きの眼を瞠る

二十七日午後二時三十分から降り出した雨は夜に入つて猛烈となつたがこの雨で一番困つたのは海城野砲聯隊で滿日支社前廣グラウンドに屯した砲兵所屬の馬は雨でビショ濡れとなり、而も雨水が馬の足を浸すので野砲聯隊では當番兵の增兵をして溜り水の流下作業をなすなど暗夜の馬監視には頗る辛酸をなめてゐた、而も軍隊では未だ夏服であるため長春の徹夜步哨は雨に濡れながら重砲の監視、馬の監視、各司令部、大隊本部その他の哨に嚴格なる軍律の下に勤務する勇敢なる我軍の行動には流石の支那人も驚きの眼を向けてゐる【長春電話】

貴院議員團

貴族院議員滿鮮視察團一行は廿七日夜林總領事、野口居留民會長、庵谷忱、石田武亥諸氏と懇談し廿八日朝長春に向つた【奉天電話】

激戰後の長春に 悲痛なる市民大會 決議を各方面に打電

長春青年聯盟本部及び長春滿洲日報同盟支部主催の非常市民大會は廿七日午後二時より長春神社境內廣場で小澤開策氏主催者を代表して開會の辭を述べ、箱田、梶原、吳泰淳、藤崎の諸氏現在の時局に對し强硬なる熱辯をふるひ殊に鮮人の有力者吳泰淳氏の如きは日露戰前幣原現外相が釜山領事代理をしてゐる當時斷然日露の國交斷絶を主張した强硬なる外交官の卵であつたにも拘らず今日は餘りにも軟弱だと滿蒙在住邦人のため痛烈に氣を吐く所あつたが各辯士共政府の一大決心を要望すると共に軍の積極行動を獅子吼するところあつて後小澤委員長左の決議文を朗讀全會一致で可決し決議文は政府當路者陸軍首腦部各言論機關等に打電大に輿論の喚起に努めることゝなつた

決議文

今日玆において東北軍權を殲滅し滿蒙問題の解決を圖るに非ざれば帝國の權益は事前に比して更に根を將來に殘すべし

一、躊躇することなく東北軍權の根據を殲滅すべし

二、ハルビン其他に居住する邦人の現地保護をなすべし

三、速かに諸懸案を解決し喪失せんとしつゝある我が權益の復活を期すべし

九月廿七日長春日本人大會

なほ右大會は開會卅分餘の後雨滂然として降り來れるため長春神社內に會場を移し續開したが聽衆八百名餘、長春としては未曾有の盛會で軍の犧牲が最も多く且つ一番激戰を演じた場所柄だけに聽衆はいづれも悲痛を極めてゐた、なほ長春日本人大會では多門第二師團長はじめ出動した各軍に對し感謝狀を出してその勞を慰めることゝなつたが同二時五十五分散會した【長春電話】

我偵察機 北滿の上空に活動

廿七日早曉ハルビン、通遼、伊通方面に向ひ我が飛行隊が偵察飛行を行ひ通遼方面の如きは小銃彈の一齊射擊を受ける等危險な飛行を續けたがハルビン方面偵察に向ひたる一機は正午豫定の如く通信筒を投下同地變りなしの信號を得て歸還、同じく伊通双陽方面に向ひたる乙式偵察機六五〇號は密雲深くたれこめるうち目的地附近に到り途中驟雨に遭過し乍らも無事二時五十分歸着した【長春電話】

士氣彌よ昂る

連日好天に惠まれわが出動軍隊も士氣大に擧がり長春の如き兵隊でなければ夜も明けないといふ有樣であつたが廿七日午後急に一天掻き曇り從軍以來初めての雨に士氣ますます揚がり砲兵步兵の雨中における示威行進初め時局の市民大會、航空隊の雨中試驗飛行等いづれも矢でも鐵砲でも來いの有樣に道行く支那人もいよいよ恐れ入つてゐる、道を通る小學生等グランドに繫がれた軍馬三百頭が驟雨に濡れそびれてゐるのを見て「日本は馬でも强い、雨の中でも平氣だよ」と鼻が高い、雨の中に軍馬の嘶きが勇ましい【長春電話】

經濟條約起草で 今冬國際委員會を開催

【ジュネーヴ二十六日發】歐洲經濟聯合委員會はソウエート外交委員會長リトヴィノフ氏提唱の經濟不可侵條約起草のため十一月二十二日國際委員會を開催することゝなり關係方面に招請狀を發した

安東の市民大會

廿七日午後七時より安東劇場で非常市民大會が開催されたが曾て見ざる正義の意見が數多く發表されたと同時に左記の議文案を決議し關係當局へ打電した

決議文

支那の暴戾なる遂に今回の滿洲事變を惹起するに至る、これが解決如何は國家百年の安危に關す、惟ふに懸案の一切を解決して禍根を永遠に絶つはこの機において他にあるなし、徒らに左顧右眄してこれが解決に徹底を缺かんか禍ひは前日に倍して在滿同胞は已むなく廿餘年の努力と建設とを放棄して旗を母國に捲くの他なきに至らんこと必せり、此機を逸せず帝國は須らく擧國一致の支援による獨自の立場において斷乎解決の徹底を期し以て東亞永遠の和平を確保すべし、右決議す【安東電話】

長春城內憲兵分遣所充實

長春憲兵分隊は二十八日午前九時より長春城內の憲兵分遣所を充實する事として板野分隊長以下殆ど全員引つ越し跡には松ケ野軍曹を班長として二名の憲兵を殘すことゝなつた【長春電話】

東北各方面要人行方

事變後東北軍民間首腦者の行方につき探聞するに參謀長榮臻、副司令部總務處長朱光沐、財政廳長張振鷺、警察處長黃顯聲、邊防處副官處長楊正治、警務旅長熊育錫、軍需處長米春霖、[illegible]、張學良秘書丁仲倫等は廿日ころより續々變裝して脫出、目下北平にあり、問題の王以哲旅長は軍務處長周溝、副官鄒多奎と共に山城子方面に敗殘の部下を連れ潛伏し排日の巨頭外交協會の閻玉衡、[illegible]、學良秘書杜重遠等は遼陽溫泉に、書吳家象と外國人某々宅に潛み居り民政廳長陳文學、全教育會等は天主教會內にあり、今なほ自宅にあるは臧式毅省主席のみである【奉天電話】

事變の諸材料は多く集める 長春にて 大久保子爵語る

大久保子爵を團長とする貴族院滿鮮視察團十一名は高崎与彥男の東道により二十八日午後一時長春驛着、驛頭には田代領事、森岡地方事務所長、武波警察署長、板野憲兵分隊長、白井鐵道事務所長その他在長春有力者多數出迎へたが一行は滿蒙時局の推移により今後の日程を決める筈であるが、いづれも生々しい事變を目に見耳に聽き時局に對して頗る緊張である、團長大久保子爵は語る

滿蒙視察としては實によいチャンスを得た、事變は神戸出帆の間際に聞いた、從つて內地の輿論は知らないが國民の輿論の反映としてこんどの事件が起つたのであるから必ず非常に湧きたつてゐることゝ思ふ、今回の事變は當然支那側が間違つてゐる、われわれ一行の來滿については萬寶山事件、鮮人問題等の監査といはれてゐるが貴族院の滿鮮旅行は例年のことであつて決して噂されてゐるやうな目的で來たのではない、たゞ今までに色々戰蹟を見、また軍部より事變の發生理由及び結果について色々と說きいてゐるから今回の事件に關する材料は出來るだけ澤山集めてみる積りである、われわれは先づとりあへず軍隊を慰問し負傷兵を訪問する豫定である、國家のために働いた軍隊に對しては心から敬意を表する

なほ一行は直に第二十九聯隊を訪れそれより衞戍病院に赴き傷病兵を慰問し南嶺、寬城子の戰蹟調査に向つた【長春電話】

滿銀奉天城內支店昨日開店

時局の關係で附屬地支店に引揚げ事務を執つてゐた滿洲銀行城內支店では時局穩となつたため廿八日から開店することゝなつた右につき支店側の談によると時局も平穩に復したので廿八日より城內支店を開店するが城內、附屬地兩支店共何等變りなく仲秋節に際し大した貸出しもなく唯小口のものが少しあつたのみであると尙正隆銀行城內支店も近く開店する筈である【奉天電話】

閻錫山氏を愈よ 河北省に擔ぎ出す 反張學良系の山西派

奉天にゐた反張學良系の山西派要人は廿五日いづれも天津に向つた出發に先だち奉天において山西會議を開き閻錫山氏を河北省に引出すことを申合せた【奉天電話】

爆彈に見舞はれた哈市中日文化協會

人事

▲瀨川淺之進氏(對支文化事業協會委員)二十七日午後一時入港の大連丸にて來連ヤマトホテル宿泊

▲久保田晴光氏(滿洲醫大教授)同上

▲八木沼丈夫氏(滿鐵弘報係主任)赴奉中の處二十六日午後八時着列車で歸連

市況(廿八日)

株式 內地引保合 當市閑散

內地主力株の大引保合を入れて當市も氣配變らず閑散

◇後場 ◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	八六	八六	八六	八六
新豆	—	—	—	—
錢鈔	—	—	—	—
大新	—	—	—	—
東新	一〇一六	一〇一六	一〇一〇	一〇一〇
鐘新	—	—	—	—

特產 人氣なく大豆低落

後場の定期は差したる材料もなく大豆は上値淋しく低落を辿り豆粕は添はず軟調を示し豆油は無付商狀を辿り高粱は小堅く大引した

◇定期後場(最建)

▲大豆(低落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二百三十九車

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 六萬八千枚

▲豆油(保合)位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一千箱

▲高粱(堅り)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 六十八車

▲包米(出來不申)

◇現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)(棧物)	五五八〇	五五八〇
出來高	二十車	
普通大豆(袋物)	五四〇〇	五三七〇
出來高	三車	
豆粕	一八〇〇	一七九〇
出來高	八千枚	

奧地市況

市場電報

神戸特產 / 東京株式(長期) / 東京株式(短期) / 大阪株式 / 大阪絲糸 / 橫濱生糸 / 東京期米 / 大阪期米 / 神戸期米 / 錢鈔 / 商品 [illegible]

家庭

熱誠溢れた兒童の可愛い手紙や守札

寄贈された現金を以てきのふは慰問袋三百四十餘を

滿日婦人團の慰問袋募集に當り慰問品代として寄贈された現金總額は二十七日までに百七十四圓に達しましたのでこれ等篤志家の意に副ふべく金額に相當する煙草、鹽紙便箋、封筒、タオル、ハンカチ等をガム、キヤラメル、チユーインの品を詰め合せ一袋五十錢當りとして慰問袋三百四十八個を作製し購へし二十八日午前九時から滿日婦人團員約三十名の手によつて右ました尚八幡町遍照院の龍華婦人會から守袋三百個、山縣通サ、シヤンからマッチ三百五十個の寄贈があり、朝日小學校生徒有志から三百四十八通の熱誠のあふれた可愛い手紙が寄せられましたいでこれ等も一個づゝ封入しました(寫眞はその日の作業振り)

慰問袋受付數

二十六日

▲一個宛西村あさ子、森永榮、小平榮、沖田金三郎、麻生利三川畑、小松光子、山田米吉、富田靜枝、富田新吉、富田信一、迫田モト、内田吉堯、池田正明八千久席、高橋勇、前野そめ、平野タカ、岩倉洋行、相澤弘、出尾、神島、二宮、一宮、山本尾崎きぬ子、竹本春枝、榎本圓清、鮎川せき、岩井詠子、岡田聆子、永吉萬右衛門、矢野太三郎、松本圓藏、大波多タル、加藤實子、伊佐館武榮、秋吉昇、松原キク、北里トキ、林讓、無名氏、田中、野崎松男、武内ツネ、桑原清次、原幸雄、白石タカ、高瀬、須藤、市瀬戸、稻葉本山初枝、後藤淺太郎、小林庄五郎、元木ハマ子、京僧二郎、無名氏、吉野洋服店、村瀬妙子加藤みよ子、吉川ふよ、内藤モト、仲尾次サカヱ、渡邊タマ、高橋サツエ、手塚ツネ、中川英子、神春子、無名氏、内藤、北川、スター商會、柏村、凪子、村上正義、平山不二男、藤平芳利、金永云、吳坂德、蒼鳳甲、楠本正吾、金興昌、奥野精三、米城了介、下田マサ子、花田正親、甲斐ふさ、上田美智子、月野スエ、森沖、白山、無名氏、淵江喜久雄、田崎照子、佐藤セイ子、伊藤芝直、村上胡平、池邊清、石橋徳次、松本まさを町田みれ子、堀部あや子、三浦滿子、後藤石子、林田ふみ子、松尾、福地、百束、長廣、林田學坂東、直塚、藤井俊吉、中村岩造、川山千代子、倉坂光彦、池田靜夫、加藤利彌、有門宮子、山田ハマ子、前田きよ、松澤みつゑ、瀧原キク子、田中春子、白石いさ、徳田多喜、厚木美代子、泉俊子、廿上祥平、松本桂子、小巻昇、三宅久夫、青木高一、堤貞、無名氏、福山、佐々

慰問品の取扱所

沙河口 岡榮新聞店
伊勢町 熊井洋行
浪速町 宮崎時計店
連鎖街 備後商會

木モミ、長坂一枝、古森玲子、小渡邊、大谷ユキ子、無名氏、大山オク、森松枝、今村悦子、小村美壽子、田島もと子、小形政美、矢吹かよ子、角田、能登美典、柴田時計店、大田敏子、吉田安太郎、宇治原榮子、木村なつの、石井松之助、山本爲市、三輪秀太郎、小柴靜江、鹽見ツ見澤、無名氏、大橋光子、山岸きみ、黒澤欣子、赤川晋、土方恒省、石井治助、多幡邦香、山口菊雄、福田章、水梨哲郎、今野倖之助、須藤久子、尾形喜多子、寺尾道子、飯盛かづ子、田川上義雄、行武淑子、志津間靜中國益高、橋良三、山田ハツミ稲賀襄、北川欽次郎、北松八重土井ふみ子、豐島タカ子、太田君子、古澤富美子、石渡ハル子小西ハル子、井上勇、井上百子早川清吉、福島格、望月康子、福田かほり、無名氏、渡邊ミサ子、山中好枝、五島すみ子、牧千鶴子、鍋島みどり、花澤初枝拝村幾代、中村勇吉、増田松代

瀬川きぬ子、中谷ハツ子、▲二ヶ宛津高博太、小松春子、武藤篠原いさ、栗原、岡、小澤、結城あつ、藤森千春、吾妻力松、森田富子、瀬崎要人、中根三吉村上壽邦、宮下寛、本郷、永井喜太郎、廣元實、小畑一家、島田喜太郎、三木ユキ、明池ハヤノ、董羽せい子、渡邊久子、武田きみ子、濱本すみ子、八巻以江子、大山ふじ江、井關節子、大野くま子、満水璋、柴田花子島崎春子、松澤榮、嘉納合名會社、三村、山内、關根十オ、吉舎靖枝、勝田奈良江、本間滑子津久井末子、高橋いく子、大崎榮、中村るい、貞永酒子、松浦茂樹、松尾永松雄、吉岡ひさ子松原政美、中川ふみ子、渡邊のぶ、坂田一家、馬野悦子、勝城末吉、林まさ子、▲三個宛篠原ぬい、矢野ケイ子、相馬一家、伊藤ヨシ子、中村英吉商店、加藤、岩村トヨ子、椎野、岩岡、新庄敬一、橋溝一家、吉崎和男森キミ、牟田、大槻たつ子、中川商會、佐藤千代子、鈴木政男内田滿直、▲四個宛高橋辯護士吉野房江、林田扱、北條幸江、松家清、▲五個宛西島貞子、無名氏、柄澤ヤチ、關根みどり、安武誠子、堀諫、吉富金一、川上千春、本多保江、山崎實子、長無名氏、黒川、福田浜子、長濱秀子、池田醫院、木船せつ、南里あい子▲六個宛徳山氏、無名氏、山本昌子、横山靜▲七個宛谷田徳次郎、森本君江、渡邊文子▲十個宛福本順三郎、大島サワ子、長谷川順子、仙波豐子▲十三個小野扱▲十五個宛岡榮新聞店扱、須田しづ子、▲十八個滿銀扱、▲十九個森本扱▲三十個戸泉セーニヤ扱▲三十三個岡榮新聞店扱、▲四十個湖月、野口兩人扱▲六十個大連美容美髪業組合▲二百二十七個小園子料理店組合▲五百四十八個彌生高女生一同

計千六百七十三個

童話 鐵砲 (四)

政本いさむ

ポルトガル人はその頃航海術が進歩してゐたので世界到る所に船を乘出して盛に貿易をしてゐました。印度、シャム、南洋と渡つて來るうちに、是非日本といふ國に行きたいと考へてゐました。ポルトガル人は、東洋の東のはてに日本といふ國があつて、金銀などの寶物が國のうちに滿ち〳〵てゐるといふ事をかね〴〵聞かされてゐたからです。

日本へ〳〵と目ざしてゐるうちにはからずも着いたのが、この種が島でありました。

島は緑に彩られてゐて、海岸には白い砂濱がつゞいてゐました。

「何といふいゝ景色だらう」とポンネリ見とれる程でありました。

家の造り方が南洋の家によく似てゐて、みんな藁葺の小さなのばかりでした。殊に珍しかつたことは、そこにゐる男がみんな頭の上で妙な恰好に髮を結んで居ることです。そして誰も〳〵風呂敷のやうなものを着て、之れを腰の眞ん中でしばつてゐました。

面白い所だと思ひました。女は艶々した漆のやうな長い髮を垂れてゐました。みんなすきとほるやうな桃色の頬に、くり〳〵した丸い黒玉の眼を持つてゐました。

「何といふ可愛い女達だらう」と思ひました。

島の人も珍しさうに船のあたりへ集まつて來ました。そして一番驚いたのがあの鐵砲でありました。

「一つ驚かしてやらう」と思つて、チエモトといふ男が一人で、丘の上へ登つて行つて島主たちの前で打つてみたのでありました。島の人は喜んでこの珍しい異人さんをいろ〳〵もてなしました。異人さんも珍しさうに島主のうちや金兵衛さん(清定)のうちへ時々遊びに來たりしました。

金兵衛さんには若狹といふ今年十七になる娘がありました。金兵衛さん夫婦にとつて、たつた一人きりの娘でありました。

小さい時から至つて怜悧な生れつきでしたから、夫婦の者は何萬の財寶にも代へ難い寶のやうに可愛がつて育てゝ來ました。

大きくなるにつれて顔かたちの美しい事といつたら、天女がつひ間違つて天降つて來たのでないかと思はれる程で、こんな邊鄙な島なんかに置くのは惜いものだと、誰も〳〵思つてゐました。

「早くいゝ婿を貰つてやり度い」と夫婦の者は樂しみにして居りました。

チエモト達が遊びに來てゐるうちに、ちらと若狹の姿に眼をとめたのであります。なんといふ綺麗な娘だらうと思ひました。が、チエモト達には其後何度となく遊びに來て見ても、その影さへも見せませんでした。

もう一度見たいものだとチエモトは思ひました。船に歸つてゐても若狹の姿が眼の前に浮んで來るやうになりました。何とかしてあんな娘を國に連れて歸りたいものだ。と毎日々々考へてみましたが、人種の違つた吾々にどうしてくれやうか。それに金兵衛さんにとつては、たつた一人きりの娘さんだ。

或日チエモトは金兵衛さんのうちに行つて

「いゝ娘さんをお持ちでございますね」

といひました。

「いや、どういたしまして」

金兵衛さん夫婦はにこ〳〵してゐました。

あの娘の婿になれるならこの國に留まつてゐてもいゝと思ひました。

でもそれは駄目なことだ。とあきらめました。

チエモトはその日さう〳〵何にもいはずに歸つて來ました。

慰問品募集

一、種類 タオル、ハンカチ、石鹸、便箋、鉛筆、切手、はがき、軍手、靴下、煙草、キヤラメル、繪葉書、ちり紙其他腐敗せず歡ばれるもの

一、金額 最低二十錢見當の品物

一、期日 第一回締切九月末日限

一、取扱箇所 大連は滿日社内滿日婦人團本部▲旅順は旅順滿日支社▲金州は滿日金州支局▲普蘭店は滿日普蘭店支局▲貔子窩は滿日貔子窩支局▲周水子は滿日周水子販賣店▲城子疃は滿日城子疃販賣店

附記…慰問袋は前記取扱箇所にありますから御受取り下さい

主催 滿日婦人團
後援 滿洲日報社

寄附金

二十五日

▲金二圓也南司郎▲一圓宛森トシ子、中川義臣、今井行平、水田磯次郎、青島生、▲金九十九錢村松▲金七十錢木村正記▲六十錢小野▲金五十錢宛楠本義夫岡田君太郎、宮崎正夫、田中、土井源一、北中松夫、壺田儀平笠井常雄、佐野、矢後重信、山崎勝治、湯山房藏、中島荒登、田中富太郎、伊正清、山口杉山東城一、杏掛チカエ、小松▲金四十錢宛溝部久子、稻垣▲金三十錢宛ばいかる丸船員、赤村靖一、松井千恵子、藤永▲金二十五錢岡嘉吉▲金二十錢宛井川ヨシ、銀座トンボ、今井勝太郎、山崎チエ子、川野卓二、西村長四郎、由井、松重、伊藤才郎、麻生鋤嘉久、堀金新之助、▲金十錢宛銀座カヅ子、マス子、照子、草江、月江、秀子、登江、音羽、八千代、美江子、一代、柿ノ義夫、安井、河野すみ▲十圓二十錢篤志家三十二名

計金三十四圓八十四錢

累計金百六十四圓四十四錢

二十六日

▲金五圓也八幡 多田あや子▲金二圓五十錢也滿鐵管理課小代俊明、▲一圓宛但馬町橋たま子楓町三宅久夫令夫人▲金五十錢也巣町新井ちゑ子

計金十圓也

累計金百七十四圓四十四錢也

滿日各地版

パン唯パンを求め押しかけた人の群
奉天慈善團體の食糧配給所で愈々配給開始さる

【奉天】奉天城内外治安維持の根本的對策として愈城内外貧民數萬に對し紅卍字會、人類愛善會その他基督教團體等の手によつて食糧品の支給が開始された、配給場所は城内外五ヶ所で一個所二千づゝ一日に一萬人の貧民を救濟することになつてゐる、所は小南門外風雨臺の配給所、午前十時から支給されるといふので

配給 を受けんとする貧民は老若男女を問はず潮の如くなだれ込む、その數一ヶ所だけでも萬餘を以て數へる物凄さ、今や遲しと配給品の到來を待ちわびてゐる是等貧民の群は自動車の到着する毎に先を爭つて集ひ來る愈々紅卍字の旗をつけ食糧品を滿載した一臺のトラックが到着するやオノレ逃がさじ是非パンをといつた調子でトラックに着くまで追ひかけ詰めかけ女子供は今にも押つぶされるやうである……パン、パン彼等が時局で餓に求めるものはたゞこれだけである、圍ひの中に一團を閉ち込め

門口 より一々糧秣廠の乾麺麭の配給が始まる、一時に門口に向つて押かける堅固な土壁は今にもブツ壊れそう、巡警が整理するすごい怒號もきかばこそ、今となつては命よりも食物が尊い生命を堵しても求めんとするもの一パンのみ……といつた有樣で文字通りの命がけである、一個のパンを投ずれば我先に之を得んとする有樣に蹴球戰よりも物凄い、餓えた猿以上である、かくして一ヶ所で二千の配給が終るそして彼等はその得たパンを喜んで

食物 とする十分な救濟は出來ないが漸次徹底して來る、かうして彼等の腦裏に刻みこまれたものは何か到る處でたゞ日本人、日本人と口癖のやうに唱へ迎へてゐる處は子供よりもいぢらしい處がある

江口副總裁

【奉天】江口滿鐵副總裁は軍隊慰問の爲廿七日朝來奉瀋陽館に本庄軍司令官を訪問し時局に對する深甚の敬意を表し守備隊を訪問後衛戍病院に傷病兵を見舞ひ引續き軍司令部總領事館を訪問し同日十五時半發急行にて長春に向つた

市民臨時維持會 奉天で組織請願
市民の福利を圖る爲

【奉天】今回の時局の影響を受けて各商店とも休業同樣な狀態であり今後寒氣の加はると共に貯蓄のないものは全く哀れの極に達するであらうといふのでこの際是等の人々を速かに救濟するため市民臨時維持會を組織し短期間の内に日支双方の市民福利を圖り各地とも秩序維持に努力したい……その意味の請願書を認め民衆團體中華商務會、捲煙聯合會、紅十字會、紅卍字會、遼寧聖道理善研究總會、遼寧會、貧民婦孺救濟會、道德研究會、佛學會、育會、孔教會、農務會、瀋陽道院、紳士、遼寧佛教會、熱河四民兼愛會、哲里木盟黑龍江四民會、吉林四民會、達爾罕旗族會、醫學研究會の各代表聯名して廿六日市政公所に申請して出たこれがため同所では奇特な行爲として之に一部依頼することになつたが具體的方法決定の上實施する筈である

撫順北方山間の敗殘兵掃蕩
守備隊の積極的計畫

【撫順】撫順北方山間各地に蟠據し全く匪賊化せる支那敗殘兵、徹底的掃蕩計畫——既報二十六日撫順守備隊の出動に依り撫濟鐵線に沿ふ渾河南岸敗兵は大略掃蕩つたが撫順城北方高地たる「玉兵屯」「橫道河子」乃至同所を貫く鐵道「馬牛庄子」「下哈達」等の撫順縣下には既に大部隊なきも數百乃至數十の敗兵今尚あり日鮮農民を脅かしつゝあるのを交際せ居住民保護策の見地から夜間などもやり出すやら知らない撫順近郊へここそこと出て來て何に鑑み撫順守備隊はこゝ兩日中に主力部隊を出動せしめこれが大掃除をする事になつた、右に就き川上守備隊長は二十七日赴奉大隊長と協議して居つた、因に前記各地の敗兵分布狀態 幾多偵察の結果判明した處に依ると次の四種類に分類し得る、即ち第一は數百若しくは數十名一部隊を組織しある部落を占領し鮮支農民を問はず公々然掠奪行爲をなすもの、第二は十數人の強盜團を組織し晝は隱れ夜間あばれるもの、第三は只部落民の家にフンゾリ返り何を持つて來いかにを持つて來いと大威張りをして座食せる者、第四は鮮農のみを掠奪する匪賊等 分れてゐるとある消息通は語つてゐた

保安隊を設置

【奉天】城内における治安維持會では保安隊設置を決定し隊員募集中の處今回六百名の應募者があつたので廿七日夜から各自に銃一挺を貸與し賊徒の横行に備へしめた

警備充實要請

【奉天】奉天商議々員會は廿六日午後開かれ聯合會提出議案の審議をなすと共に近頃支那敗殘兵、匪賊の横行盛となつたので我が警備力を一層充實されんことを各要路

鮮農、地主仲直り
朝鮮軍に備へた槍を中心に 支那地主の態度變る

【撫順】朝鮮軍來襲に備へた數百の槍支那敗兵の腕をえぐる——既報流言蜚語のため支那街乃至支那各部で急造した槍は(金屬の槍)この全部を集めると夥だしき數に上るが右は朝鮮軍の來襲の流言を眞に受けそれに備へたものであつたが日と共にその眞相判明するに及びグット奥地は敗兵以外支那地主住民等にも今尚鮮農壓迫の氣配は確にあるが撫順近郊各部落支那地主の如きは鮮人に對し豹變頗る妥協的親善振りを見せてゐる、支那地主等曰く

吾々支人は地主であり君達鮮農は吾等が小作だ、元來地主と小作人は車の兩輪の如きもの密接な利害關係があり相反目する事はお互の不利である敗兵にその穩れる農耕地を荒される事はお互の生活を脅威する今回の日支事實は吾々仲間に直接關係はないじやないかそれに最近は支那敗兵が匪賊に早變りしてゐるがこれ等匪賊に對してこそお互に警戒しようそして鮮人襲撃の謠言の眞最中作つた槍で彼等敗兵の掠奪に備へようじやないかと鮮支住民自體は最近頗る仲よくなつた

敗兵から逃れた哀れな鮮農たち
一年間の收穫を放棄して 續々撫順へ逃れ込む

【撫順】廿四日朝來大小幾部隊の支那敗殘兵の放火掠奪の暴行の魔手から睨まれ撫順へ避難して來た鮮農は二十五日より二十六日までのみで既に百五十二名に達してゐる、これ等鮮農等は營々辛苦の結晶たる一年間の收穫物を放棄するのやむなきに至つたがその面積水田畑等百七十二天地豫想收穫高千五百十石の多きに達してゐる、是は前二日間單に撫順市街へのみ避難して來た者の被害でありその他各地へ避難せるものを合すると驚くべき數に上る如くである、因に同日まで撫順へ避難し敗兵の暴虐に泣く者の内譯次の如し(戸主名下家族數)

▲鐵嶺縣馬坊滿△關龍假三名△韓漢哲二名△李元汝七名△李贊吉五名▲孤家子(奉撫線孤家子とは異なる)及び蓮刀灣△李應鎭三名△擊道行二名△朴嚮五名△玉處三六名△金孝默七名△金得福六名△金洪善五名△金秉淳七名△李雲鳳七名△崔學雲十一名△鄭元浩六名△金泰興四名△林永紀九名△命官國六名△金子道十四名△金奉紀八名▲石碑山△朱明鎭七名△金永達三名

るたが愈々狀勢樂觀を許されず遂に同地居住の邦人は全部引揚げる事に決し二十七日朝警備艦を派遣した

警官家族引揚

【安東】流言蜚語盛なるため大東溝我警官派出所員の家族引揚げさすの要あつて以て二十七日朝此れが迎へに安東警察署より警官派遣の筈

鳳凰城襲撃の準備

【鳳凰城】當地東北方四里大堡附近に公安隊約二百名と大刀會約四百名とが合し、鳳凰城を襲撃の目的で目下戰鬪準備を整へつゝありとの情報ありわが守備隊では嚴重警戒中である

馬賊憤慨の巻
入市を拒まれ大暴れに暴る

【鐵嶺】二十三日八面城商務會及市内有力商店東興義、義和順、巨源茂等に對し馬賊頭目紅樂、紫三點、平推等三名連署を以て書面を寄せたるが其文面には

我々馬賊團を市内に入れ商務會にかて食料を給與するなれば日本軍襲來するともこれを撃退すべく速かに入市せしめよとありこれに對し商務會では既に日本軍隊と諒解成立し絶對戰鬪なきにつき入市は斷然許さずと手酷しく跳つけたる爲め賊團側は激怒したるらしく同夜四名の賊潜入して人質一名拉去 翌二十四日午前七時頃聯合馬賊二百餘名一團となつて押寄せ一時 公安隊營庭まで突入し來るが官民協力善戰し各砲臺よ 砲撃し辛うじ 郊外に撃退したるが何分 し警備力薄く積極的追擊不可能の爲め小川一隊 隔てゝ今尚對峙中であると

時局を繞るナンセンス

【撫順】時局ナンセンスの一齣撫順東鄉山附近は何か事變ある際は各部落警笛を鳴らすことになつてゐたところが二十六日晩一人の酔つぱらひが醉つたまぎれにその警笛を鳴らした同部落民スハツと許り盲滅法に發砲この銃聲をきいつけた西劉山の部落民それ匪賊來襲と東劉山方向目がけて發砲何の事はない兄弟部落の内輪喧嘩翌日それが判つてナーンの事だと双方目をパチクリく

大東溝の邦人引揚

【安東】鴨緑江下流の大東溝地方の邦人は事件以來不安に包まれて

新義州で執務

【安東】安東出動中の新義州第二守備隊に對し朝鮮軍司令部より安東市街を平穩と認めたる場合は幹部のみ新義州に歸還し事務を處理すべき旨の通牒に接したるやにて三輪守備隊長は目下考慮中

電線切斷犯人

【安東】廿四日夜半安東中學校寄宿舍前において我守備隊の專用線を切斷せるものありて警備團は極力探査に努めてゐるが廿五日夜も該附近に挙動不審の支那人五名がうろつき居るを發見し側に近付かんとするや曲者は一散に守備隊裏山方面に逃走したが在郷軍人分會は佐藤中尉以下六名現地に赴き極力犯人の搜査につとめてゐる

軍用電話切斷

【鳳凰城】二十六日午前十時半頃城内の吾守備隊本部と鳳凰城驛との直通軍用電話鳳凰橋附近の箇所を切斷せるものあり、犯人嚴探中

出奉者を制限

【大石橋】今般奉天警察署長より大石橋派遣代警察署長に宛て同地方は昨今相當混雜し居る模樣で旅館等の狀況よりせば沿線各地より來奉する邦人常時の約倍數以上となり尚又支那人の避難出奉者と相錯綜するの狀況につき城内及衝突事件現場或は軍隊の城内駐屯の模樣等獵奇的見物者は此の際中止するやう勸諭方を申越した

誠心籠る慰問袋
麗しい姐さん達の慰問

【金州】金州に於ける慰問袋の應募者は其の後續々と申込殺到し支局に於ては輪手古舞を演じてゐるが二十五日は内外綿の四十五袋を切掛に種馬所、郵便局、農事試驗場、金福鐵道、各學校職員、金州醫院等々各獨立官衙會社の職員、それに個人申込を加へて三百袋を越え、支局では袋の追加送附引つ切なしに本社に電話を掛けるといふ始末である、殊に文酒家の姐さん達の如きは血の出る樣な思ひで貯めた貯金を引出して迄、これもお國のためと誠心籠めて入念に中味も吟味すると言つた纖悔だ、此の麗しい心持は確に涙より外に何物もない、斯くて廿五日夕刻迄に申込は三百五十を突破した、既に袋に麗々く詰め込んだものも多數支局に届けられ、二十七日には愈々第一回の本社輸送を行ふことゝなつた因に其の後の應募者は左の通りである

四五内外綿一同、三一種馬所員、二〇金州郵便局員、一二金州小學校職員、四四農事試驗場員、二〇金福鐵道員、二二公學堂南金書院職員、一〇金州醫院、一五民政署電氣係員、五金州保線區員、二阿津坂幸子、二金州驛大津、三森田タツヨ、一山口ミノ、三三浦恆造、三平井齊三、八文酒家一同、一土屋卯太郎、一外村政吉、三堀内正重、一市村外吉、三田中しな

總て淋しい旅順
例年なら賑ふチヌ釣りも 時局の爲め陸釣を見る位

【旅順】旅順の仲秋節は日支事變の影響にか國旗を揭揚するもの平素の半數にて流石遠慮の氣分が漂ひ祝宴も又至つて內密に行はれたので屋外に響くドラや太鼓の音も例年の如く賑やかでなかつた、また例年ならチヌ釣で大賑はひの旅順も時局の爲め至つて閑散二十七日の日曜の如きも僅に陸釣が日本橋附近に散見する位であつた、然し舟釣は十七八隻も出たがいづれも不漁でさても例年の比でない、野球、遠足秋の運動會催し物も悉く中止それに手薄の警備で 閑でヨリ以上の緊張振りでコソ泥一件なく車馬事故一つない平穩、然しいづれもは支那の動きに絶えざる注意を拂つてゐるので却つて時局に關係ある方面の者はヨリ以上の心勞を覺えてゐる

官金を横領し鹽務局員逃亡

【奉天】今回の事件の混雜に乘じ遼寧鹽務局秘書劉學記(三)は鹽の輸入を口實として御用商人から一萬五千圓を詐取し事件當夜省會計より二千五百圓を窃取し大連西檢番翠軒の抱藝妓ゝ子事須山菊子(二)と落籍し行方を晦ましたので目下大搜査中である

貴院議員一行

【奉天】廿七日午後七時から在奉各有力者はヤマトホテルに滯在中の貴族院議員一行と會見し時局突發前後における滿洲の狀態につき種々意見を交換する處あつた

田北高級參謀

【安東】第十九師團高級參謀田北步兵中佐は管內視察の序に安東守備司令部に來訪、三輪司令官の案內にて安東支那街の警備並に實業銀行等を視察の上、安東縣政府を訪問せり

刈萱龍口へ

【旅順】青島碇泊中の第十六驅逐隊「刈萱」は二十七日龍口へ移動した

特殊婦女歩合制度改正請願
關東廳で却下

【奉天】全滿料理店聯合會では特殊婦女の現行歩合制度改正の件につき遂て關東廳に認可方請願中であつたが今回詮議の限りにあらずとして何れも却下となつた

誠意(續)

の御苦勞に對し深甚なる謝意を表すると共に茲に御慰問申上ぐ

守備隊を犒ふ

【鳳凰城】當地中國人は一般に吾軍隊に對し好感を持つて居るやうであるが、商務會及各團體代表者その他主だちたる者數氏は、二十五月吾守備隊を訪問 感謝の辭を述べ勞を犒つた

安東高女生徒 郷軍の手傳

【安東】安東高等女學校戸塚校長は今回の事變に對し出動各部隊を慰問訪問したが更に二十六日鄉軍に對し上級生徒をして鄉軍の焚出に手傳はせて貰ひ度 旨申出たので鄉軍本部では二十六日夕より女生徒をして炊事に手傳はしめる事となつた

負傷兵の見舞

【奉天】奉天々理教婦人會では廿七日卅名の會員が木綿紋附で衛戍病院に負傷兵を訪ひ入院負傷兵卅名に見舞品を贈つた又赤十字社篤志看護婦人會奉天分會でも慰問品三千個を軍司令部に四千二百個を警察署に贈つた

戰死者追悼會

【旅順】旅順淨土宗明照寺では二十八日午後七時から中村大尉、井杉曹長並に日支事變戰死者英靈追悼法要を營み總本山京都智恩院特派布教師増谷氏生師の來旅を卜し講演を行つた尚又信徒一同からは慰問袋を出動部隊へ送つた

小學生の奉仕

【大石橋】大石橋小學校に於ては谷口學校長率先して日曜を全校職員と四年生以上の生徒が今回新設せらる、飛行場の地ならしに手に手に鍬鍬持つて勇ましく出掛けた因に飛行場は音に名高き娘々廟を安置せる迷鎭山の麓營口線より見える平地である

商議聯合會
提出の議案

【奉天】廿八日午前九時から奉天取引所信託會社樓上會議室において開催された全滿商議聯合會に大連及び奉天より提出する議案は左の如し

一、時局に關する建議
一、拓務省植民地方請願の件
一、滿洲に會議所令發布方請願の件(以上大連)
一、治安維持と現地保護につき電請の件
一、時局に關する建議(以上奉天)

尚當日出席者は
△大連村井會頭△營口副會頭△安東荒川會頭△鐵嶺紀藤會頭△長春彼末副會頭△鞍山加藤會長△撫順田中會長△開原川島會頭△四平街森田會長△奉天石田武亥氏△來賓として關東廳より山中閣、滿鐵より大森地方部長、武部次長△議長は藤田會頭上京中のため入江副會頭が議長席に着く筈

母國兒童作品展

【旅順】旅順初等教育會主催母國兒童作品展覽會は既報の如く廿七日より第一小學校講堂に於て開催せるが主として大阪櫻宮小學校、京都春日小學校、神戸小學校、名古屋小學校兒童作品にて小學兒童とは思はれぬ書畫多數が陳列されてゐた

遼陽部隊慰問

【遼陽】遼陽時局委員會が中心となり市民一同は駐劄第二師團、歩兵第十五旅團、第十六聯隊長に左の感謝電 廿六日發送した

神速なる貴軍の御行動により滿蒙禍根の殲滅せられんとする事に感激し閣下以下各將士御一同の御勞苦に對し深甚なる謝意を表すると共に茲に御慰問申上ぐ尚當地は警備團を組織し目下至極平穩無事なり御安神御奮鬪あらん事を祈る

軍司令官へ謝電

【遼陽】遼陽在住民は廿六日本庄關東軍司令官に左記の電報を寄せ感謝の意を表した

神速なる貴軍の御行動に依り滿蒙禍根の殲滅せられんとする事に感激し閣下以下各將士御一同

沿線往來

▲森守備隊司令官 二十六日來奉
▲佐藤滿鐵理事 同上
▲石光中將 二十七日來奉
▲小倉大連農事事務 廿七日赴任
▲大橋芳雄氏(新任開原地方事務所社會主事) 二十六日着任
▲于沖漢氏 赴奉中のところ二十六日夜遼陽に歸る

廉價版 萬有科學大系

正續全三十卷

今日まで科學に關心を持ち得なかつた人でも、本書を一讀して無限の魅惑を感ぜない人は一人もあるまい。之れ本書の記述が平易で寫眞版が豊富に挿入され、樂に讀まれて誰にも分る獨特の內容を有してゐるのみでなく、宇宙自然の一切の秘密と其應用とを網羅し、現代人高級常識の寶庫として、酌めども盡きぬ興味の源泉たるからだ。而かも造本技術の粹を盡した豪華版で、價格は空前の廉價、こんな立派な本でこんな安い本はないとは何人も異口同音に一致する處だ。果然發表以來白熱的歡迎申込刻々殺到す。今スグ書店へ！

破天荒の豪華版此內容で此廉價

京都帝國大學教授理學博士　山本一清氏著

正篇　第一回配本

天体と宇宙

深夜仰いで滿天の星を眺めた時、何人か其壯美に打たれざるものがあらう。默々として無際限に擴がる大宇宙、微星の集團といはれてゐる銀河、他の宇宙系と稱せられる星雲星團、さては水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星等太陽に率ゐられる諸遊星に至るまで、近代天文學の驚異すべき發達は、一々其現狀を手に取る如く闡明するに至つた。其全收穫を傾倒して、一流の麗筆により、豊富なる寫眞を中心として、宇宙天體の一切の秘密、一切の驚異を說いたのが本書である。著者は京大宇宙物理學教室の主任教授、一讀何人をも魅殺せずには措かないものがある。

東京帝國大學教授工學博士　青木保氏著

續篇　第一回配本

最新兵器

戰車、毒瓦斯、列車砲、長距離砲、無線操縱兵器、飛行機、潛水艦、魚雷、爆彈等最近兵器の進步程驚くべきものはない。實に近代の尖端的科學で兵器に應用されないものはないといふも過言ではない。從つて最新の兵器を理解する事は、近代科學の尖端的記錄と其應用とを知ると同一である。是等一切の最新兵器を豊富なる寫眞圖版を中心として、何人にも諒解出來得るやう通俗平易に解說したのが本書である。著者は東京帝國大學造兵教室の主任教授で我國兵器學界の最大權威、驚異すべき最新兵器の進步を說き去り說き來り、一讀何人をも驚殺せしめずには措かない。

定價一冊 ¥2.50

各書店で現品を御覽下さい

內容見本

全三十卷の內容解題、總目次を漏れなく揭載した堂々四十頁の冊子、之を見た丈けで近代科學の何たるかが分る。申込次第即時進呈します。

申込略規

- ▼體裁　四六倍版一冊平均三百五十頁、全頁アート紙印刷
- ▼卷數　正篇十二卷、續篇十八卷　合計三十卷
- ▼配本　昭和六年九月より每月正續各一冊宛を配本す
- ▼申込　左の通り
  - 每月拂（各一冊）二圓五十錢
  - 一時拂（正篇十二冊）二十七圓
  - 同　（續篇十八冊）四十圓
  - 同　（正續卅冊）六十五圓
- ▼送料　內地三十三錢　植民地六十二錢

東京・神田・錦町一ノ一〇

新光社

振替東京四二三四〇・電話神田四三三九

出た！日本一の繪手本!!

今まで日本で見られなかつたトテモ立派な畫帖です

美しい風景や、面白い圖案や、スグ描けるポスターなどが、一冊に七八十もあり、一つ〳〵に親切な描き方がつけてあります。

この本で習へば、誰でも繪がメキ〳〵上手になります。

この『高等科用自習畫帖』は、繪が上手になるばかりでなく、見ただけでも面白く、又いろ〳〵物知りになれます。高等科生徒（男生も女生も）、中學生、女學生には眞ん向のお手本ですが、幼年にも尋常生にも大喜びされ、大變ためになります。

高等科用 自習画帖

先生は皆おほめになり、學校では大歡迎！

課外教科書として採用のお申込み續々!!

東京高等師範教授　板倉賛治先生
農民美術研究所長　山本鼎先生
學校美術協會理事　後藤福次郎先生
共編

執筆畫伯

- 帝室技藝員　竹內栖鳳先生
- 青龍社主幹　川端龍子先生
- 美術學校教授　田邊至先生
- 帝國美術院會員　中澤弘光先生
- 帝國美術院會員　結城素明先生
- 帝展審査員　石井柏亭先生
- 元帝展審査員　福田平八郎先生
- 元帝展審査員　堂本印象先生
- 帝展審査員　石川寅治先生
- 帝國美術院會員　南薰造先生

右の外多數の先生方が御執筆！

本畫帖の大特長！

- ▲編輯者は圖畫教育界で有名な三先生、收めた繪はどの一つも我が畫壇の一流大家花形の諸先生が熱心こめた大傑作です。
- ▲その他、渡邊崋山先生のものを初め、東西古今の貴い名畫も入れてあります。
- ▲紙が上等で印刷が精巧、多きは七八色も使つてある素晴しさ、こんな立派な繪手本は、まだドコにもありません。本當に大人が見ても爲になる名畫集です。
- ▲他の教課と連絡をとり、見ればスグ描きたくなる材料のみ選んであります。
- ▲說明が親切で、これを見れば描き方の急所がスグ呑み込めます。
- ▲判は大型で中等畫帖に比べて二倍以上の繪があります。
- ▲しかも定價は三分の一といふ驚くべき安さ！

一冊僅か三十錢です

文部省督學官　小尾先生御推奬

「兒童教育上の好資料！」

この畫帖を見て先づ驚く事は、印刷が鮮麗で恰も原畫に接するの趣があることです。全く悉く古今大家の傑作を集め、一つ〳〵がすぐにも描きたくなるやうな題材を網羅してある。前の「少年少女自習畫帖」と等しく編輯者の苦心に深く敬服致します。』云々。

此外教育家諸先生初め名士方悉く御賞讃！

到る處で大評判

全二冊＝一冊三十錢（送料四錢）＝愛兒方にスグお與へ下さい

少年少女 自習画帖

各學年用　全六冊　どれでも一冊二十錢（送料四錢）

大賣行　大增刷

この機會にぜひ、尋常科のお子樣方にお與へ下さい。

全國各地書店にあり　賣切れぬ中お求め下さい

東京本郷　大日本雄辯會講談社發行　振替東京三九三〇

最新刊

- 濱口雄幸著　隨感錄　實價一圓五錢　送料六錢
- 杉田禪夫著　大南洋へ　實價一圓五十七錢　送料十錢
- 澤田謙著　世界十傑集　實價一圓卅六錢　送料十二錢
- 佐々木味津三著　續右門捕物帖　實價一圓五十七錢　送料十二錢
- 大阪每日新聞著　ブラックチエンバー　實價一圓五錢　送料八錢
- 宿利重一著　人間乃木　將軍篇　實價一圓五十七錢　送料十錢
- 宿利重一著　人間乃木　夫人篇　實價一圓五十七錢　送料八錢
- 秋山昌男著　滿洲問題の基調　實價一圓五十錢　送料八錢
- 伊藤秀吉著　紅燈下の彼女の生活　實價一圓八十九錢　送料十錢
- 評論家協會著　支那文化を中心に　實價一圓八十九錢　送料十錢
- 細野繁勝著　滿蒙の重大化さ實力發動　實價五十二錢　送料六錢
- 中村武羅夫著　嘆きの都　實價一圓六十八錢　送料十二錢
- 牧逸馬著　海のない港　實價一圓五十七錢　送料十二錢
- 德永直著　何處へ行く？　實價一圓五十七錢　送料六錢
- 長瀬春風著　哈爾賓の露　實價一圓　送料六錢
- 御崎明著　滿洲義軍　實價一圓二十錢　送料六錢
- 櫻井忠温著　人乃木將軍　實價五十二錢　送料四錢
- 朝日新聞社著　朝日年鑑　實價八十四錢　送料七錢
- 中日文化協會著　關東職員錄　實價一圓廿錢　送料八錢

大連市浪速町　大阪屋號書店

大連市山縣通り　電話三一五一番

安田經當　海上火災保險代理店

滿洲總　國際運輸保險部

沿線各地の御用命は最寄店所へ…

內科專門　櫻井內科醫院

常ニデザイン、新味ヲ誇ル…

家具室內裝飾

美風堂　大連伊勢町　電三〇五五番

株式會社　正隆銀行　本店大連　頭取安田善四郎

技術優秀勉強第一

大洋印刷所

大連市西通七六・電話八九九番

美味滿點 滋養滿點

皆様おなじみの「どりこの」は家庭飲料として、彌々好評を戴いて居ります。品のよい香り……ゆたかな味……卓越した滋養價は……愛飲家の皆様が、口を揃へて御賞讃下さいます。

人間活動力の源泉となる……葡萄糖と果糖
消化の神様と云はれる……アミノ酸

この三つを主成分とし、他に數種の貴重な強壯劑を含んだ「どりこの」は又と得難い滋養料で、高橋博士の苦心に成つたもので正に奇蹟的の新發明とも云ふべく、飲料界に大革命を起しました。

まだお飲みにならぬ方は

百聞一飲に如かず

どうぞ一度御試飲下さい

六七倍の水に薄めてお上りになると、言ひ樣のない美味と無限の滋養は、キツト皆樣の御滿足が得られるものと確信いたします。

一瓶定價 一圓二十錢 送料二十四錢

發賣元—東京本鄉 振替東京六六二二九
大日本雄辯會講談社代理部

ㅂ—95

高速度滋養料

どりこの

專賣特許 醫學博士 高橋孝太郎先生 新發明

全國の藥店・百貨店・食料品店にあり

最良の母乳代用品 理想の離乳期榮養

世界第一 完全粉乳

ラクトーゲン

ラクトーゲンが母乳代用として著しく他の乳製品に優れて居る事は實際使つて見た經驗者の何れもが立證する所であります。秋が近づいて離乳の最好季節に入ると重湯と混合せるラクトーゲンが此の期の榮養として申分のないものである事は各大家の御研究によつて明かになつて參りました、御使用によつて理想の發育を得ます樣おすゝめ致します

販賣店、藥店食料品店
離乳期冊子申込次第進呈

乾卯商店大連支店
大連市山縣通六七

6—9—B

ストップ！

仁丹を持たないやうな人は困つちやいかんぞ！—と、まアこう云つたものさ あんた方の体が大切ぢやからの

藥效、藥味等お好みに任せて小粒、銀粒、大粒の三種あり

登錄商標 專賣特許 610 HAPP 六一〇ハップに付謹告

本邦唯一の專賣特許品にして而かも六一〇ハップ(浴精)の登錄商標を以て堂々全國的に有力なる販賣機關を網羅し斷然壓倒的勢力を以て賣行增大の盛況にある事實は品質卓越し效果の顯著なる事を最も雄辯に物語り居るものに外ならず候 然るに近時本品の盛運を嫉視し專賣特許權無きは勿論高貴藥の配劑なき無登錄品が却て兎角の惡宣傳を試み其聲譽を傷つけんとする者あるも賢明なる各位は日本政府が保證せる唯一の專賣特許品なる事及六一〇ハップの登錄商標に疑問の餘地なき事を確認せられ御誤解無き樣願上候、にせ物がにせ物扱する惡世相に鑑み一言御愛用者並に御販賣者各位に謹告仕候 追て各高貴の御方々には本品の效果卓越なる事を認められ常に御愛用を蒙り居候

昭和六年九月

製造元 名古屋市 東洋ケミカルインダストリー商會
發賣元 名古屋市 武藤鉦合名會社藥品部
滿洲總代理店 大連市聖德街三丁目 上野藥局 電話九六四六番・振替口座大連四八〇五番
大特約店 奉天市琴平町 久野博章商店 各特約店

本品は家庭溫泉藥として又內服、浴用、塗布、濕布、含嗽、洗滌等に適用し特に婦人病、皮膚病、動脈硬化、痔疾に特効あり
登錄商標六一〇ハップに御留意の上食料品店、藥店、購買組合等にて御求め乞ふ

定價 六圓 三圓半 二圓三十錢 一圓 三十五錢

一般藥品 卸賣も致します 小賣も致します

㊄ナニワ藥局

大連市濱速町三丁目 電話七二六六番

一匙 今日の疲勞を忘れて明日の健鬪に備へる

急速強壯劑 ラボカ

お布團用 ぷくふく綿

イワキ町 西川ふとん店 電長三七六〇番

東洋第一

花王石鹼

當然の當然

東洋に冠たる大石鹼工場の良心的大量生產に依つて正價づけられた花王の一個十錢は常用石鹼の正しい標準價格であります

花王と御指名下さい

日常の御用品をあれこれとお迷ひになるとは御損です 石鹼は「花王」と御定め下されば安心してお使ひになれます

純粹度九九・四%

東京 花王石鹼株式會社長瀨商會 大阪

馬賊に襲はれたが 無事新民屯に到着
トラックに彈痕を殘す 新邱の避難者

新邱炭礦の邦人二十三名（男子九名、婦人六名、子供六名、警官二名）は二十六日トラックで同地を出發したが、途中新民屯を距る四十支里の地點に於て馬賊の襲撃を受けたが、幸ひにしてその手より逃れ二十八日午後三時新民屯に無事到着した、トラックには彈痕をとゞめてゐる程であつたが、一行は到着後公安局等へ謝意を表し若し午後五時三十分發列車があればそれによつて奉天に向ふが、馬賊の襲撃により列車が不定期であるため一行の新民屯出發は確定して居ない、なほ現在新民屯の在留邦人は約八十名あるが、一時避難をして居た領事館分館より二十六日頃から自宅に歸りつゝある【奉天電話】

商家警備に 商團體を組織す
奉天城内外を九區に別けて 一商家から壯丁一名

奉天市政公署では奉天省城内外商業の警備に當るべきにつき城外の警備民の開店を慫慂しつゝあるが今なほ主なる商店就中食糧雜貨店は門扉を閉ざしてゐるが右は事變後連日連夜に亘る土匪並に暴民の掠奪に恐怖を感ずるためであるため土肥原市長は自警團六百名に二十七日夜より銃の携帶を許したがそれでなほ省城外までは手が廻り兼ね城外が安全にならなければ城内商人は安んじて門を開かぬので總商會では先の商團體を組織し各商家の警備に當るべきにつき城外の警備を一層充實され度き旨本日本庄軍司令官に申出た、右商團は奉天省城内外を九區に別け、一商家から一名宛の壯丁を出し一區三百名として夜警に當るもので既に大小東南の兩關、工業區、北市場の六區は成立し殘餘の三區も目下組織を急ぎつゝあり事務所は總商會内に置き團長は商務會員王標縣、副團長に【趙】子還兩氏が就任した【奉天電話】

馬賊抵抗して わが兵負傷
床下に隱れ發砲する

二十八日午前六時奉天瀋陽驛南工業區の支那鉛錫家松泉滿に三名の馬賊侵入、拳銃を突きつけ家人を脅迫して金品を強奪の上同家の看板女銀花（一二）を人質として拉致せんとした、急報により同區支那自警團同家に至りこれを逮捕するに至らず更に日本軍に通知し來つたので我兵出動せるところ、彼等賊は同區十九經路雜貨商堂某方に潜伏せるを突きとめ同十時これを包圍し一名を逮捕せるも一名は床下に隱れ盛んに鐵砲抵抗せるを射殺し他の一名は行方不明となつた、この騷ぎに我兵一名は肩に一名は腹部に銃創を負ひ直に衛戍病院に收容手當中である【奉天電話】

『癪にさわつたら 日本兵をうらめ』
あたらぬ口實を振り廻して 横行するルンペン官兵

我が軍の迅速なる軍事行動に風をくらつて四散した各方面の敗殘兵は日本軍附屬地引揚げと聞きつたへるや頻りに暴虐なる行動を敢てし、殊に長春からの敗殘兵は伊通双陽方面にぼつく集結しつゝあり、その數約三四千といはれ、いづれもルンペン官兵として行く先々で掠奪、暴行を行ひ「癪にさわれば日本軍を怨め」とあたかも實をもうけ村から村をさながら毛虫の如く喰ひ荒してゐるこれら吉長、吉敦線等南滿の土民は身の安全を圖る意味で吉林長春方面に向つて避難して來るもの日々多數にのぼる、尚これら敗殘兵は衆をたのみ何時馬賊的行爲をするやも圖られず、當地警察は一應それぞれ現位置に歸還せしめることになり廿七日夜三四十名を先發させ更に廿八日午前八時發列車で百餘名を歸した【長春電話】

北滿を覆ふ暗い影
南北に群る無氣味な雲を眺めて 不安なは去らぬ邦人

【ハルビン特電廿七日發】二十七日チチハルからハルビンを通過し日本に避難する邦人百餘名に達するといふ報道があつたが僅かに五名の病人を抱へた一家に過ぎなかつた、併し北滿一帶における邦人の不安はヂリヂリと迫りつゝあく邦人は何れも連日連夜の警戒全く

神經 を尖らし若しこれが永く續く時は如何になるかと心配の胸を痛めるばかりである、婦女子のうちには假へ女でも死なば諸共だと決心したものもあるが何れも生きてなき夫のため我が子を養育するそれが務めだと健氣な覺悟をしたものは全部内地に引揚げた表面非常に平靜なハルビンも一度南行線に足を入れると支那兵が察家溝から以南第二松花江の如き新しい防禦陣地を造り或は各驛に武裝着劍の兵を配置して戰鬪的行動を執らんとする

形勢 の不安を蔽めたものに對してはハルビンの平靜も單なる表面のものとしか思はれない、ハルビンに於ける支那紙は日支關係が第三國のために何か支那のため有利に解決されるだらうといふ空頼みを以て當事者間の交渉によることを避け極めて支那國民の侮日態度を刺戟した號外を發行して得々たることは如何に彼等の認識不足であるかを知るに足る、國際聯盟の意見が總ての日支問題を解決すると考へてゐるところは爽なる

支那 傳統の外交政策を思ひ以て爽を制する【策】はすに過ぎない、その間隙に乘じ

支那にも國士
通電を發して 輝しきヒロー

上海特電二十七日發

◇…國難來を叫ぶ支那民衆中には悲憤慷慨種々のヒロイズム的行爲が演ぜられ國難を憂ひて自殺するの血書請願する者等頻りに報ぜられる其の中の傑作一つ

◇…櫛某なる一家の兄弟四人の中二人は光華大學生一名は特志大學生一名は復旦大學生であるが此の四名は國難に蹶起し學業を擲ち軍に從つて國難に赴かん事を決意

◇…先づ靴三足、帽子四、シャツ三十四枚、服二十着を水災救濟委員長に贈り水災見舞金に當て以て決意を示し二十五日汽車で南京に赴き蔣介石氏に直接面會從軍を申出た

◇…蔣介石氏は其際代理をして面會慰撫せしめ外交方針は既に決定してゐるから上海に歸り學業に就け宣戰の際は通知すると戒めて歸した處が四人の兄弟は之に屈せず二十六日再び長文の通電を發表して軍に從はん事と天下に聲明飽く迄蔣總司令に面會を要求した

◇…これに對し蔣總司令は光華大學校を介して四人の兄弟に返事を與へ廿八日朝南京において張見することを許した斯くて四人は今や一躍中國愛國運動中の輝かしきヒーローとなりおうせた

暹羅兩陛下 鵜飼を御覽

【岐阜二十八日發】暹羅皇帝陛下御一行は二十七日午後五時半當地御到着六時四十分長良川の鵜飼を御覽の後九時五十分岐阜御發京都に向はせられた

家僕の奮闘で 卽死を免る
王正廷氏の遭難模樣

【上海廿八日發】王正廷氏は今朝南京の自邸に於て學生暴徒に襲はれ共產黨員等と打倒日本、ソウエート擁護の宣傳文を市中に撒き日本の鬼子のために我等は滅亡するよりは蘇聯を擁護し戰ふべきだ、東北政權の彼等は賴むに足らぬ、今日は仲秋節だ、正陽大街に集り罷市、罷貫、罷工を行へ

我駐屯軍と連絡をとり憲兵隊と協力警戒中、尚それらにルンペンの敗殘兵は目下南に向つて進みつゝあり【長春電話】

現金寄贈を受ける
市の慰問法

大連市役所では今回の滿洲事變に派遣された帝國軍官の勞苦に市民として感謝の意表すべくこれが慰問の方法に就き二十八日午前十一時より大連婦人會、關東婦人會、滿日婦人會、日宗合教會婦人會、白百合會、女子佛教婦人會、その他各婦人會代表の參集を求め協議したがその結果主催を市役所とする事、慰問袋は各種婦人團體に於て既に活動を開始し募集してゐるので主として現金の寄贈を受くる事、現金は五十錢程度とする事、これが處理に就いては主催者に於て軍部および警務局と打ち合せ有意義に便法を講ずる事とし正午散會したがなほ慰問袋の寄贈に就いても便宜取扱ふと

と激烈なビラを撒いてゐる、支那巡警の警戒と邦人居住區域は單に警戒せりといふに過ぎず、傳家甸の巡警は丸腰で新市街に於てのみ着劍武裝の巡警を見るのみである

醫大生の水災地派遣 中止か否か未定
久保田博士歸連語る

去る十五日支那水災救濟の爲め滿洲醫大學生派遣すべき件打合せの爲め上海に赴いた滿洲醫大教授久保田晴光博士は二十七日午後一時入港大連丸にて歸連したが船中にて語る

途中船中で電報を受取りましたが國民政府は日本の水災同情會の寄附一切を拒絶したさうですれ、滿鐵の大利丸も從つて拒絶されることになるんでせう、私は上海で救濟委員會の衛生部の人々と一緒に仕事してゐましたが醫大の中國人卒業生を送る件はそれとは違ひますから未だ分りません、上海では外國人經營の諸新聞は皆日支衝突に對し公正な論を述べてゐましたが支那新聞は一樣に奥地の支那官憲に日本兵の立つてゐる寫眞等を掲げ日本兵占領と喧しく逆宣傳に努めてゐます、もつと當地の言論機關が今回の日本軍出動するに至つた理由を強調する必要がないかと思ひます

東京附近大豪雨
浸水家屋六千餘戸

【東京二十七日發】二十六日の正午頃から關東地方は久し振の降雨あり二十七日拂曉に至りいよく激しく暴風雨となり朝方漸く止んだが東京市内、郡部とも出水甚だしく二十七日正午までに警視廳に報告された浸水家屋は寺島警察管内の九千餘戸、筆頭に市内外を通じて六千餘戸に達した、なほ氣象臺の計算に依ると東京地方二十六日午前六時以降二十四時間の總雨量は坪當り二百六石八斗五升五合（三石八斗五升五合）に達した

横濱では 七名壓死

【横濱廿七日發】二十七日午前三時頃折柄の豪雨中に横濱市内に崩れ三箇所あり倒壞家屋の下敷となつて壓死七名を出した

横須賀でも 四名壓死

【横須賀二十七日發】横須賀市内浸水家屋約千五百に達し二十七日前三時汐入町高さ二十間の崖三百餘坪崩潰し住家七戸を埋沒したので海兵團在郷軍人消防組等出動し救出を行つたが四名慘死した

數十士の靈を弔ふ
廿七日大連忠靈塔前にて 事變戰死者の慰靈祭

大連市役所、商工會議所、在鄉軍人聯合分會、滿蒙研究會、北辰會共同主催に係る今回の日支衝突事件戰死者の慰靈祭は二十七日午後三時から秋陽かゞよふ中央公園忠靈塔前において神佛兩式を以て舉行、宇島民政署長、內田總裁、長濱市長代理等の弔辭しめやかに朗讀され次いで高塚市議は本庄軍司令官よりの弔電を讀み上げた、參拜者は滿鐵各理事、村井商工會議所會頭、高柳中將、岩井將軍分會長を始め無慮千名に上り、護國の鬼と化した數十士の締魂に對して慇懃な弔意を捧げ午後四時散會した

大連中等體育會
第二日武道部の成績

大連市內男子中等學校體育大會第二日三校聯合武道大會の後半高試合は廿七日午後一時より開催されたが、壯烈なる試合の後午後三時二十分勝負を終り、丸山大連第二中學校長閉會の辭を述べ同三十分散會した、なほ同試合における高點左の如し

▲劍道青年組　愛澤（一中）七勝、高見（二中）七勝、伊藤（一中）四勝、小森（商業）四勝
▲劍道幼年組　黑木（商業）八勝、本間（一中）四勝、野村（二中）四勝
▲柔道青年組　荒木（二中）四勝
▲柔道幼年組　品川（一中）二勝

六大學リーグ
帝大大勝 對早大戰

【東京二十七日發】早帝一回戰は一時十分三谷（球）圓城寺、横澤、片田（審）で帝先攻で開始帝大打撃振ひ十一對五にて帝大に勝つ、開戰三時二十五分、バッテリー帝木越、廣岡、早松木、織田、清水、宮脇

	打數	安打	三振	四死	失策
帝大	0600014000				11
回數	一二三四五六七八九				計
早大	0101120000				5
帝	三九	一六	三	七	二

大檢藝妓の 出入禁止
快樂の舞踊場

市內逢坂町遊廓の快樂が時代のトップを切つてダンスホール設置して以來素晴らしく氣に投じ毎夜深更に至るまで踊り狂つてゐる傾向があるので大連署では檢番藝妓の出入を禁止することゝなり廿八日附で中部組合長に對しこの旨を通知した、即ち快樂のホール許可の主旨は登樓客と抱藝妓とが踊るためといふ制限付きのものであつたがそれが漸次營業化するためダンスのみを目的とする大檢藝妓から先づ制限が加へられたものである

艦載飛行機 愈よ絕望
種子ヶ島附近で

【鹿兒島二十八日發】去る二十五日鹿兒島縣志布志にて折柄の烈風を冒して種子島方面に出動し行方不明となりたる軍艦羽黑の艦載機はその後連日連夜の搜査も効なく本日に至るも依然行方不明なるより最早絕望と見做されその筋から家族に通知したが、搭乘者は二等航空兵曹大原武右、一等航空兵石田勲の二名である

文化理髮の魁

散髮　專門優秀の助手を東京より招聘致しました
毛刈　何時にても同じ人に
分業　是非共務めさせます
特長　當店はお手數のかゝるお方は特にお待ち致して居ります　お急ぎの御方は十分間で御滿足を御與へ致します
電氣　バリカン及器具全部は電氣使用致します

何卒御試し願ひます
大山通り三三番地
○林洋行前
衞生軒總本店
電話五六一四番

法立戰延期

【東京廿七日發】法立野球第一回戰は廿七日早帝戰終了後續行の豫定の處雨の爲め早帝戰が豫定より遲れたので遂に延期するに決した

旅行團の 來滿宣傳
時局一段落で

今回の事件發生と共に內地方面の各滿蒙旅行團體より團體申込の取消しをなすものが非常に多く、殊に女子團體のものは全部旅行中止を申送つて來たが、滿鐵々道部旅客係にては、事變も既に落付き滿鐵線の運轉狀況は全然平常と變りないことを內地各申込團體に報告すると共に更により積極的に宣傳につとめることゝなつた

大利丸の傭船 契約解除さる

滿洲事變で血迷ふた支那側はわが國的隣人愛の現はれである長江水害同情會の慰問艦積込みの見舞品の受取を拒絕したが滿鐵が國民政府の希望に依り四ヶ月間一切の經費を負擔して國民政府水災救濟委員會衞生隊本部船として提供することになつた大利丸の引取りも遂に拒絕するに至つたので滿鐵上海事務所では大利丸の傭船契約を解除せる旨二十八日午前滿鐵本社に入報があつた

淨土宗の活動

淨土宗支那開教區教務所では管長訓電に基き、事變出動軍隊警察官慰問の活躍を開始し、慰問本部を教務所に置き吉武開教總監本部長となり、其の下に輪慰部及弔慰部を置き各主任を任命し、更に沿線十七個所に支部長を置き本支連絡し總動員を以て之に當り、輪慰部は軍隊警察隊の迎送、見舞、慰問袋の贈呈に、弔慰部は戰病死者の弔祭、慰靈等に活動中である

放蕩止に自殺

市內黃金町二〇ノ一趙金章の妻趙王氏（三）が廿七日午後六時半ごろ燒酒に石油を混合したものを多量に嚥下し自ら苦悶中を歸宅した夫が發見し直に同壽病院に收容して應急手當を加へ生命は取止めた原因は最近夫趙金章が放蕩し始めたのでそれを悲觀し死をもつて夫の放蕩を諫止しようと右の始末に及んだものである

工業博物館

滿洲技術協會附屬工業博物館は來る十月一日が開館五周年記念日に當るので當日各關係者招待披露することゝなつたが十月三日土曜日午後一時より四時まで四日午前九時より午後四時までを博物館特別デーとし兩日の參觀者には陳列品につき特別說明をなす筈

沙河口神社秋大祭

沙河口神社の秋季大祭は九月三十日午後七時卅分より宵祭を十月一日午前九時より本祭を執行する筈である

長春憲兵分隊ではわが軍の寬城子占領と同時に衞兵全部を武裝解除して一旦丸腰のまゝ兵舍の一室へ押し込んで置いたが、別に抵抗もせず命だけ助けて呉れの哀願から日本軍のために犬馬の勞を執りませうとまで柔順になつたので、そこでは兩三日中に武器も與へ、不逞團に備へるために憲兵隊の指揮に從つて働けと言渡した。

……◇……

ところが翌日の夕方、この衞兵達は丸腰のまゝ拔け出して行方不明になり、更にその翌日、ヒヨツコリと四名ばかりが板野憲兵分隊長の許へやつて來た、板野大尉が「不埒な奴だ」ッと怒鳴りつけると、四人は嘆願すらく

日本のために働きたいと拋りこまれた兵舍でヂッと我慢してゐましたが、腹が減つたので、警戒の兵士にその旨を訴へたところ、日本軍は命懸けで治安の維持に任じてゐるのだ、腹が減るなンて贅澤云ふなといふので、ピンタを喰はされた、こいつは堪らぬと逃げ出したが、サテ餅は餅屋で衞兵で喰つてゐた俺達は忽ち喰へなくなつた、どんな辛い仕事でもするからピンタを張らぬやうにして使つて戴きたい

……◇……

板野分隊長、ピンタが支那兵を逃らしたかと苦笑したが、充分戒告して使つてやることにしたところ、志願者殺到して大繁盛板野分隊長これには困つて「これはチト多過ぎる、誰がピンタのうまい奴はゐないか」

曙の鐘 (63)

倉田潮　河野想多畫

格闘（三）

あけみはたえ子が逃げ出したと聞いた時、總ての事が破めつして了つたと思つた。しかし、彼女は凄艶に笑つたばかりで、少しも周章てはしなかつた。

たえ子に對して加へた今迄の處置はこれを訴直に訴へられれば、あけみも壯三も嚴罰を受けずにはすまない法律上の罪である。あけみはそんなことは覺悟の前でやつたのだつた。萬一自分や兄が罪に問はれて縲絏をうけ、天下に恥ぢをさらす場合があるにしても、あけみはたえ子を兄に押しつけて、春木を自分のものにすることに全努力を傾けないではゐられなかつたのだつた。しかし、志はつひに破れた。破滅の時が來たのだ。その破めつの場合にとるべき處置をも、あけみは前からきめておいたのだつた。で、彼女は少しも狼狽へず目前の危急を冷やかに見て嘲笑つた。

しかし家敷の中は間もなく烈しい騒ぎになつて來た。壯三が狂つたやうに家ぢうを走り廻つて、かんきんした女が逃げたとも云ひかねるので「たえ子が惡いことをして逃げたから捉まへろ」と叫び廻つたからだつた。女中も仲居も用心棒まで前庭に出て騒ぎ廻つてゐる。あけみは冷然とそれをシリ目にかけて、誰も人のゐない洋館と日本館との堺のかや垣の處を落ちついて歩いてゐた。

間もなくたえ子は完全にこの家敷から逃れ去るだらう——とあけみは思つた。計畫的に遁走をはかつてゐたらしいから、眞逆逃げ遅れて捕へられるやうなことはないだらう。そして、その結果自分と兄を罪に呼ぶものが間もなくやつて來るに相違ない。その時——あけみは胸に手を入れて、下着の襟下にしつかりとぬいつけておいた小さい毒藥の瓶をさはつて見た。

今一度くせんがして、封蠟もそのままになつてゐた。

あけみは大きく一人うなづいて再び凄艶な笑ひを漏らした。

ふと其の時塀の外で聞き覺えある聲が聞えた。先程からそのあたりでしきりに人の聲がしてゐたのだが、その總ての聲があけみの心には何の反響をも呼び起さなかつたのだつたが、今度の聲は……

「春木さんではないか」

さう思ふと彼女は洋館に通ずるかや垣の端の道を通つて、洋館の門から表に出て見ようとした。洋館はまだ深い眠りの中にあつた。たゞ炊事番の女中だけは起きてゐると見えて、玄關の鐵の扉は開いてゐた。

あけみは靜かに洋館の門を出た。その時二人の女が慌たゞしく彼女の前を通りすぎ、門内に這入つて行くのが見えた。

その二人の女がたえ子とお冬であることに、あけみは突嗟に氣がついてゐた。あけみは我しらずハツとして暫くそこに立ち止まつたまゝ動かなかつた。

しかし、あけみが門外に出た瞬間に、おそらくお冬のしかし仕業であらう。門が内側から烈しい響きを立て、閉じられた。續いて門をかける音も聞えて來た。

「ふーん」

さあけみはそれを見ると初めて安心したやうに冷笑を浮べた。彼女にはその瞬間、たえ子を逃がしたものがお冬であり、お冬が如何なる考へからたえ子をつれ出して此の洋館につれ込んだか、その意圖がはつきりと解つたのだつた。

あけみはたえ子が剛太郎の洋館に這入つて行くのを見て、自分が救はれたのを知つた。同時にたえ子が兄のものにならないで、父のものになつたとて同じことだと思つてニヤ〳〵笑ひ出した。いや、兄のものになるより、この洋館に這入つて行くことはたえ子に對して一層惡い運命を持ち來すに相違なかつた。

「あの、雅々のやうな父が何うしてたえ子をこの洋館から滿足に外に出すものか」

さう呟いてあけみはまた氣味惡い笑ひをもらした。

けふの放送

東京 JOAK

九月二十九日午後六時卅分
▲講演「故田中義一男の三回忌に際して」勝田主計▲運動競技六大學拳闘聯盟主催「拳闘試合狀況」（日比谷公會堂より）▲管絃樂「夢の如き人生」アイレンベルグ作「森のさゝやき」チブルカ作「極樂鳥」クリング作「ハンガリー舞曲」ハツセルマン作東京ラヂオオーケストラ指揮瀨戸口藤吉
▲天氣豫報
▲臨時ニュース
▲中國劇「打棍出箱」連東倶樂部々員

大連 JQAK

九月廿九日午後六時五十分
▲ニュース
▲華語講座「テキスト第六十八課」滿鐵學務課秩父固太郎
▲管絃樂「凱旋行進曲、歌劇アイダより」ベルディー作「伊太利民謠集」ランゲー作「日本組曲」山田耕作編、ヤマトホテル管絃樂團
▲連續講談「愛國心千人針終席」白藤六郎
▲ラヂオ體操
▲職業紹介事項

洋服類售歿　大連正隆銀行裏通　筑後屋當店

通勤 家政婦 派遣
附添婦
家事一切 病人附添 一日九拾錢也
誠心看護婦會主 會員募集本人來談
産婆 三浦芳子 聖徳街一丁目 電話九二六六

通勤家政婦
家事一切 病人附添 乳兒姙婦實費にて御預り致します 一日一圓
安心會主 産婆 淺野靜子 美濃町五七番地 電話二一八六六

犬
ヂステムパー狂犬病豫防注射施行入院實費其他家畜類診療
近江町電車停留場前 石井家畜病院 電話二一〇四七番

犬
賣る 番犬、警察犬、愛玩犬、各種仔犬並に種付仲介
大連市大江町四番地 籾田畜犬商會 電話呼出八六七九番

女給募集
ホール大擴張に付三十名至急募集す
良町リリー跡 電話三四一六番 ユニオンバー

引越荷造 通關運送
合資會社 中川運送部 日本橋通り 電話三七〇三番

引越荷物 荷造 叮嚀
發送迅速・通關手續
荷造には特に專門の技術者を伺はせますから御用命を願ひます
東比須町五九 古市運送店 電話四九四三番

家政婦 派遣（通勤 入込）
附添婦 料金最低御相談
西公園町二一五 電話二二四九〇 岡部紹介所

◆ニセ藥に御注意

近來各地に於いて○○球、○○玉等種々な藥が販賣されております。之は解雇せる元本社の外交員が行ふ事で、之等の販賣方法は常に本社の惡口を言ひ、美神丸にいや氣を起さしめ、委託で送るといふ口實で巧みに契約を取り、各地よりの美神丸の注文書を集めて之を○○球等ニセ藥を注文せし如く改竄してダマし、一時的の宣傳で巧みに賣りつけてゐる事實を發見いたしました。かゝる者は勿論、販賣なる本舗ではなく、投機事業等のため藥りたる借金返濟の爲め本業は湯屋で、内職として行つてゐるのでかゝる藥舗の信用薄き事は明かであります。宣傳の如きも勿論一時的で永續する筈なく、よく〳〵御注意の上、かゝる者にだまされぬ樣警戒下さい。

此の事實を見よ

美神丸は金儲を主義としない信用ある方方から激賞されてゐます、次は其の一例

福岡帝大病院婦人科
福岡帝國大學病院婦人科にかては美神丸の効果を認められて入院患者中之を使用する者多く同病院職員は之を賞讃報告されました。

大宮病院長大宮博士
京都大宮病院長大宮博士は之を患者に使用せしめその効果の偉大なることを小林醫學博士に語られました。

婦人科泰斗石崎博士
産婦人科泰斗醫學博士石崎仲三郎先生は美神丸の効能を認められてこの事を出版物を通じて患者に奬められました。

醫學士石川重次先生
秋田縣湯澤町石川重次先生は美神丸を重症患者に使用せしめてその効果を賞讃され御手紙を寄越されました。

再生の歡喜を美神丸で得た人々

婦人子宮病コシケを早く治せる家庭療法

盛夏から秋にかけて女の一生を臺なしにする忌まはしいコシケ子宮病の如きは、餘程用心しないと、處女も人妻も冒され易く、はじめはコシケ位と放つておいても、遂に惡臭あるオリモノに云ひ樣のない不愉快な日を送らねばならぬ樣になり夫婦生活が円滿にゆかず、その爲め極めて冷たい家庭を作らねばならぬ樣な結果に落入り易いのであります。こうした方に最も適當で、確實な家庭療法としてお奬めできる美神丸は、全國有力新聞雜誌に紹介され、子宮病コシケ子宮ゆがみ、不感症、不姙症等で惱む方から確定的名藥として、醫師の見放した重症者からも治つたと感謝されてゐる絶對の妙藥で、宗家に傳はる他に絶對知れざる醫藥傳統書を基に、專門藥劑師の責任製劑であり、專門醫師の研究を煩したものである事を御忘れなく、今までどうしても治らなかつた方は、是非御試し下さい。藥價は一日僅か五錢當りで、五週間分一円八十錢、十週間分三円五十錢、如何なる方も安心して治療され、滿足な結果を得られます。

無代進呈
御試になりたい方に美神丸一週間分と美神湯無代進呈本舗宛申込下さい
美神丸藥價　五週分 一円八十錢　特製五週分 二円五十錢　十週分 三円四十錢　特製十週分 三円八十錢

●特約店及び信用ある藥店にあり美神丸と指定しないとニセ藥を買はされる處れあり。特に注意。

婦人病に惱まされる季節が參りました

平素健康の方でも兎角病氣を誘發し易い今日此頃、少し弱い方達はこの季節が一番病魔に冒されます。婦人病冷え症産前産後に是非美神湯を召上がれ。在來のふりだし藥とは比較にならぬ効があります。

藥價 一週一円、三週二円八十錢
本舗 宮内善進堂
大阪 大阪市南久寶寺町筋 電話船場五四五・三四五九 振替大阪五七・八三九五五
東京 東京淺草區藏前通 電話淺草三三五二番 振替東京二七五二〇番

りん病 美神淋藥
二円・三円 惡性頑固用 一週四円半 二週八円
事實服用し驚くべき効ある本劑は、急性二日慢性も三日にして早くも卓奏効し、しかも胃腸障害等の褻なく體内の毒素を一掃し根本的によくなる。注射、熱療法、濕布法で目的を達せざる者、今すぐ服用あれ、事實使用者が證明する治淋藥、女子消渇コシケも之を服用して體内毒素の一掃をはかれ。

ばい毒 毒退治
三日分一円 一週二円 二週三円半 三週五円
美神淋藥、毒退治は滿洲各地の一定のポスト型看板ある專賣所にあり。なき所は直接本舗へ

國歌レコード

十月新譜（六吋盤）

種目	曲名	演奏
唱歌	お月樣	唄 藤本英子
	虫の聲	伴奏 五月音樂會
同	案山子	唄 大市房子
	カラス	伴奏 國歌トリオ
童話	龍宮乙姫	説明 澤文子
		唄 田中君子 伴奏 國歌管絃團
ブラスバンド	君が代行進曲	國歌
	觀兵式行進曲	ブラスバンド
シロホン	桑名殿樣	シロホン 大江敏子
	深川	伴奏 吉田屋管絃團
和洋合奏	元祿花見踊	國歌和洋
	勸進帳	合奏團
端唄	おいとこ節	青地
	やつちよろまかせ	房蝶
ジャズ小唄	伊豆小唄	唄 美山花子
	修禪寺小唄	伴奏 國歌ジャズバンド

十月新譜（八吋盤）

種目	曲名	演奏
レヴュー	新金色夜叉	唄 杉村チエ子 杉村マキ子 伴奏 國歌管絃團
映畫説明	國定忠次	説明 信明 伴奏 國歌管絃團
小唄	姫路小唄	唄 松山初榮
	龍野小唄	伴奏 ヴアイオリン・ピアノ・三絃
端唄	降りて行く・土佐節	南地 金龍
	びんのぼつれ	三絃 小金
浪花節	子供鉢ノ木	末廣亭清風

「カタログ進呈」
百貨店蓄音器店にあり
大阪府豐能郡庄内村字孫江
國歌レコード製作所

なぜ有名なか！
リウマチ せんき 神經痛
招福院の教へる合理療法

漢方自宅療法

此の秘法は五年も十年もの永い間、如何なる手當も効めなき重い慢性も、堪へられぬ痛みやシビレを發作に苦しむ急性患者も、病する淋巴腺や、骨關節の惡熱帶を根本から、小便と共におろす漢方秘藥の合理作用により、足腰立たぬ重症者も續々全快されるので河内の漢方秘方として有名となり今ではイギリス、アメリカ等の諸外國に迄知られる樣になつて來た只一つの理想的療法です。キ、もせぬ藥や素人藥、一時押へのハリ灸等に迷はず、此療法で御全快なさい、當院では人助けの爲に此の療法を無料で喜んで御敎へ致します嘘だと思ふ人も、とに角ハガキ一本をスグお出しなさい

大阪府下河内布施町　招福院

短期現物

愈々秋相場出現せん
過去六十日間に涉り下値鍛錬せる主力株は初秋と共に出直り模樣に御座候　此機を逸せず多少に不拘御用命の程御願申上候

營業案内及優良株綜覽 送呈

大株短期取引員
宮谷惣右衛門商店
大阪東區北濱一丁目
電話 市局 二五四七 二五四八 二五四九 五〇一〇 五〇九一 五〇九二 五〇九三 五〇九四 五〇九五 六九二 三五九二 四一七三　市外專用 市局五六番　電略 オオカブ ミヤソウ

らい病 ふしぎ草
を根治せしむる不思議な藥草を發見しました重き結節瘢斑紋瘤其他多數全快されて居る現に服藥中にて快方に向はれつゝある方も澤山あります特に發見者自身体驗せる點に堅き自信あり人助けの爲に極秘密に御敎へ致します御遠慮なく御尋ね下さい
大阪市東區備後町一ノ五一　忘水

はりかた男用凹形女用凸形
珍寶 男子用三円 女子用二円
鐵秋ゴム製永久使用二樣へ湯湯注入使用
◉密送料 内地十錢 外地四十五錢（二個迄御注文前金乞）（郵便振替大）
早漏防止具 登録
男子強心器 ◉三打式 ◉輪曼鎖 ◉サツク 亀頭型 ◉ 泣
男子粘膏 ◉各種 ◉ 珍 ◉ 亀甲 ◉ 長形 ◉ 六個
◉子宮綫 ◉ 二圓五十錢 ◉ 指揮四種 ◉ 彩
奈良縣八木局第五區内 山口製作所 振替大阪六〇〇〇九番

パトローゲン

國産母乳代用乳粉

便秘や下痢が治りメキメキ丈夫になる

榮養學の泰斗帝大教授鈴木梅太郎博士は、市販の凡ゆる乳粉との榮養比較試驗を行つた結果、パトローゲンが最も優良であると報告された。

今迄は牛乳、又は牛乳で出來た粉乳や煉乳が一番よい母乳代用品と信ぜられて居たのです、然し之等で育てられた赤坊は、大抵顔の艶が白つぽく、ブク〳〵太つて居て一見丈夫さうですが、常に胃腸が弱く、便秘がちであつたり、下痢性であつたりそしてフトした病氣にもスグ罹り易いのであります。

ところが東京帝國大學農學部構内糧食研究會で完成されたパトローゲンは、乳粉の外に消化性デキストリン、ヴイタミン類、マツカラム鹽等が乳兒の發育に最も都合よく配合され、赤紫外光線をも含ませてあります。だから之れを今迄の代用乳に代へて見ると、乳兒の便通が正しくなり、とても育たぬと云はれた赤坊も、腸が惡くてダメだと宣告されたものまでも、メキ〳〵丈夫になつて行くことは、全く實驗者の驚異的な讃辭であります。貴女の赤坊は此優良なお乳で丈夫にお育てなさい。

東京帝國大學農學部構内 財團法人糧食研究會製造
東京市麴町三丁目 發賣元 齋藤滿平藥局

特約店 大連 伊勢町藥局　同 大黒田藥房　奉天 三浦堂藥房　同 南新井藥舗　京城 山岸天祐堂　同 谷口喜藥局　同 南 堂藥房

其他全鮮滿各地有名藥店に於て取次販賣せらる

頭痛新藥

頭痛最効藥 チヱヤー

弊社工場製

製産 → 消費

洋釘

株式會社 進和商會
大連市佐渡町三〇 電話八一一二七番

鑛業に關する總ての御相談に應じます
大連市兒玉町四 電話六五五四四番
八丁鑛業所

家具・裝飾 敷物・漆器
大連市信濃町（市場裏門前）
渡邊洋行
電話八八三七番

評判の新品

▲粉白粉や水白粉の下に……

美顔化粧下クリーム

目に見えてぐツと化粧美を増す……

化粧美の飛躍的增進！
此品の効果は直ぐ立所に目に見えるので非常に用ひ甲斐があるとの評…大變お喜びを受けてゐます

定價 一瓶 四十錢

美顔白粉本舗 桃谷順天館